

2022年度前期 開設講座・ワークショップ (WS) 一覧			2022年4月～9月	
No.	講座・WS名	テーマ	講師名 (敬称略)	
1	自然I(川崎学)	大地の声を聴く 江戸・川崎・神奈川・東京・・・自然の恵み編その1	多摩川流域自然史研究会代表 増淵 和夫ほか	
★2	現代事情	人工知能 (AI) は私たちにどのような未来をもたらすのか?	東京大学大学院教授 佐倉 統ほか	
★3	国際関係	日本の安全保障を考え直す	成蹊大学教授 遠藤 誠治	
WS-1	国際関係	安全保障について根本から考え直す	成蹊大学教授 遠藤 誠治	
★4	いのちの科学	つながるいのち	東京工業大学名誉教授 大島 泰郎ほか	
★WS-2	科学	奇跡の海 相模湾	東京工業大学名誉教授 星 元紀ほか	
5	日本の伝統芸能	伝統芸能の再生と未来～民謡から現代邦楽までの旅～	洗足学園音楽大学現代邦楽研究所所長 森重行敏ほか	
6	美術I	日本美術の見方—日本美術をより豊かに楽しむために	京都芸術大学・早稲田大学講師 濱村 蘭衣子	
★7	新しい科学の世界I	宇宙の誕生から日本列島まで	東京大学名誉教授 木村 学ほか	
8	自然II(川崎学)	つばさに観る自然の姿	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 笠間友博ほか	
★9	日本史	江戸幕府体制の確立	共立女子大学教授 堀 新ほか	
★WS-3	日本史	新井白石『折たく柴の記』を読む	国士舘大学教授 松野敏之	
★10	エクセレントIII	〈中華帝国システム〉を考える (第1部)	東京大学教授 平野 聡ほか	
★11	みどり学I	みどり学I—身近な自然に興味を持ち親しみを深める	樹木医 石井 誠治ほか	
12	みどり学(フレッシュ)	みどり学 (フレッシュ)	樹木医 石井 誠治ほか	
13	文学	日本近代小説の「名作」を読みなおす	東京大学名誉教授 小森 陽一	
WS-4	文学	明治文学を読む	相模女子大学講師 安藤 史帆	
★14	建築と都市	イタリアの都市と建築	東海大学准教授 稲益 祐太ほか	
★15	エクセレントI	世界を旅する⑧ポルトガル・ツアー	東北大学教授 横田 正顕ほか	
★16	学び・歩くかわさき(川崎学)	かわさきの歴史や文化を多角的に学び・歩いて再発見してみよう⑫	産業遺産情報センター研究主幹 伊東 孝 ほか	
WS-5	まち歩き(川崎学)	街角の文化遺産に学ぶ—鶴見川流域	日本地名研究所研究員 菊地 恒雄ほか	
★17	政治・社会	選挙と政治—選挙制度が変われば政治は変わるか?	広島修道大学名誉教授 高橋利安ほか	
★WS-6	政治・社会	リベラルと保守を問い直す	東京大学教授 宇野重規ほか	
18	交流館協力(科学)	川崎で「自然災害」を学ぶ—火山・地震・豪雨	東京大学名誉教授 平田 直 ほか	
19	音楽III	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part31	東京交響楽団メンバーほか	
WS-7	芸術	水彩画を描く—技法を基本から学ぶ	NHK文化センター講師 佐藤道子	
★20	環境とみどり	SDGs時代の環境・みどり・防災	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか	
WS-8	環境とみどり	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ	東京大学名誉教授 太田猛彦ほか	
★21	人間学	人間学再論—生老病死の思想	東京大学名誉教授 竹内整一ほか	
★WS-9	人間学	『閑吟集』を読む	東京大学名誉教授 竹内整一	
22	音楽I	ドイツ・ロマン派の音楽に親しむ	桐朋学園大学名誉教授 西原 稔	
23	音楽II	シューベルトの魅力、再発見!	元慶應義塾大学教授 平野 昭	
WS-10	音楽・芸能	歌舞伎—『義経記』の世界	白百合女子大学講師 安富 順ほか	
★24	世界史	アンデスの国ぐにの歴史—インカ文明からポスト新自由主義国家まで	神奈川大学教授 新木秀和ほか	
★25	みどり学II	みどり学II—木や草が生活とつながる面白さを極める	樹木医 石井誠治ほか	
26	山の自然学	山の自然学	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄ほか	
★27	美術II	名画の見方—鑑賞と理解	多摩美術大学教授 西岡文彦	
WS-11	美術I・II	西洋絵画を読み解く	多摩美術大学教授 諸川春樹	
★28	エクセレントII	人口から読む徳川文明—歴史人口学の視座	上智大学名誉教授、前静岡県立大学学長 鬼頭 宏	
★29	経済	高校の教科書で学ぶ経済学のイロハ	東京大学名誉教授 神野直彦	
WS-12	経済	「ドーナツ経済学」—「成長」から「繁栄」の経済へ	横浜市立大学名誉教授 金子文夫	
30	映像・メディア	懐かしの名作・受賞作品を語る、この人に会いたい、日本の未来を語る	昭和大学大学院客員教授 二木芳人	
★31	新しい科学の世界II	今考える地球の未来—環境・資源・防災	東京大学名誉教授 木村 学ほか	
32	歴史(川崎学)	モノの生産から見る川崎の歴史 (その2)	法政大学第二中・高等学校教育研究所所長 大庭乾一ほか	
★101	短期集中	日本経済の現状と脱出のシナリオ	慶應義塾大学名誉教授 金子 勝	
★102	短期集中	源氏物語の女君たち	東京大学名誉教授 藤原克己	
301	連携(昭和音大)	ヴェリズモ・オペラの楽しみ方	昭和音楽大学客員教授 小畑恒夫ほか	
302	連携(アジア航測)	脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて	名古屋大学教授 丸山康司ほか	

★：オンライン併用の講座・WS 無印：会場のみの講座・WS

2022年度後期開設講座・ワークショップ (WS) 一覧			2022年9月～2023年3月	
No.	講座・WS名	テーマ	講師名 (敬称略)	
1	自然I(川崎学)	大地の声を聴く江戸・川崎・神奈川・東京・・・自然の恵み編その2	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫ほか	
★2	現代事情	ロシアとウクライナの戦争について考える	東京大学名誉教授 塩川伸明ほか	
★3	国際関係	香港から中国・世界・日本を見る	立教大学教授 倉田 徹	
WS-1	国際関係	「中国化」と香港・台湾	立教大学教授 倉田 徹	
★4	いのちの科学	つながるいのち—人の命を守る	東京大学名誉教授 黒木 登志夫ほか	
★WS-2	科学	顕微鏡技術の進歩と生物学の発展	東京工業大学名誉教授 星 元紀ほか	
5	日本の伝統芸能	伝統芸能の未来を見つめて～その起源と変遷を探る	洗足学園音楽大学現代邦楽研究所所長 森重行敏ほか	
6	美術I	シルクロードの仏教説話図—インドから法隆寺玉虫厨子まで	多摩美術大学講師 森 美智代	
★7	エクセレントIII	〈中華帝国システム〉を考える (第2部) 歴史と比較の視座から理解する東アジアの国際関係	東京大学教授 平野 聡ほか	
★8	新しい科学の世界I	宇宙の誕生から日本列島までII	東京大学名誉教授 木村 学ほか	
9	自然II(川崎学)	つばさに観る自然の姿	神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員 笠間友博ほか	
★10	日本史	「大正デモクラシー」の光と影—民衆の視点、東アジアの視点から検証する	早稲田大学名誉教授 大日方 純夫ほか	
★WS-3	日本史	探訪「大正デモクラシー」～『原敬日記』を読み解く	日本大学文理学部人文科学研究 所研究員 荒船 俊太郎	
★11	みどり学I	みどり学I—身近な自然に興味を持ち親しみを深める	樹木医 石井誠治ほか	
12	みどり学(フレッシュ)	みどり学 (フレッシュ)	樹木医 石井誠治ほか	
13	文学	日本近代小説の「名作」を読みなおす (2)	東京大学名誉教授 小森陽一	
WS-4	文学	近代文学を読む	相模女子大学講師 安藤史帆	
★14	建築と都市	歴史的建築の保存・復原・活用と博物館	日本工業大学名誉教授 波多野 純ほか	
★15	エクセレントI	世界を旅する(27)インドネシア・ツアー	公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 理事長 鈴木佑司ほか	
★16	学び・歩くかわさき(川崎学)	かわさきの歴史や文化を多角的に学び・歩いて再発見してみよう⑬	川崎郷土研究会 東原信行ほか	
WS-5	まち歩き(川崎学)	街角の文化遺産に学ぶ—稲毛三郎重成と稲毛荘	日本地名研究所研究員 菊地恒雄ほか	
★17	政治・社会	デモクラシーと宗教	東京大学教授 宇野重規ほか	
★WS-6	政治・社会	明治憲法体制と自己実現—「煩悶青年」と「新しい女」	信州大学名誉教授 都築 勉	
18	交流館協力(歴史)	川崎の祭りと芸能	成城大学名誉教授 田中宣一ほか	
19	音楽III	東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part32	東京交響楽団メンバーほか	
WS-7	芸術	油絵を描く—技法を基本から学ぶ	NHK文化センター講師 佐藤道子	
★20	環境とみどり	SDGsと環境・みどり・防災	東京大学教授 蔵治 光一郎ほか	
WS-8	環境とみどり	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ	東京大学教授 蔵治 光一郎ほか	
★21	人間学	人間学再論—生老病死の思想	東京大学名誉教授 竹内整一ほか	
★WS-9	人間学	『般若心経』を読む・誦む	東京大学名誉教授 竹内整一ほか	
22	音楽I	歌曲の楽しみ	桐朋学園大学特任教授 梅津 時比古ほか	
23	音楽II	ヨーロッパ人々の生活と音楽と	国立音楽大学教授 横井雅子ほか	
WS-10	音楽・芸能	昭和の思い出の名優(4)6代目中村歌右衛門	白百合女子大学講師 安富 順ほか	
★24	世界史	ハプスブルク(帝国)の歴史—ヨーロッパの深奥を探る	明治学院大学教授 中田瑞穂ほか	
★25	みどり学II	みどり学II—木や草が生活とつながる面白さを極める	樹木医 石井誠治ほか	
26	山の自然学	山の自然学	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄ほか	
★27	美術II	麗しの中世ゴシック絵画	多摩美術大学教授 諸川春樹	
WS-11	美術I・II	イタリア初期ルネサンス美術への旅	多摩美術大学教授 諸川春樹	
★28	エクセレントII	江戸時代の海運(海路)と陸運(街道)	東北学院大学教授 齋藤善之ほか	
★29	経済	マルクスから読む現代の資本主義社会	神奈川大学教授 的場昭弘ほか	
WS-12	経済	人口減少社会のデザイン—2050年、日本は持続可能か?	横浜市立大学名誉教授 金子文夫	
30	映像・メディア	自作・名作を語る—「映像とメディア」の現場から	映画監督 伊藤俊也ほか	
★31	新しい科学の世界II	めまぐるしく進む科学と観測技術	東京大学名誉教授 木村 学ほか	
32	歴史(川崎学)	川崎市の地域的展開 (南部：川崎区と幸区)	法政大学第二中・高等学校教育 研究所 所長 大庭乾一ほか	
★101	短期集中	昔話の扉をひらく	小澤昔ばなし研究所所長 小澤俊夫	
★102	短期集中	美術から読み解く『嵯峨野明月記』の世界—本阿弥光悦・俵屋宗達・角倉素庵とその時代	実践女子大学名誉教授 仲町啓子	
301	連携(昭和音大)	フランス・オペラへの誘い	昭和音楽大学客員教授 小畑恒夫ほか	
302	連携(アジア航測)	地図の今昔～測量の歴史、伊能図から3Dマップまで、地図づくりの技術を通して人間の営みを知る～	アジア航測(株)先端技術研究所 千葉達朗ほか	

★：オンライン併用の講座・WS 無印：会場のみの講座・WS

前期

講座 1	大地の声を聴く 江戸・川崎・神奈川・東京・・・自然の恵み編その 1			
概要	【定員】50名【受講料】2年会員 12,090円、1年会員 13,520円、聴講生 17,810円(野外学習安全費用 650円を含みます。) 自然 I (川崎学)【時間】講義は 10 時 30 分～12 時 00 分、野外学習は 10 時 00 分～12 時 00 分、6/6 は午前・午後各 2 時間程度(計 12 回) 自然の恵みには、食せるもの(名産物)、食せないものがある。いずれにしても、各地の恵み「名産」を語るにはその土地の大地の特徴を理解する事が必須。また、恵と荒ぶる自然(地震・崩壊・火山等)は表裏一体。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(月)	川崎市生涯学習プラザ	神奈川の大地の恵みは	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
2	4/18(月)	瑞泉寺庭園	地形に応じ大地の声を聴き、自然の恵みを生かした庭園	多摩川流域自然史研究会 支倉 千賀子
3	4/25(月)	七里ヶ浜駅 一長谷駅	浜の砂鉄という恵み 砂鉄が語る古代の製鉄・霊山(新田義貞・関東大震災)・浜の消失 七里ヶ浜駅→稲村ヶ崎→極楽寺川→極楽寺坂切通し→仏法寺跡→由比ヶ浜→長谷駅	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
4	5/9(月)	鎌倉石切場	江戸城にも使われた鎌倉石はいつから、どこで・・・	多摩川流域自然史研究会 勝越清紀 (多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫)
5	5/16(月)	小網代、油壺	小網代の恵み 小網代の生態系、海洋深層水、美肌の湯、乱堆積	多摩川流域自然史研究会 勝越清紀 (多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫)
6	5/23(月)	川崎市生涯学習プラザ	川の恵みはさまざま 多摩川水運の一片をたどる 江戸から現在まで続く多摩川沿いの農林・地質・水資源の運搬や文化の行き来の一片に注目。同時に、多摩川の蛇行域の旧河道にまつわる地形、歴史、災害についても触れる。	帝京平成大学准教授・理学博士 小森次郎
7	5/30(月)	多摩川下流左岸(河口から約 10～13km 地点)	多摩川水運の一片を、多摩川蛇行河川帯でたどる。新田神社→多摩川沿いの筏道をたどり、光明寺、武蔵野面の細尾根、六郷用水、多摩川浅間神社、多摩川調排水所	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
8,9	6/13(月)	入生田→早川石丁場→石垣山→小田原城	戦国・江戸時代を支えた箱根火山が生んだ石	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
10	6/20(月)	川崎市生涯学習プラザ	火山の恵み	神奈川県立生命の星・地球博物館 名誉館員 笠間友博
11	6/27(月)		マグマの贈り物 石切山脈について話そうか	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
12	7/11(月)		相模湾の恵みと相模トラフ	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫

※4/11(月)10時00分より30分ほどオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。

受講登録者数 50名 出席者総数 488名

後期

講座 1	大地の声を聴く 江戸・川崎・神奈川・東京・・・自然の恵み編その 2			
概要	【定員】50名【受講料】2年会員 12,090円、1年会員 13,520円、聴講生 17,810円(野外学習安全費用 650円を含みます。) 自然 I (川崎学)【時間】講義は 10 時 30 分～12 時 00 分、野外学習は 10 時 00 分～12 時 00 分、(計 12 回) 自然の恵を語るにはその土地の大地の特徴を理解する事が必須。また、恵みと荒ぶる自然(地震・崩壊・火山等)は表裏一体。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/26(月)	川崎市生涯学習プラザ	水の恵み、土と風土。生態系サービスという視点	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
2,3	10/10(祝)	石切山脈・伝説の残留花崗岩塊・笠間工芸の丘(バス利用)	ようやく石切山脈へ行く。東京、丸の内を飾り、都電を支えた白い貴婦人稲田石のルーツを訪ねる。御影石はマグマの恵みのひとつ。	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
4	10/17(月)	川崎市、横浜市(市境の下末吉面)	川崎/横浜市境の下末吉面をめぐる(地下鉄グリーンライン「高田駅」→下末吉面上の無能河川→集落発達の逆転(興禅寺周辺から台地下へ)→残存する広大な農地→1965年灰津波跡(2021年熱海捨土崩壊とからめて)→子母口貝塚)	帝京平成大学准教授・理学博士 小森次郎
5,6	10/24(月)	真鶴半島	真鶴半島の御林(魚付き林)とどん深にみる相模湾のめぐみと、火山の恵み「小松石」 見学場所：御林、真鶴漁港、小松石石切場跡など	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
7,8	11/7(月)	南足柄エリア、ジオサイトからピトピア(バス利用)	火山の恵みをもたらした箱根火山北部および伊豆衝突帯の地形・地質(大井松田 IC→チェックメイトカントリークラブ(国府津松田断層眺望)→酒水の滝→文明堤(ジオサイト)→地蔵堂→夕日の滝(ジオサイト)→大雄山最乗寺(ジオサイト)→清左衛門地獄谷(ジオサイト)→ピトピア→大井松田 IC)	神奈川県立生命の星・地球博物館 名誉館員 笠間友博
9	11/21(月)	川崎市生涯学習プラザ	相模原台地の植生と雑木林	多摩川流域自然史研究会 支倉 千賀子
10	11/28(月)	相模原市(相模野台地中北部)	相模野台地の自然の恵み高座豚 - コメはだでも文明開化で洋食材生産の適地に - (下溝駅→相模川支川鳩川→畑作地帯→高座豚のブランド食肉加工品直売所→鹿沼公園→淵野辺駅)	多摩川流域自然史研究会 勝越清紀
11	12/5(月)	川崎市生涯学習プラザ	川の恵み～河床材と生態系	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
12	1/16(月)		自然の恵みと災害はコインの裏表	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫

※9/26(月)10時00分より30分ほどオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。※第 2,3 回 10/10 (祝) 6,000円、第 7,8 回 11/7 (月) 4,500円はバス借り上げ費用等で別途集金。バスの手配は、富士急トラベル。

受講登録者数 50名 出席者総数 519名

前期

講座 2	人工知能 (AI) は私たちにどのような未来をもたらすのか? オンライン併用			
概要	【会場定員】96名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 5,720円、1年会員 6,435円、聴講生 8,580円 現代事情【時間】毎回 10 時 30 分～12 時 00 分(計 6 回) 人工知能 (AI) やロボットが急速に社会に進出しています。AI は何ができて何ができないのか? 今までの道具や機械とどう違うのか? 文化、技術、SF、死後情報、ファッション、自動運転といったさまざまな領域と視点から、人と AI の未来を考えます。本講座は東京大学次世代知能科学センターの協賛を得てカリキュラムを編成しています。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(月)	川崎市生涯学習プラザ	人間と人工知能 (AI) との付き合い方を考える	東京大学次世代知能科学センター教授 松原 仁
2	4/18(月)		人は人工知能をどう見てきたか? 過去から未来を学ぶ	東京大学大学院情報学環教授 理化学研究所革新知能統合研究センター チームリーダー 佐倉 統
3	4/25(月)		人工知能と SF : 物語の AI と現実の AI の共通点と違い	慶應義塾大学理工学部管理工学科准教授 大澤 隆
4	5/16(月)		SNS への書き込みなどが死後にどうなるかを探る	理化学研究所革新知能統合研究センターチームリーダー 東京大学名誉教授 中川裕志
5	5/23(月)		ファッションから科学技術が産業に与える影響を考える	明治大学商学部特任講師 理化学研究所革新知能統合研究センター客員研究員 藤嶋陽子
6	5/30(月)		AI 技術による自動運転、その現状と今後の展望を学ぶ	東京大学生産技術研究所教授 中野公彦

オンライン受講生を含めた受講登録者数 86名 出席者総数 468名

後期

講座 2	ロシアとウクライナの戦争について考える オンライン併用			
概要	【会場定員】96名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 5,720円、1年会員 6,435円 聴講生 8,580円 現代事情【時間】毎回 10 時 30 分 ~ 12 時 00 分 (計 6 回) 今年 2 月に始まったロシアのウクライナへの侵略戦争は、双方の国の国民に多大の悲劇を引き起こしているが、現時点で収束の展望はまだ見えず、むしろ泥沼的継続の可能性も高い。このような悲劇的事態について多角的に考えるための素材を提供したい。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/24(月)	川崎市生涯学習プラザ	ロシア・ウクライナ戦争：背景・展開・現状	東京大学名誉教授 塩川伸明
2	11/21(月)		多民族国家としてのウクライナ史	東京大学大学院教授 松里公孝
3	11/28(月)		脆弱な中央政府と強靱な地方政府→ウクライナ政治の構造	慶應義塾大学教授 大串 敦
4	12/12(月)		クリミアとドンバス→ロシア・ウクライナ戦争の起源	東京大学大学院教授 松里公孝
5	1/16(月)		「歴史」をめぐる対立としてのロシア・ウクライナ戦争 **遠隔講義	静岡県立大学准教授 浜 由樹子
6	1/23(月)		冷戦後国際政治システムとロシア・ウクライナ戦争	成蹊大学教授 遠藤誠治

オンライン受講生を含めた受講登録者数 137名 出席者総数 708名

前期

講座 3	日本の安全保障を考え直す		オンライン併用	
	【会場定員】48名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	国際関係	【時間】	毎回 13時00分～14時30分 (計12回)	
概要	中国や北朝鮮の軍事力強化を念頭に「日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増している」とされるが、それだけが現実だろうか。安全保障とは何か、誰の安全をどのような手段で達成するのか、最新の研究をふまえて日本の安全保障を多角的に検討する。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	安全保障とは何か：概念の歴史と変化	成蹊大学教授 遠藤誠治
2	4/18(月)		地球温暖化と気候変動という新しい前提条件	
3	4/25(月)		新しい技術・新しい兵器・新しい安全保障空間	
4	5/16(月)		地政学と日本の安全保障環境	
5	5/23(月)		日米安保と沖縄という絶対条件	
6	5/30(月)		朝鮮半島の安全保障と日本の安全保障	
7	6/6(月)		核抑止力と核抑止理論：神話と実態	
8	6/13(月)		アメリカの軍事力をどう評価するか	
9	6/20(月)		中国の力をどう評価するか	
10	6/27(月)		東アジア地域の安全保障枠組をどうつくるか	
11	7/4(月)		危機の広がるグローバルな共通課題	
12	7/11(月)		グローバルな共通課題を育てることと日本の安全保障	

遠藤誠治・遠藤乾編集代表者『シリーズ日本の安全保障』（岩波書店、2014～2015年）を中心に出版以後の変化をふまえた分析を展開。
オンライン受講生を含めた受講登録者数 91名 出席者総数 986名

前期

WS 1	安全保障について根本から考え直す			
	【定員】30名	【受講料】2年・1年会員ともに 17,160円、聴講生 18,590円		
	【ワークショップ】国際関係	【時間】	毎回 15時00分～17時00分 (計12回)	
概要	安全保障に関する世界の環境と実態は大きく変化しています。中国や北朝鮮の軍事力強化だけが問題ではありません。安全保障とは何なのか、何が課題なのか、どのように対処するのか、最新の研究動向をふまえて、現状を多角的かつ掘り下げて検討します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	安全保障とは何か：概念の歴史と変化	成蹊大学教授 遠藤誠治
2	4/18(月)		人間の安全保障・人類の安全保障・地球の安全保障	
3	4/25(月)		グローバルな共通課題と安全保障の課題	
4	5/16(月)		地政学的思考の妥当性と非妥当性	
5	5/23(月)		核兵器で安全は守れるのか	
6	5/30(月)		日米安保と自衛隊	
7	6/6(月)		自衛隊の役割を考え直す	
8	6/13(月)		中国とどう向き合うのか	
9	6/20(月)		内戦・人道危機と世界の安全保障	
10	6/27(月)		東アジア地域の安全保障枠組をどうつくるか	
11	7/4(月)		食糧安全保障について考える	
12	7/11(月)		グローバルな共通課題を育てる	

遠藤誠治・遠藤乾編集代表『シリーズ日本の安全保障』（岩波書店、2014年～2015年）をテキストとし、収録されている論文を中心に安全保障に関する多様な論文を取り上げた。
受講登録者数 16名 出席者総数 184名

後期

講座 3	香港から中国・世界・日本を見る		オンライン併用	
	【会場定員】48名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	国際関係	【時間】	毎回 13時00分～14時30分 (計12回)	
概要	国際政治は米・中・露などの大国の動向を中心に語られがちですが、小さな国や地域に注目することで見えることも少なくありません。本講義では、地域研究の知識や国際関係論の理論を動員して、激動の香港から中国・アジア・世界を見ることを試みます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/26(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	ガイダンス 本講座の趣旨と問題意識	立教大学教授 倉田 徹
2	10/3(月)		香港入門 「一国二制度」の香港とは何か	
3	10/17(月)		香港史概観 イギリス植民地時代 第二次世界大戦前の香港	
4	10/31(月)		香港史概観 イギリス植民地時代 戦前から戦後の激動	
5	11/14(月)		香港史概観 イギリス植民地時代 戦後の経済発展	
6	11/21(月)		香港史概観 返還過渡期 民主化問題の浮上	
7	11/28(月)		香港政治危機の背景 香港人アイデンティティとナショナリズム	
8	12/5(月)		香港政治危機の背景 経済融合と政治問題	
9	12/12(月)		香港政治危機の背景 返還後の民主化問題の展開①	
10	12/19(月)		香港政治危機の背景 返還後の民主化問題の展開②	
11	1/16(月)		香港政治危機 巨大抗議活動、国安法、民主化の停止	
12	1/23(月)		おわりに 香港危機と中国・世界・日本	

参考書：ジョン・M・キャロル著、倉田明子・倉田徹訳『香港の歴史：東洋と西洋の間に立つ人々』、明石書店、2020年と倉田徹『香港政治危機：圧力と抵抗の2010年代』、東京大学出版会、2021年

オンライン受講生を含めた受講登録者数 34名 出席者総数 366名

後期

WS 1	「中国化」と香港・台湾			
	【定員】30名	【受講料】2年・1年会員ともに 17,160円 聴講生 18,590円		
	【ワークショップ】国際関係	【時間】	毎回 15時00分～17時00分 (計12回)	
概要	中国の台頭は、周辺諸国に様々な影響を与えています。「中国化」現象は、日本の将来にとっても極めて重大なインパクトを持ちます。中国の影響を最前線で受け止めている香港と台湾で起きていることについて、様々な角度からの論文を皆で読みながら考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/26(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	ガイダンス 「中国化」する香港の政治	立教大学教授 倉田 徹
2	10/3(月)		台湾 台湾における「中国ファクター」	
3	10/17(月)		香港 中港経済関係の構造変化	
4	10/31(月)		台湾 中国人観光客のポリティカルエコノミー	
5	11/14(月)		香港 広深港高速鉄道反対運動のローカリズム	
6	11/21(月)		台湾 宗教を通じた統一戦線工作	
7	11/28(月)		香港 キリスト教から見る国安法の前と後	
8	12/5(月)		台湾 進撃の「紅い資本」	
9	12/12(月)		香港 岐路に立つ中国返還後の香港音楽	
10	12/19(月)		台湾 「中国ファクター」と台湾の教科書論争	
11	1/16(月)		香港 「香港人」と「香港製品」をめぐる言説史	
12	1/23(月)		まとめ 「中国化」との向き合い方	

倉田徹・小栗宏太編著『香港と「中国化」—受容・摩擦・抵抗の構造』（2022、明石書店）他をテキストとして使用。

受講登録者数 17名 出席者総数 192名

前期

講座 4	つながるいのち		オンライン併用	
	【会場定員】48名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
いのちの科学		【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)		
概要	生命はどこで誕生したのか、なぜ地球にさまざまな生物がすみ、私たち人類と共存しているのか。今期もこの謎に迫ります。科学技術によって生命現象や進化、遺伝の仕組みが飛躍的に解明されています。一方、人がどこまで生命を操作してよいかも問われています。私たちは「限りあるいのち」をどう生きるか、生命倫理の面からも学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(月)	川崎市生涯学習プラザ	生命の起原	東京工業大学名誉教授 大島泰郎
2	4/18(月)		ともに生きる微生物	
3	4/25(月)		(連休を前に)植物と語り合う	東京大学名誉教授 人と自然の博物館名誉館長 岩槻邦男
4	5/9(月)		生命系の生を生きる	国立科学博物館名誉研究員 山田 格
5	5/16(月)		海の大型動物クジラの生と死	
6	5/23(月)		子どもに遺伝をどう教えるか	遺伝カウンセラー 滝澤公子
7	5/30(月)		遺伝子検査と遺伝カウンセリング	お茶の水女子大学助教、認定遺伝カウンセラー 佐々木 元子
8	6/6(月)		いのちを“つくる”医療に歯止めは必要か?	大正大学客員教授、東京大学名誉教授 島園 進
9	6/13(月)		限りあるいのちとつながるいのち	
10	6/20(月)		いのちと雨(1) 人類に残された安全な水	天水研究所代表(薬学博士) 村瀬 誠
11	6/27(月)		いのちと雨(2) レインシティとエコファームの契機	
12	7/4(月)			ノンフィクション作家 「福井県年縞博物館」特別館長 山根一真

オンライン受講生を含めた受講登録者数 54名 出席者総数 579名

後期

講座 4	つながるいのち一人の命を守る		オンライン併用	
	【会場定員】48名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
いのちの科学		【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)		
概要	地球上に誕生した生命の進化の歴史をたどる「つながるいのち」のシリーズ。今期は、人の命を中心に生命の謎や生存にかかわる現代の課題を取り上げます。新型コロナウイルス感染のその後の展開や人の心・社会への影響のほか、多発する災害からの防護、生物多様性との関係、さらに先端医療や科学技術の行方とあり方などを学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/3(月)	川崎市生涯学習プラザ	パンデミックの1000日 ― 何を学んだか	東京大学名誉教授 黒木 登志夫
2	10/17(月)		コロナ禍での心の病と健康 ― MORITA(療法)からの見方	東急病院心療内科 医師 (東急電鉄(株) 統括産業医) 伊藤克人
3	10/24(月)		緊急救助、災害からいのちを守る	日本消防検定協会 技術参与 (元川崎市消防局勤務) 橋本昭彦
4	10/31(月)		人と動物の共生を考える	環境省自然環境局総務課調査官 長田 啓
5	11/7(月)		生物多様性の利用と産業	国立遺伝学研究所 産学連携・知的財産室 室長 鈴木 睦昭
6	11/21(月)		畜産におけるアニマルウェルフェア	公益社団法人 畜産技術協会 技術普及部長 八木淳公
7	11/28(月)		ノーベル賞にみる生命科学と医学	科学技術振興機構(JST) イノベーション拠点推進部企画課長 古川雅士
8	12/5(月)		人体を解剖すること ― 歴史と意義	順天堂大学 特任教授 坂井建雄
9	12/12(月)		生と死の現場取材して	ジャーナリスト元 NHK デレクター 迫田朋子
10	1/16(月)		生命科学の光と影 ― 生命倫理を考える	徳島大学副学長、順天堂大学客員教授 国立循環器病研究センター理事長特命補佐 菱山 豊
11	1/23(月)		東日本大震災での体験と防災、啓発活動	防災科学技術研究所 職員(広報担当) 元新聞記者 今野 公美子
12	1/30(月)		明日につながる子どもと女性のいのち ― いま発展途上国から考える	プラン・インターナショナル・ジャパン理事長 長崎大学熱帯医学研究所客員教授 池上清子

オンライン受講生を含めた受講登録者数 41名 出席者総数 427名

前期

WS 2	奇跡の海 相模湾		オンライン併用	
	【定員】40名 【受講料】2年・1年会員ともに 17,160円、聴講生 18,590円			
【ワークショップ】科学		【時間】 毎回 15時00分～17時00分(計12回)		
概要	相模湾はしばしば「奇跡の海」と呼ばれるが、この特異な海域の成り立ちと現状を地球誌、生物学などの自然科学の観点より検討するとともに、この海域を巡る歴史を振り返り、そのもたらす豊かな富を概観する。これらを通じて、「奇跡の海」と呼ばれる所以を総合的、立体的に理解することを目指す。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(月)	川崎市生涯学習プラザ	大正関東震災(1923)と元禄地震(1703) ―相模トラフを震源とする南関東の巨大地震	地震津波防災戦略研究所 所長 都司嘉宣
2	4/18(月)		2011年東日本震災(M9.0)は、なぜ1000年に一度の大津波を引き起こしたのか? ―付加体と巨大津波	
3	4/25(月)		相模湾の海水準と古典、宇宙人文学からの検討	元 宇宙航空研究開発機構 未踏技術研究センター 主幹研究員 中野 不二男
4	5/9(月)		和賀江嶋と新しい仏教界の動き	駒澤大学講師 松木謙一
5	5/16(月)		モースと江の島臨海実験所	東京工業大学名誉教授 星 元紀
6	5/23(月)		相模湾の生物	野生水族繁殖センター代表 廣崎芳次
7	5/30(月)		相模湾奥の江の島に棲む海岸の生きものたち、彼らはいま…	神奈川大学・北里大学講師 植田育男
8	6/6(月)		三崎臨海実験所における進化動物学研究	東京大学三崎臨海実験所 所長・教授 三浦 徹
9	6/13(月)		水圏のウイルス：湖沼・海洋・温泉	東京工業大学地球生命研究所助教 望月智弘
10	6/20(月)		宝の海、相模湾Ⅰ―首都圏が誇る海の自然	東京大学生産技術研究所 平塚総合海洋実験場 (元 神奈川県水産技術センター相模湾試験場) 石戸谷 博範
11	6/27(月)		宝の海、相模湾Ⅱ―100万本のブリと定置網漁業	
12	7/4(月)			早雲(伊勢宗瑞)の関東進出 駒澤大学講師 松木謙一

オンライン受講生を含めた受講登録者数 15名 出席者総数 140名

後期

WS 2	顕微鏡技術の進歩と生物学の発展		実習以外オンライン併用	
	【会場定員】40名 【受講料】2年・1年会員ともに 17,160円、聴講生 18,590円			
【ワークショップ】科学		【時間】 毎回 15時00分～17時00分(計12回)		
概要	顕微鏡の発明は細胞と微生物の発見という大変革を生物学にもたらし、その技術的進歩は生物学の発展に大きく寄与し続けてきた。本WSではそのような歴史を振り返るとともに、現時点における到達点を概観したうえで、簡便なスマホ顕微鏡を用いた実習を行う。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/3(月)	川崎市生涯学習プラザ	見えないものを見る 肉眼視を超えた世界の発見	東京工業大学名誉教授 星 元紀
2	10/17(月)		生物学の発展における顕微鏡技術の進歩 1細胞の発見	
3	10/24(月)		生物学の発展における顕微鏡技術の進歩 2組織と器官の構造	
4	10/31(月)		生物学の発展における顕微鏡技術の進歩 3オルガネラの構造	
5	11/7(月)		生物学の発展における顕微鏡技術の進歩 4微生物の発見とその影響	
6	11/21(月)		生物学の発展における顕微鏡技術の進歩 5ウイルスの世界	
7	11/28(月)		生物学の発展における顕微鏡技術の進歩 6生体高分子の三次元構造	
8	12/5(月)		クライオ電子顕微鏡を用いた構造生理学研究 **遠隔講義	東京医科歯科大特別名誉教授・学士院会員 京都大学名誉教授 藤吉好則
9	12/12(月)		筋収縮を担うタンパク質分子モーターの一分子観察 **遠隔講義	大阪大学大学院特任教授 NECプレインクスバイヤー・ドコモ・インテグレーション協働研究所 所長 NICTフェロー・学士院会員 柳田敏雄
10	1/16(月)		*実習1 スマホ顕微鏡による身の回りの微生物の観察	科学コミュニケーション研究所代表・CEO 白根純人 東京工業大学名誉教授 星 元紀
11	1/23(月)		*実習2 スマホ顕微鏡による受精と初期発生の観察	お茶の水女子大学教授 千葉 和義 科学コミュニケーション研究所代表・CEO 白根純人 東京工業大学名誉教授 星 元紀
12	1/30(月)		*実習3 蛍光スマホ顕微鏡による遺伝子発現の観察	

第10回、11回、12回の「J」は、オンライン受講生も会場受講。**遠隔講義」とは講師の先生は自宅等からオンラインで講義、会場で受講生はスクリーンで受講。
オンライン受講生を含めた受講登録者数 14名 出席者総数 144名

前期

講座 5	伝統芸能の再生と未来～民謡から現代邦楽までの旅～			
	【定員】42名 【受講料】2年会員 13,640円、1年会員 15,070円、聴講生 19,360円			
日本の伝統芸能		【時間】毎回14時00分～15時30分 (計12回)		
概要	日本は伝統芸能の宝庫ですが、アフターコロナの状況下において、様々な問題も抱えています。今回は全国各地の民謡や郷土芸能を知る旅を通して、その魅力や問題点を探ります。また、伝統楽器のこれらについて、ゲスト演奏や製造販売の専門家からのお話を伺います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/11(月)	大山街道 ふるさと館 イベントホール	はじめに 伝統芸能の諸問題を考察する	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重行敏
2	4/25(月)		民謡・郷土芸能の旅 1 (北日本) アイヌ古式舞踊、北海道・東北の祭礼と民謡	
3	5/9(月)		民謡・郷土芸能の旅 2 (東日本) 関東・東海の祭礼と民謡	
4	5/23(月)		民謡・郷土芸能の旅 3 (西日本) 北陸・関西・四国の祭礼と民謡	
5	6/13(月)		民謡・郷土芸能の旅 4 (南日本) 九州・奄美・沖縄の祭礼と民謡	
6	6/27(月)		現代の三味線を聴く【ゲスト野澤徹也、野澤佐保子(現代邦楽研究所講師)】	
7	7/4(月)		日本の楽器を知る・吹き物の世界～笛・尺八からチャルメラまで	
8	7/11(月)		日本の楽器を知る・弾き物の世界 1～琴・箏から箏篋まで	
9	8/22(月)		日本の楽器を知る・弾き物の世界 2～三味線・胡弓からゴッタンまで	
10	8/29(月)		日本の楽器を知る・打ち物の世界～鼓・太鼓からオルゴールまで	
11	9/12(月)		箏の製造と保守【ゲスト 谷川和弘(箏製造販売)】	
12	9/26(月)		まとめ 伝統芸能の未来を考える	

受講登録者数 33名 出席者総数 335名

前期

講座 6	日本美術の見方—日本美術をより豊かに楽しむために			
	【定員】200名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
美術 I		【時間】(第3回、6回、7回を除く)毎回10時30分～12時00分、第3回、6回、7回は10時00分～11時30分 (計12回)		
概要	本講座は作品だけを見てはわからない日本美術の性格を考えることを目的とします。前半は江戸時代に活躍した画家の画業を時代との関わりの中で掘り下げることで、後半は表装やコレクターといった存在を通じて、日本美術のさまざまな見方を提案します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/5(火)	新百合21 ビルB2 多目的ホール	ガイダンス ～各回のテーマについて	京都芸術大学 ・早稲田大学講師 濱村蘭衣子
2	4/12(火)		岩佐又兵衛 ～浮世又兵衛という個性	
3	4/19(火)		英一蝶 ～都市の画家	
4	5/10(火)		鈴木其一 ～近代的造形の萌芽	
5	5/17(火)		渡辺華山 ～早すぎた近代人	
6	5/24(火)		作品をこぼし ～作品を見る力を上げるには	
7	5/31(火)		表装からみる日本美術①	
8	6/7(火)		表装からみる日本美術②	
9	6/14(火)		近代日本のコレクターたち①	
10	6/28(火)		近代日本のコレクターたち②	
11	7/12(火)		日本美術とコレクター① 佐竹本とその切断	
12	7/26(火)		日本美術とコレクター② 佐竹本と表装	

受講登録者数 58名 出席者総数 627名

後期

講座 5	伝統芸能の未来を見つめて～その起源と変遷を探る			
	【定員】42名 【受講料】2年会員 13,440円 1年会員 14,870円 聴講生 19,160円			
日本の伝統芸能		【時間】毎回14時00分～15時30分 (計12回)		
概要	コロナ以降の伝統芸能の未来を考える上で、今回は視点を広げ、前半では芸能の起源や民謡の変遷と伝播、後半ではアジアの芸能との比較を試みます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/3(月)	大山街道 ふるさと館 イベントホール	伝統芸能の起源 ～神楽の世界	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所 所長 森重行敏
2	10/17(月)		和楽器の現在と未来 1 囃子 【ゲスト 望月太左衛門】	
3	10/31(月)		伝統芸能の起源 ～仏教芸能	
4	11/7(月)		旅する民謡 1 「万歳」～祝福の芸能	
5	11/21(月)		旅する民謡 2 「追分」～馬子唄の変遷	
6	12/5(月)		旅する民謡 3 「ハイヤ節」～海のリズム	
7	12/12(月)		旅する民謡 4 「盆踊り」～語りと踊り	
8	1/16(月)		和楽器の現在と未来 2 尺八 【ゲスト/尺八:神 令、箏:吉原 佐知子】	
9	1/30(月)		アジアと日本の芸能 1 中国 【ゲスト/笛子演奏:馮 蕊(Feng Rui)】	
10	2/6(月)		アジアと日本の芸能 2 韓国	
11	2/20(月)		アジアと日本の芸能 3 東南アジアの音楽	
12	3/6(月)		まとめ 伝統芸能の未来を考える 【ゲスト/中国箏:呉 尚美婁 (WU SHANGMEIYUE)】	

受講登録者数 24名 出席者総数 266名

後期

講座 6	シルクロードの仏教説話図—インドから法隆寺玉虫厨子まで			
	【定員】200名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
美術 I		【時間】毎回10時30分～12時00分、第10回のみ10時00分～11時30分 (計12回)		
概要	インドでは仏教の教えや物語を絵画や彫刻で表した説話図が早くから発達し、またその絵解きも行われていたようです。日本を終着点とするシルクロードに伝えられた説話図の内容と技法について、楽しく絵解きをしながらご紹介します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(火)	新百合21 ビルB2 多目的ホール	導入 仏教説話図とは何か	多摩美術大学講師 森 美智代
2	10/18(火)		インド・パールフット仏塔の浮彫	
3	11/1(火)		インド・アジャンター石窟① 前期石窟の壁画	
4	11/15(火)		インド・アジャンター石窟② 後期石窟の壁画	
5	11/29(火)		ガンダーラの仏伝図浮彫①	
6	12/13(火)		ガンダーラの仏伝図浮彫②	
7	1/17(火)		中央アジア・キジル石窟① 第一様式壁画	
8	1/31(火)		中央アジア・キジル石窟② 第二様式壁画	
9	2/14(火)		中国・敦煌莫高窟① 北朝前期の壁画	
10	2/21(火)		中国・敦煌莫高窟② 北朝後期～隋の壁画	
11	2/28(火)		日本・法隆寺玉虫厨子①	
12	3/14(火)		日本・法隆寺玉虫厨子②	

受講登録者数 69名 出席者総数 743名

前期

講座 7	宇宙の誕生から日本列島まで			オンライン併用
	【会場定員】48名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	新しい科学の世界 I 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	「私たちは何者? どこからきてどこへ行くの?」この根本的問いかけの主語を宇宙から私たちの住む大地・日本列島まで順次、時間と空間を狭めていって、私たちの持つ自然観に新しい息吹を吹き込みましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/12(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	地球は宇宙のどこにあるか?	国立天文台教授 渡部潤一
2	4/19(火)		138億年の宇宙史における天体・地球・生命の共進化	東京大学教授 須藤 靖
3	4/26(火)		プレートテクトニクスはいつから始まったか、	東京大学名誉教授 木村 学
4	5/10(火)		地球の誕生・冥王代から太古代	東京大学教授 小宮 剛
5	5/17(火)		日本列島を素材に地球を考える	東京大学名誉教授 木村 学
6	5/31(火)		日本列島の古中生代	東京大学名誉教授 磯崎行雄
7	6/7(火)		日本列島の5千万年	東京大学名誉教授 木村 学
8	6/14(火)		太陽系の誕生と小惑星サンプルリターン	東京大学教授 橘 省吾
9	6/21(火)		マグマと地殻の発達	国立研究開発法人防災科学技術研究所 火山研究推進センター長 中田節也
10	6/28(火)		火山噴火と災害	
11	7/5(火)		背弧まで含んだ沈み込み帯で生じる現象と海洋プレートに関する話題	海洋研究開発機構 海域地震火山部門 グループリーダー 藤江 剛
12	7/12(火)		主に沈み込み帯で生じる現象と海洋プレートに関する話題	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 101名 出席者総数 1123名

後期

講座 8	宇宙の誕生から日本列島まで II			オンライン併用
	【会場定員】48名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	新しい科学の世界 I 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	宇宙から太陽系、そして私たちの住む地球・日本列島まで順次、時間と空間を狭めていって、私たちの持つ自然観に動かし第2弾です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	地球の中の宇宙—日常に潜む宇宙を知る	国立天文台 特任教授 渡部潤一
2	10/11(火)		宇宙の中の地球—宇宙観の変遷を知る	
3	10/18(火)		惑星を取り巻く宇宙環境と生命生存可能性(1) **遠隔講義	東京大学 教授 関 華奈子
4	10/25(火)		惑星を取り巻く宇宙環境と生命生存可能性(2)	
5	11/1(火)		ハビタブル惑星としての地球 **遠隔講義	東京大学大学院 教授 田近英一
6	11/8(火)		太陽系外に第二の地球は存在するか?	
7	11/22(火)		海洋深層循環	東京大学 名誉教授 日比谷 紀之
8	11/29(火)		気象津波の励起機構	
9	12/6(火)		プレートテクトニクスとアジア・日本列島(1)	東京大学 名誉教授 木村 学
10	12/13(火)		プレートテクトニクスとアジア・日本列島(2)	
11	1/17(火)		日本列島域の地震と地殻変動(1)	海洋研究開発機構 海域地震火山部門 部門長 小平秀一
12	1/24(火)		日本列島域の地震と地殻変動(2)	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 86名 出席者総数 922名

前期

講座 8	つぶさに観る自然の姿			
	【定員】40名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
	自然 II (川崎学)【時間】 毎回 10時30分～12時00分(野外学習は移動時間や見学地の状況により多少時間が前後) (計12回)			
概要	自然は、見方を変えることにより様々な姿を私たちに見せます。本講座は川崎周辺の動物・植物、地形・地質の各分野を野外観察を中心に細かく観る実践的な構成になっています。自然を多角的に観る目を養うことができます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/5(火)	川崎市 生涯学習プラザ	最終氷期の自然と下末吉海進について	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
2	4/12(火)	神奈川県 藤沢市	境川遊水地公園の化石と地質 (午前・午後各2時間程度予定)	
3	5/10(火)	川崎市 生涯学習プラザ	木の実・草の実の戦略 ***遠隔講義	神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員 石田祐子
4,5	5/17(火)	神奈川県 秦野市	葛葉峡谷の自然観察と身近な哺乳類について学ぶ (午前・午後各2時間程度を予定)	秦野市くずはの家 高橋孝洋・味埜真理
6,7	5/24(火)		秦野市本町周辺(旧曾屋村)の地形・地質と街並み (午前・午後各2時間程度を予定)	神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員 田口公則
8,9	6/7(火)	埼玉県 秩父市	秩父にも海があった! (バス利用) (8時～18時予定)	神奈川県立生命の星・地球博物館 名誉館員 笠間友博
10	6/28(火)	川崎市 生涯学習プラザ	神奈川県植物～県民が見つけた神奈川県植物誌～	神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員 石田祐子
11	7/5(火)		干潟の環境とそこに暮らす生物たち	
12	7/12(火)	千葉県船橋市	干潟の生物観察(三番瀬) (午前約2時間程度予定)	NPO法人ディスカバーブルー 寺西 聡子

※4/5(火)10時00分より30分程オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 ※第8,9回6/7(火)はバス借上げ費用等で別途6,000円集金。バスの手配は、富士急トラベル。

受講登録者数 37名 出席者総数 375名

後期

講座 9	つぶさに観る自然の姿			
	【定員】40名 【受講料】2年会員 11,440円 1年会員 12,870円 聴講生 17,160円			
	自然 II (川崎学) 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 野外学習は、学習内容記載の時間を参照。(計12回)			
概要	自然は、見方を変えることにより様々な姿を私たちに見せます。本講座は川崎周辺の動物・植物、地形・地質の各分野を野外観察を中心に細かく観る実践的な構成になっています。自然を多角的に観る目を養うことができます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/25(火)	川崎市 生涯学習プラザ	多摩川対岸の地学1～武蔵野台地の地形・地質	神奈川県立生命の星・地球博物館 名誉館員 笠間友博
2,3	11/1(火)	鎌倉市	鎌倉の第四紀層めぐり (午前・午後各2時間程度)	神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員 田口公則
4,5	11/15(火)	町田市、 相模原市	武蔵国と相模国、多摩丘陵と相模野台地、境をめぐる地形学散歩(午前・午後各2時間程度予定)	多摩川流域自然史研究会 代表 増淵和夫
6	11/22(火)	国分寺市	多摩川対岸の地学2～導入 国分寺崖線と湧水(午前約2時間程度予定)	神奈川県立生命の星・地球博物館 名誉館員 笠間友博
7,8	12/6(火)	府中市、 国分寺市	多摩川対岸の地学3～府中崖線、浅間山、国分寺崖線(午前・午後各2時間程度予定)	
9	12/20(火)	川崎市 生涯学習プラザ	冬の植物観察 ***遠隔講義	神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員 石田祐子
10	2/14(火)		神奈川県植物～希少種・外来種 ***遠隔講義	
11	3/7(火)		海岸ベントスの種間競争 ～生きるためのあの手この手	
12	3/14(火)	葉山町	海岸ベントス生態観察(午後開催:14:00～16:00)	神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員 佐藤武宏

※10/25(火)10時00分より30分程オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施

受講登録者数 40名 出席者総数 403名

前期

講座 9	江戸幕府体制の確立			オンライン併用
	【会場定員】48名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
概要	日本史 【時間】 毎回10時30分～12時00分(計12回)			
概要	徳川家康はいかにして約260年にも及ぶ政治体制を樹立したのでしょうか。家康・秀忠・家光三世にわたる幕府の基礎づくりを、幕府機構の形成、大名・朝廷・キリシタン統制、農村・都市支配などの視点、さらには海外貿易や外交、近世城郭や茶の湯などもあわせて考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/12(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	天下統一と元和偃武～関ヶ原合戦と大坂の陣～	共立女子大学教授 堀 新
2	4/19(火)		近世初期の大御所政治～家康の大御所政治を中心に～	前横浜市歴史博物館学芸員 曾根勇二
3	4/26(火)		天正18(1590)年以降の関東徳川検地と近世村落の成立	東京都立大学教授 谷口 央
4	5/10(火)		江戸幕府の全国支配体制～国主と国奉行～	学習院女子大学名誉教授 松尾 美恵子
5	5/17(火)		江戸幕府の大名統制～参勤交代を中心に～	前早稲田大学講師 泉 正人
6	5/31(火)		巨大都市江戸の成立	早稲田大学講師 加藤 貴
7	6/7(火)		近世城館の成立	江戸東京博物館学芸員 齋藤慎一
8	6/14(火)		近世初期の武家茶の湯～利休と織部～	明治学院大学講師 毛利豊史
9	6/21(火)		キリシタン禁制と島原の乱	早稲田大学名誉教授 深谷克己
10	6/28(火)		元和・寛永期の幕府と朝廷	早稲田大学講師 久保貴子
11	7/5(火)		海外貿易と鎖国	早稲田大学講師 米谷 均
12	7/12(火)		国家・社会の近世化	共立女子大学教授 堀 新

オンライン受講生を含めた受講登録者数 95名 出席者総数 1008名

後期

講座 10	「大正デモクラシー」の光と影 – 民衆の視点、東アジアの視点から検証する			オンライン併用
	【会場定員】48名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
概要	日本史 【時間】 毎回10時30分～12時00分(計12回)			
概要	「大正」時代に高揚した自由主義・民主主義的な風潮を、「大正デモクラシー」と呼んでいます。しかし、なぜ「大正」+「デモクラシー」なのでしょう。「大正」時代と「デモクラシー」期は、どう関係するのでしょうか。民衆の視点、東アジアの視点から「大正デモクラシー」の意味を検証し、その光と影に迫ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	「大正デモクラシー」とは何かー時代状況と研究状況から	早稲田大学 名誉教授 大日方 純夫
2	10/11(火)		「大正デモクラシー」と帝国憲法 – 君主制と内閣の位相	
3	10/18(火)		東アジア史の視点から考える「大正デモクラシー」	
4	10/25(火)		外国新聞から読み解く「大正デモクラシー」期の日本	早稲田大学 教授 藤野裕子
5	11/1(火)		都市暴動はいかにして起きたかー1905～1918年	
6	11/8(火)		普選運動・労働運動を再考するー1920年代	
7	11/22(火)		朝鮮人虐殺を考えるー1923年・1932年	早稲田大学歴史館 嘱託 宮本正明
8	11/29(火)		東アジアからの留学生(1)ー1910年代を中心に	
9	12/6(火)		東アジアからの留学生(2)ー1920年代を中心に	小樽商科大学 名誉教授 荻野 富士夫
10	12/13(火)		治安維持法の成立と運用	
11	1/17(火)		朝鮮・台湾における治安維持法	
12	1/24(火)		「転形期」の青春——小林多喜二と西田信春	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 68名 出席者総数 719名

前期

WS 3	新井白石『折たく柴の記』を読む			※グループ発表あり	オンライン併用
	【定員】35名 【受講料】2年会員・1年会員ともに10,010円 聴講生 11,440円				
概要	【ワークショップ】日本史 【時間】 毎回13時15分～15時15分(計7回)				
概要	江戸時代中期、「正徳の治」と呼ばれる時代を迎えますが、当時の幕府はいくつもの問題を抱えていました。泰平の世における武士のありかたや逼迫する財政問題、さらには地震や富士山噴火などの自然災害も起こっています。新井白石はこの時期の幕政を支えた人物であり、『折たく柴の記』は白石が晩年に記した自叙伝となります。白石の状況分析や提言を通して、当時の人々の意識や問題への対応の仕方についてとりあげていきたいと思ひます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/12(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	新井白石の時代——『折たく柴の記』について	国士館大学教授 松野敏之	
2	5/10(火)		幕政への提言——参勤交代・旗本制度		
3	5/31(火)		朝鮮通信使への対応		
4	6/7(火)		自然災害と幕府の政策		
5	6/21(火)		貨幣改鑄に関する意見書		
6	7/5(火)		朝廷と幕府		
7	7/12(火)		白石の歴史意識と提言		

テキスト:折たく柴の記(岩波文庫本 1,320円)。参考図書:桑原武夫訳『新井白石 折りたく柴の記』(中公クラシックス 1,650円)。

受講生による発表と質疑を入れたゼミ形式。

オンライン受講生を含めた受講登録者数 21名 出席者総数 129名

後期

WS 3	探訪「大正デモクラシー」～『原敬日記』を読み解く			※グループ発表あり
	【定員】35名 【受講料】2年会員・1年会員ともに10,010円 聴講生 11,440円			
概要	【ワークショップ】日本史 【時間】 毎回13時15分～15時15分(計7回)			
概要	本年のWSでは、近代日本を代表する政党政治家・原敬(1856～1921年)の日記(『原敬日記』)を読み解きます。原が要職を歴任した期間は、「大正デモクラシー」と呼ばれる戦前日本の転換点に重なっています。日記にも、そうした重要な時期に際会した原の率直な思いがうつられており、当該期を考察するうえで不可欠の史料となっています。そこで今回は、日記に登場する重要な事件をいくつか取り上げます。記述の背後にある社会状況や登場人物について調査し、その結果を報告していただいた後に全員で討論します。強大な軍部と渡り合い、民主主義の「芽」を根付かせる活動に邁進した原の生きざまは、危機に瀕した民主主義の時代を生きた私たちに多くの示唆を与えてくれます。本日記を読み解き、「大正デモクラシー」の時代と原敬に関する理解を深め、日本近現代史に親しんでいただけたら幸いです。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(火)	川崎市 生涯学習 プラザ	『原敬日記』を読み解く意義～ガイダンスと課題史料について	日本大学文理学部人文科学研究 所 研究員 荒船 俊太郎
2	10/25(火)		天皇の代替わり～明治の終焉と大正時代の幕開け	
3	11/1(火)		二個師団増設問題の深刻化	
4	11/15(火)		第一次護憲運動	
5	12/13(火)		シベリア出兵問題の深刻化と米騒動	
6	1/17(火)		「平民宰相」の誕生	
7	1/24(火)		まとめにかえて～「大正デモクラシー」と原敬の時代	

参考図書:季武嘉也『原敬』(山川出版社(日本史リブレット)、2010年、880円)・清水唯一朗『原敬』(中公新書、2021年、990円)など。

受講者による報告と質疑応答を含むゼミ形式。

受講登録者数 21名 出席者総数 138名

前期

講座 10	〈中華帝国システム〉を考える（第1部） —歴史と比較の視座から理解する東アジアの国際関係—			オンライン併用
	【会場定員】200名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	エクセレントⅢ 【時間】 毎回 13時30分～15時00分（計12回）			
概要	近年世界的な存在感を高める中国は、古くから成立し続けた《中華帝国》のシステムこそ、西洋その他の文明よりも普遍的で、平和で包容力があるとし、その姿を継承・発展させると主張しています。しかしその姿は実際のところ、どのようなものだったのでしょうか。他の多様な文明・文化との接触・摩擦・比較を通じて相対化してこそ、はじめて俯瞰的な理解を得ることができるでしょう。このリレー講義では、このような問題に専門的な知見を有する講師の先生をお招きしつつ、皆さんに「中華」をめぐる混沌を見通す視座をご提供します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/5(火)	新百合21ビル地下2階 多目的ホール	東アジア世界システムとしての「中華帝国」=華夷秩序 総論……歴史と現在	東京大学教授 平野 聡
2	4/12(火)		春秋学の華夷思想……華夷秩序と儒学	東京大学教授 小島 毅
3	5/10(火)		「天朝」と「一盤の散砂」……中央集権・朝貢関係と社会のダイナミズム	東京大学教授 平野 聡
4	5/17(火)		北虜南倭の時代（尖閣問題への歴史的視点）、 そして清の台頭と内陸アジア	
5	6/7(火)		「華夷の別」をどうみるのか……日本の場合	東京大学名誉教授 渡辺 浩
6	6/14(火)		「華夷の別」をどうみるのか……日本の場合その2	
7	6/28(火)		華夷秩序と幕藩体制のはざままで……琉球のアイデンティティ	東京大学教授 平野 聡
8	7/12(火)		「華夷の別」と「中外一体」のせめぎ合い……多文化帝国・清の光と陰	東京大学教授 平野 聡
9	7/26(火)		「華夷の別」をどうみるのか……朝鮮の場合	東京大学准教授 三ツ井 崇
10	8/2(火)		華夷秩序と「南国意識」……ベトナムのアイデンティティ	東京大学教授 岩月純一
11	9/6(火)		多様で巨大な帝国をどう統治すべきか……ローマ帝国の視座	共立女子大学教授 上野慎也
12	9/13(火)		多様で巨大な帝国をどう統治すべきか……オスマン帝国の視座	東京大学特任研究員 長谷部 圭彦

オンライン受講生を含めた受講登録者数 97名 出席者総数 1027名

後期

講座 7	〈中華帝国システム〉を考える（第2部） —歴史と比較の視座から理解する東アジアの国際関係—			オンライン併用
	【会場定員】200名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	エクセレントⅢ 【時間】 毎回 13時30分～15時00分（計12回）			
概要	超大国の座を目指す中国は、《中華帝国》システムの理想を現代に応用し、中国と世界の発展を牽引すると称していますが、一方で中国の内外で摩擦が引き起こされてきたのは何故でしょうか。このリレー講義では、歴史と思想に造詣の深い講師をお招きし、中国と周辺諸地域、そして国際関係の来し方行く末をめぐる多面的な視点をご提供します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(火)	新百合21ビル地下2階 多目的ホール	他者に冷たい漢文明・近親憎悪を生むロシア世界 東アジアと旧ソ連圏の比較	東京大学教授 松里公孝
2	10/18(火)		イギリス帝国と中華帝国 比較と関係	成城大学名誉教授 木畑洋一
3	11/1(火)		近代中国人の日本発見	東京大学教授 吉澤 誠一郎
4	11/15(火)		中華世界の中の台湾----統合と離反	東京大学教授 松田康博
5	11/29(火)		近代国際関係と中華帝国の不調和 朝鮮とチベットを中心に	東京大学教授 平野 聡
6	12/6(火)		中華帝国システムと新疆の近現代	法政大学准教授 熊倉 潤
7	12/13(火)		中国ナショナリズムの出現と「中華民族」「五族共和」	東京大学教授 平野 聡
8	1/17(火)		清朝の滅亡とともに中華世界から離脱したモンゴルと、離脱できなかったチベット	東京外国語大学名誉教授 中見立夫
9	1/31(火)		米中の体制競争----揺らく米国民民主主義	同志社大学准教授 三牧聖子
10	2/14(火)		香港の悲劇 植民地構造と民主化の模索	東京大学教授 阿古智子
11	2/28(火)		中国の「一帯一路」新時代と民族問題の行方	東京大学教授 平野 聡
12	3/14(火)		現代中国とソ連・ロシア	防衛省防衛研究所主任研究官 山添博史

オンライン受講生を含めた受講登録者数 144名 出席者総数 1527名

前期

講座 11	みどり学Ⅰ—身近な自然に興味を持ち親しみを深める			オンライン併用	
	【定員】90名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円				
	みどり学Ⅰ 【時間】講義:13時30分～15時00分、野外:10時30分～14時30分、ただし6/21,6/28(火)は8時00分～18時00分（計12回）				
概要	みどり学は自然環境を広く学ぶ講座です。日常生活の中で接する身近な自然を見つめ、自然と生活の関わりを理解して、生活に生かすことを目指します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1,2	4/12(火)	東京都あきる野市	光厳寺の白山桜と廣徳寺のカヤ	A班実施/ B班休み	樹木医 石井誠治
	4/19(火)			B班実施/ A班休み	
3	4/26(火)	川崎市生涯学習プラザ	身近な植物・竹の不思議な生活史	A・B班実施	東京大学大学院農学生命科学研究科 千葉演習林助教 久本洋子
4,5	5/10(火)	等々力 渓谷	都内に残る最後の渓谷で歴史と自然を楽しむ	A班実施/ B班休み	樹木医 石井誠治
	5/17(火)			B班実施/ A班休み	
6	5/31(火)	川崎市生涯学習プラザ	ヨーロッパアルプスと日本の高山を比較する	A・B班実施	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
7	6/7(火)		石の見かた～鉱物を通して地球を知る	A・B班実施	国立科学博物館地学研究部 研究主幹 門馬綱一
8	6/14(火)		樹木図鑑づくりの現場から見た森の生態系 * * 遠隔講義	A・B班実施	図鑑作家 林 将之 樹木医 石井誠治
9,10	6/21(火)	筑波実験植物園	前期の講座で受けた園内管理講義を体験する	A班実施/ B班休み	筑波実験植物園技能補佐員 二階堂太郎
	6/28(火)			B班実施/ A班休み	
11	7/5(火)	川崎市生涯学習プラザ	明治神宮の100年～永遠の森をめざした先人たちの軌跡	A・B班実施	明治神宮国際神道文化研究所 主任研究員 今泉宜子
12	7/12(火)	川崎市生涯学習プラザ	幸福の国ブータンに見る日本に通じる豊かな森林文化	A・B班実施	樹木医 石井誠治

※本講座はみどり学の受講経験の浅い方が比較的多く受講。 ※4/5(火)13時30分より1時間ほどオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 オンライン受講生を含めた受講登録者数 83名 出席者総数 843名

後期

講座 11	みどり学Ⅰ—身近な自然に興味を持ち親しみを深める			オンライン併用	
	【定員】90名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円				
	みどり学Ⅰ 【時間】 講義:13時30分～15時00分、野外:10時30分～14時30分予定（計12回）				
概要	みどり学は自然環境を広く学ぶ講座です。日常生活の中で接する身近な自然を見つめ、自然と生活の関わりを理解して、生活に生かすことを目指します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1,2	10/4(火)	仲町台公園	計画された植栽緑地から自然景観を探る	A班実施/ B班休み	樹木医 石井誠治
	10/11(火)			B班実施/ A班休み	
3	10/18(火)	川崎市生涯学習プラザ	秋バラの季節バラの探求～日本の野生バラと世界の園芸バラ	A・B班実施	森林インストラクター 武部 令
4,5	10/25(火)	林試の森公園	世界の樹木が集まる林野庁試験場跡地の森	A班実施/ B班休み	森林インストラクター・グリーンセイバー 中西由美子
	11/1(火)			B班実施/ A班休み	
6	11/8(火)	川崎市生涯学習プラザ	高山植物の生活史と近年の植生変化	A・B班実施	東邦大学理学部准教授 下野綾子
7	11/22(火)	川崎市生涯学習プラザ	虫を知り、虫を食べる	A・B班実施	東京農工大学准教授 鈴木丈詞
8,9	11/29(火)	鎌倉中央公園	鎌倉時代の自然を偲び、当時の景観に想いを馳せる	A班実施/ B班休み	樹木医 石井誠治
	12/6(火)			B班実施/ A班休み	
10	12/13(火)	川崎市生涯学習プラザ	北極の氷河を解かす小さな植物～雪氷藻類	A・B班実施	千葉大学教授 竹内 望
11	1/17(火)		植物と昆虫～その密接な関係を探る	A・B班実施	千葉大学教授 野村昌史
12	1/24(火)		ブナ科のドングリに秘められた4000年の眠り	A・B班実施	樹木医 石井誠治

※本講座は、みどり学の受講経験の浅い方が比較的多く受講しています。 ※10/5(火)13時30分より1時間ほどオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 オンライン受講生を含めた受講登録者数 79名 出席者総数 832名

前期

講座 12	みどり学 (フレッシュ)			
	【定員】40名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	みどり学(フレッシュ)【時間】講義:13時30分～15時00分、野外:10時30分～14時30分、 ただし4/26(火)は8時00分～18時00分(計12回)			
概要	みどり学を初めて受講される方を中心に、身近な自然に目を向けるきっかけをつかむことを目的とした講座です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/12(火)	川崎市生涯学習プラザ	身近な植物・竹の不思議な生活史	東京大学大学院農学生命科学研究科 千葉演習林助教 久本洋子
2	4/19(火)		酸性雨で森林が溶ける、その報道はその後?	宇都宮大学名誉教授 谷本丈夫
3,4	4/26(火)	箱根湿生花園	芦ノ湖に遊び、仙石原に咲く草花・樹木に親しむ(バス利用)	樹木医 石井誠治
5	5/10(火)	川崎市生涯学習プラザ	明治神宮の杜の生い立ちと余話 「100年先を見据えた明治神宮の杜の造営」	博士(生物環境調節学) 濱野周泰
6	5/17(火)		モンゴル草原の「生態知」	元麻布大学教授 高槻成紀
7,8	5/31(火)	王禅寺ふるさと公園	新百合ヶ丘から禅寺丸柿の原木と柿生の自然を楽しむ	樹木医 石井誠治
9,10	6/14(火)	舞岡ふるさとの森	谷戸を活かした里山の植生散策	森林インストラクター 武部 令
11	6/21(火)	川崎市生涯学習プラザ	ヨーロッパアルプスと日本の高山を比較する	学芸大学名誉教授 小泉武栄
12	6/28(火)		日本から世界へアジサイの探求	森林インストラクター 武部 令

※本講座は、アカデミーで初めてみどり学を学ぶ方や、初心に帰って学び直しをしたい方向けの内容。※4/12(火)13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 ※第3,4回4/26(火)はバス借上げ費用等で別途、5,000円集金。バスの手配は、富士急トラベル。
受講登録者数 40名 出席者総数 414名

後期

講座 12	みどり学 (フレッシュ)			
	【定員】40名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	みどり学(フレッシュ)【時間】講義:13時30分～15時00分、野外:10時30分～14時30分予定(計12回)			
概要	みどり学を初めて受講される方を中心に、身近な自然に目を向けるきっかけをつかむことを目的とした講座です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/4(火)	川崎市生涯学習プラザ	秋バラの季節バラの探求～日本の野生バラと世界の園芸バラ	森林インストラクター 武部 令
2,3	10/18(火)	代々木公園	代々木公園周辺の地形と歴史を楽しむ	樹木医 石井誠治
4	10/25(火)	川崎市生涯学習プラザ	明治神宮の100年～永遠の森を目指した先人たちの軌跡	明治神宮国際神道文化研究所 主任研究員 今泉宣子
5	11/1(火)		縄文時代から使われる漆の樹木としての魅力と、JAPANと呼ばれる漆器	樹木医 石井誠治
6,7	11/8(火)	小金井公園	歴史ある小金井公園の自然と江戸東京たてももの園	森林インストラクター・グリーンセイバー 中西由美子
8	11/15(火)	川崎市生涯学習プラザ	東京の地形の成り立ちと狭山丘陵の形成	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄
9	11/29(火)		一目千本だけが名所じゃない。様々な桜の名所を訪ねて	日本花の会特任研究員 和田博幸
10	12/6(火)		カイコの可能性を拓く	東京農工大学大学院准教授 伊藤克彦
11,12	1/17(火)	大井・東京湾野鳥公園	埋立地にできた野鳥の楽園と日本一の花市場	樹木医 石井誠治

※本講座は、アカデミーで初めてみどり学を学ぶ方や、初心に帰って学び直しをしたい方向けの内容。※10/4(火)13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。

受講登録者数 34名 出席者総数 333名

前期

講座 13	日本近代小説の「名作」を読みなおす			
	【定員】48名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	文学 【時間】毎回 10時30分～12時00分(計12回)			
概要	日本の近代文学史において、中学校や高等学校で出会った「名作」のいくつかを、あらためて21世紀の視点で読み直し、現代的な読み方の可能性を探っていきます。(岩波文庫を使用します。)			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(水)	川崎市生涯学習プラザ	二葉亭四迷『浮雲』第一篇 ～戯作から近代小説へ	東京大学名誉教授 小森陽一
2	4/27(水)		二葉亭四迷『浮雲』第二篇 ～ゴンチャロフの世界	
3	5/11(水)		二葉亭四迷『浮雲』第三篇 ～ドストエフスキの独白	
4	5/25(水)		森鷗外 ドイツ三部作『舞姫』	
5	6/1(水)		森鷗外 ドイツ三部作『うたかたの記』	
6	6/8(水)		森鷗外 ドイツ三部作『文づかひ』	
7	6/22(水)		幸田露伴『五重塔』「其一」～「其十五」	
8	6/29(水)		幸田露伴『五重塔』「其十六」～「其三十五」	
9	7/6(水)		樋口一葉『にごりゑ』「一～四」	
10	7/13(水)		樋口一葉『にごりゑ』「五～八」	
11	8/3(水)		樋口一葉『たけくらべ』「一～八」	
12	8/10(水)		樋口一葉『たけくらべ』「九～十六」	

受講登録者数 49名 出席者総数 518名

後期

講座 13	日本近代小説の「名作」を読みなおす(2)			
	【定員】48名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	文学 【時間】毎回 10時30分～12時00分(計12回)			
概要	日本の近代文学史において、中学校や高等学校で出会った「名作」のいくつかを、あらためて21世紀の視点で読み直し、現代的な読み方の可能性を探っていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/5(水)	川崎市生涯学習プラザ	国木田独歩『源叔父』: 岩波文庫版『武蔵野』所収	東京大学名誉教授 小森陽一
2	10/12(水)		国木田独歩『忘れ得ぬ人々』: "	
3	10/26(水)		国木田独歩『武蔵野』: "	
4	11/2(水)		泉鏡花『化島』: 岩波文庫版『化島・三尺角』所収	
5	11/9(水)		泉鏡花『清心庵』: "	
6	11/30(水)		泉鏡花『三尺角』: "	
7	12/7(水)		徳富蘆花『不如帰』(上篇): 岩波文庫版『不如帰』	
8	12/14(水)		徳富蘆花『不如帰』(中篇): "	
9	1/11(水)		徳富蘆花『不如帰』(下篇): "	
10	1/25(水)		尾崎紅葉『金色夜叉』(前篇・中篇): 岩波文庫版『金色夜叉』(上)	
11	2/1(水)		尾崎紅葉『金色夜叉』(後篇・続篇): 岩波文庫版『金色夜叉』(上)(下)	
12	2/8(水)		尾崎紅葉『金色夜叉』(続続・新続): 岩波文庫版『金色夜叉』(下)	

受講登録者数 48名 出席者総数 504名

前期

WS 4	明治文学を読む			
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに 8,580円、聴講生 10,010円			
	【ワークショップ】 文学 【時間】 毎回 13時00分～15時00分 (計7回)			
概要	このワークショップでは、明治文学史の変遷を辿りながら、この時期の代表的な文学作品を受講生のみなさんとともに読んでいきます。明治期の文学には、今ではなじみの薄くなった当時の生活文化に関わる語彙が多く現われます。WSでは丁寧に注釈を加えながら、作品の時代背景について解説し、作品に対する理解を深めていきます。この作業を通じて、それぞれの作品が国家や社会とどのように切り結んでいるのかを考えていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(水)	川崎市生涯学習プラザ	ガイダンス	運営世話人
2	4/27(水)		幸田露伴「対蹠體」 (岩波文庫、新潮文庫、ちくま文庫『幸田露伴集 怪談一文豪怪談傑作選』)を読みながら、国民国家において排除される「病」の表象について考察する。	相模女子大学講師 安藤史帆
3	5/11(水)		川上眉山「書記官」 (青空文庫)を読みながら、温泉を舞台に生じた、余暇を保有する官僚、資本家、知的エリートの衝突について考察する。	
4	5/25(水)		樋口一葉「十三夜」 (青空文庫、岩波文庫)を読みながら、家長長制と資本制のもとで分裂する「個」と集団の問題について考察する。	
5	6/8(水)		田山花袋「少女病」 (青空文庫、ポプラ文庫)を読みながら、近代的な都市が生む新たな病理と欲望について考察する。	
6	6/22(水)		谷崎潤一郎「刺青」 (青空文庫、新潮文庫)を読みながら、異常を欲する心理や欲求の在り様、性的倒錯について考察する。	
7	7/6(水)		森鷗外「かのやうに」 (青空文庫、ちくま文庫『森鷗外全集 3--灰燼／かのやうに』)を読みながら、神話と歴史にはさまれた主人公の葛藤と天皇制の問題について考察する。	

*ガイダンスには講師は出席しない。

受講登録者数 16名 出席者総数 99名

後期

WS 4	近代文学を読む			
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに 8,580円、聴講生 10,010円			
	【ワークショップ】 文学 【時間】 毎回 13時00分～15時00分 (計7回)			
概要	このワークショップでは、日本近代文学史の変遷をたどりながら、明治後半から昭和初期に活躍した代表的な作家による短編小説を受講生の皆さんとともに読んでいきます。この時期の文学には、今ではなじみの薄くなった当時の生活文化に関わる語彙が多く登場します。WSでは、丁寧に注釈を加えながら、作品の時代背景について解説し、作品に対する理解を深めていきます。この作業を通じて、それぞれの作品が国家や社会とどのように切り結んでいるのかを考えていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/12(水)	川崎市生涯学習プラザ	ガイダンス	運営世話人
2	10/26(水)		夏目漱石『二百十日』(青空文庫、『二百十日・野分』岩波文庫) 会話体や、阿蘇登山という舞台設定に着目し、漱石の実体験をもとに描かれた小説の虚構性について考察する。	相模女子大学講師 安藤史帆
3	11/9(水)		志賀直哉『城の崎にて』(青空文庫、『小僧の神様：他十篇』岩波文庫) 温泉湯治での自己の体験を重ね合わせ、小動物の死に託して死生観を語る心境小説の有り様について考察する。	
4	11/30(水)		芥川龍之介『藪の中』(青空文庫、『地獄変・邪宗門・好色・藪の中他七篇』岩波文庫) 『今昔物語集』を典拠としつつ、三人の食い違う語りを描いた小説の有り様を、同時代の文学的思想状況と合わせて考察する。	
5	12/14(水)		梶井基次郎『冬の蠅』(青空文庫、『檸檬・冬の日：他九篇』岩波文庫) 孤独と憂鬱、倦怠を表出する主人公と、生への意欲を持つ蠅のコントラストに着目し、生死の転換点について考察する。	
6	1/11(水)		川端康成『温泉宿』(『伊豆の踊子・温泉宿：他四篇』岩波文庫) 温泉場に滞在する男性客を対象に描くのではなく、温泉場で働く女性たちに焦点を当てた小説の有り様を、川端の他作品との関わりから考察する。	
7	1/25(水)		横光利一『機械』(青空文庫、『機械・春は馬車に乗って』新潮文庫) 登場人物の自意識を通して描かれる人間関係に着目し、人間の心理や都市の病巣の問題について考察する。	

*ガイダンスには講師は出席しない。

受講登録者数 16名 出席者総数 99名

前期

講座 14	イタリアの都市と建築			
	【会場定員】48名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	建築と都市 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	イタリアには古代から中世、ルネサンス、バロック、そして近代とあらゆる時代に輝いた都市が数多くある。時代を彩ってきた様々な建築は、今も変わらずに人々を魅了している。本講座では最前線の研究成果とともに各都市の魅力や存分に語っていただく。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(水)	川崎市生涯学習プラザ	イタリアの都市を巡る旅 **遠隔講義	東海大学准教授 稲益祐太
2	5/18(水)		シチリア **遠隔講義	
3	5/25(水)		ヴェネツィア **遠隔講義	法政大学特任教授 陣内秀信
4	6/1(水)		ローマ **遠隔講義	東北大学准教授 飛ヶ谷 潤一郎
5	6/8(水)		ヴェネト **遠隔講義	法政大学特任教授 陣内秀信
6	6/15(水)		オルチア **遠隔講義	NPO法人景観ネットワーク代表、北海学園大学講師 植田 暁
7	6/22(水)		フィレンツェ	関東学院大学教授 黒田泰介
8	6/29(水)		ルッカ	
9	7/6(水)		アマルフィ **遠隔講義	東海大学准教授 稲益祐太
10	7/13(水)		アマルフィ海岸の都市 **遠隔講義	
11	7/20(水)		プーリアの港町	
12	8/3(水)		プーリアの丘上都市	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 51名 出席者総数 553名

後期

講座 14	歴史的建築の保存・復原・活用と博物館			
	【会場定員】48名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	建築と都市 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)			
概要	歴史的な建築や発掘遺構を正確に理解するには、当時の様相への復原や博物館展示が欠かせません。また、これらが愛され次世代へ継承されるためには、豊かな発想による活用が望まれます。実例をふまえ、建築史学と考古学の視点から、復原と活用を考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/5(水)	川崎市生涯学習プラザ	歴史的町並みの復原と博物館展示	日本工業大学名誉教授 波多野 純
2	10/12(水)		源氏物語絵と寝殿造の復原考証	大妻女子大学専任講師 赤澤真理
3	10/19(水)		江戸遺跡の調査で紐解く江戸東京の歴史	早稲田大学人間総合研究センター研究員 江戸都市史研究者 後藤宏樹
4	10/26(水)		出土遺物にみる内藤新宿の暮らし	新宿区文化観光産業部文化観光課 文化資源主査・学芸員 榎木 真
5	11/2(水)		「記念館」としての住宅保存	東海大学教授 小沢朝江
6	11/9(水)		利根川中流域の祭り屋台 魅力と保存継承	日本工業大学教授 黒津高行
7	11/16(水)		国史跡福岡城下之橋御門の復原	波多野純建築設計室 天木詠子
8	12/14(水)		佐賀城本丸御殿の復原と博物館活用	日本工業大学名誉教授 波多野 純
9	12/21(水)		江戸東京たてもの園の住宅復原と展示	松蔭大学教授 小林 克
10	1/11(水)		小石川後樂園の復原と棧瓦の分析	高崎経済大学地域政策学部講師 池田悦夫
11	1/25(水)		シーボルトの町家模型からみた棧瓦の地域性	日本工業大学助教 野口憲治
12	2/1(水)		長崎出島和蘭商館 建築と生活の復原	日本工業大学名誉教授 波多野 純

オンライン受講生を含めた受講登録者数 29名 出席者総数 289名

前期

講座 15		世界を旅する② ポルトガル・ツアー		オンライン併用
【会場定員】48名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円				
【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)				
概要 エクセレントI ユーラシア西端の国ポルトガルは、大陸の東の果ての島国日本と、16世紀に不思議な縁で結ばれた。「大航海」の先駆者であったポルトガルとの接触は、日本に「南蛮切支丹」文化の強い刻印を残したが、日本では、その後関係が疎遠となった同国を、世界の片隅で過去の栄光を懐かしみながらひっそり生きている国と見なしてきた。だが、実際には、サラザールの独裁は近衛「新体制」にもインスピレーションを与え、1974年のカーネーション革命は1970年代以降の世界的な民主化の波の起点となった。また、現国連事務総長は元ポルトガル首相のアントニオ・グテレスである。このように、ポルトガルの近現代史は、世界の動向と関連しつつ、今もダイナミックに展開している。ポルトガルの過去と現在を解き明かしながら、この国の魅力あふれる風物を紹介する。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(水)	川崎市生涯学習プラザ	ポルトガルの地域像—国内の地域差に着目して—	早稲田大学教授 池 俊介
2	4/20(水)		歴史(1) ポルトガルの国家形成—ローマからリスボンへ	東京外国語大学名誉教授 金七紀男
3	4/27(水)		歴史(2)-1 近代世界システムの形成—大航海時代のポルトガル ** 遠隔講義	京都大学教授 合田昌史
4	5/11(水)		歴史(2)-2 戦国時代の日本とポルトガル	東京大学准教授 岡 美穂子
5	5/18(水)		歴史(3) 世界システムの「中核」から「周縁」へ—19世紀を中心に ** 遠隔講義	東北大学教授 横田正顕
6	6/1(水)		歴史(4) 独裁と民主主義の交錯—20世紀のポルトガル ** 遠隔講義	
7	6/8(水)		現代ポルトガルの政治と経済	ポルトガル語翻訳家 木下真穂
8	6/15(水)		ポルトガル語とポルトガル文学への招待	
9	6/22(水)		ポルトガルの伝統歌謡ファド	ファド歌手 津森 久美子
10	6/29(水)		ポルトガルの文化遺産めぐり/ポルトガルワインの文化史	ポルトガル政府観光局 高岡千津
11	7/6(水)		移民を通して見るポルトガル ** 遠隔講義	静岡文化芸術大学准教授 西脇靖洋
12	7/13(水)		ポルトガルと世界	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 76名 出席者総数 824名

後援：ポルトガル大使館

後期

講座 15		世界を旅する③ インドネシア・ツアー		オンライン併用
【会場定員】48名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円				
【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)				
概要 エクセレントI 世界最多の島々からなるインドネシアは多様な文化、宗教、言語、エスニック集団からなる国家であり、広い海、豊かな自然、熱帯気候などの特徴を備える。急速に変貌を遂げているその過去、現在を学び、世界、アジア、日本とのかかわりを考える。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/5(水)	川崎市生涯学習プラザ	はじめに — なぜインドネシアを学ぶのか、多島嶼国、豊かな自然、古い社会と新しい国家	公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 理事長 法政大学名誉教授 鈴木佑司
2	10/12(水)		インドネシアの自然、地理、民族 — 学説を踏まえたベストガイド	東京大学名誉教授 加納啓良
3	10/19(水)		インドネシアの社会と文化 — 多様性の中の統一と多文化・複合社会の苦悩	跡見学園女子大学教授 小川 忠
4	10/26(水)		インドネシアのイスラム — イスラムの到来から世界最大のムスリム社会へ	東京大学名誉教授 加納啓良
5	11/2(水)		植民地支配のインパクトとインドネシア経済—プランテーション、二重経済、経済停滞	公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 理事長 法政大学名誉教授 鈴木佑司
6	11/9(水)		植民地支配のインパクトと国家的独立—分割支配、単一共和制の選択、権威主義	インドネシア大学教授 ジュリアン・パスハ
7	11/16(水)		インドネシア政治のリフォルマシ(改革) — 権威主義から民主主義へのダイナミックな転換 ** 遠隔講義	公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 理事長 法政大学名誉教授 鈴木佑司
8	11/30(水)		インドネシアの地方行政 — 蘭領東インド、日本軍政、中央集権、そして地方分権へ	
9	12/7(水)		インドネシア経済 — 経済発展は行きつ戻りつ、歩み始めた経済大国への道 ** 遠隔講義	国際交流基金理事 佐藤百合
10	12/14(水)		ジョコ大統領以降のインドネシア — G.20、21世紀の「大国」、でもどこへ行くのか	亜細亜大学教授 増原綾子
11	1/18(水)		インドネシアと世界 — 非同盟から地域統合へ	公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 理事長 法政大学名誉教授 鈴木佑司
12	1/25(水)		インドネシアと日本 — 近くて遠い存在から日本にとって欠かせないパートナーへ	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 57名 出席者総数 617名

前期

講座 16		かわさきの歴史や文化を多角的に学び・歩いて再発見してみよう⑫		オンライン併用
【定員】50名【受講料】2年会員 11,990円、1年会員 13,420円、聴講生 17,710円(野外学習安全費用550円を含みます。)				
【時間】講義は13時30分～15時00分、野外学習は13時30分～15時30分(計12回)				
概要 多摩川右岸下流域に沿って形成されている川崎市域は、自然科学的・人文的にも魅力的な素材に恵まれています。その魅力の源泉を探れば、市域外の事象とも深く関連しています。この講座は、それらを学び・歩いて再発見するものです。前期は、時代的には近世～近現代で、見学対象分野は、寺社、城址、インフラ、都市計画などについて学びます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(水)	川崎市生涯学習プラザ	多摩川のかつての渡し場・渡し船について	成城大学名誉教授 田中 宣一
2	4/20(水)	野外学習	菅の渡し場跡などを歩く	
3	4/27(水)	川崎市生涯学習プラザ	川のあるまちの暮らしと風景を考える—都市河川の再生とまちづくり	(株)吉村伸一流域計画室、 エンジニア・アーキテクト協会副会長 吉村 伸一
4	5/11(水)	野外学習	よこはまのいたち川を歩く —「環境?余計なことするな!」から40年、区のシンボルとなつたいたち川—	
5	5/18(水)	川崎市生涯学習プラザ	(ビデオ)文化財としての民俗芸能を観る	シルク博物館学芸員 高橋 典子
6	5/25(水)	野外学習	宮前区菅生神社から白幡八幡大神まで	
7	6/1(水)	川崎市生涯学習プラザ	日本最初の常設サーキット多摩川スピードウェイと戦前の自動車文化史	自動車文化史家、 多摩川スピードウェイの会 副会長 小林 大樹
8	6/8(水)	野外学習	多摩川スピードウェイ跡地と関連地域を歩く	
9	6/15(水)	川崎市生涯学習プラザ	川崎の上水道—和田忠治とその業績	産業遺産情報センター研究主幹 伊東 孝
10	6/22(水)	野外学習	市内の上水道施設と遺構や跡地をめぐる—山口貯水池と村山貯水池	
11	6/29(水)	川崎市生涯学習プラザ	「江戸」を支えた小田原の石切と石丁場	小田原市文化財課 佐々木健策
12	7/13(水)	野外学習	(貸切バス利用)小田原駅～石垣山(一夜城跡)～石丁場～入生田～小田原駅	

※4/13(水)は13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。※第12回7/13(水)の現地での貸し切りバス利用で効率的な移動を行うため、小田原駅から貸し切りバスを利用。バスの借り上げ費用等で、ひとり1,500円別途集金。バスの手配は、SUGIZAKI・トラベルサポート株式会社
オンライン受講生を含めた受講登録者数 50名 出席者総数 524名

後期

講座 16		かわさきの歴史や文化を多角的に学び・歩いて再発見してみよう⑬		オンライン併用
【定員】50名【受講料】2年会員 11,990円、1年会員 13,420円、聴講生 17,710円(野外学習安全費用550円を含みます。)				
【時間】講義は13時30分～15時00分、野外学習は13時30分～15時30分(計12回)				
概要 多摩川右岸下流域に沿って形成されている川崎市域は、自然科学的・人文的にも魅力的な素材に恵まれています。その魅力の源泉を探れば、市域外の事象とも深く関連しています。講座では、それらを学び・歩いて再発見するものです。後期は、時代的には古代～近現代で、見学対象分野は、古墳、寺社、城跡、河川、モータースポーツの歴史などについて学びます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(水)	川崎市生涯学習プラザ	地域資源を活かした川・まちづくり	(株)吉村伸一流域計画室、 エンジニア・アーキテクト協会(EA協会) 副会長 吉村伸一
2	10/5(水)	野外学習	川と周辺環境をつないだ横浜市の和泉川を歩く	
3	10/26(水)	川崎市生涯学習プラザ	史実の「曾我物語」	小田原市文化財課 佐々木 健策
4	11/2(水)	野外学習	小田原市曾我周辺:JR御殿場線:下曾我駅集合で「曾我兄弟のふるさと」巡り2時間を自処に、六本松峠・曾我館跡・曾我祐信宝篋印塔・満江御前(兄弟の母)の墓・満江御前屋敷跡などから選定して現地を歩く	
5	11/9(水)	川崎市生涯学習プラザ	日本最初の常設サーキット多摩川スピードウェイまでのモータースポーツ開催地とその歴史	自動車文化史家、 多摩川スピードウェイの会 副会長 小林大樹
6	11/16(水)	野外学習	1915年に在米二世による自動車レース興業が行われた目黒競馬場の跡地と、品川用水の名残を残す林試の森公園を歩く	
7	11/30(水)	川崎市生涯学習プラザ	江戸名所図会(川崎)を歩く	川崎郷土研究会 東原信行
8	12/7(水)	野外学習	古代の加瀬山	川崎市教育委員会文化財課(学芸員) 新井 悟
9	12/14(水)	野外学習	◀幸区▶ 塚越古墳・御嶽神社・加瀬山・白山古墳・国宝秋草文壺発見地などを歩く	
10	1/11(水)	野外学習	◀多摩区▶ 法泉寺・福昌寺・子之神社・薬師堂・小沢城址・寿福寺などを歩く	川崎郷土研究会 東原信行
11	1/18(水)	川崎市生涯学習プラザ	(ビデオ)文化財としての信仰伝承(お祭)を観る	シルク博物館副館長・学芸員 高橋典子
12	1/25(水)	野外学習	長尾神社・等覚院・妙楽寺などを歩く	

※9/28(水)は13時00分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。

オンライン受講生を含めた受講登録者数 50名 出席者総数 506名

前期

WS 5	街角の文化遺産に学ぶ—鶴見川流域		※座学と野外学習	
	【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに10,010円、聴講生11,440円	
	【ワークショップ】まち歩き(川崎学)【時間】毎回座学は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分(計7回)			
概要	鶴見川流域の自然や文化、人々の暮らしに焦点をあててその事象を知ることにより、隣接する川崎との関係を探る。鶴見川流域という新しい思考から、国・地方自治体・地域住民団体などの活動を通して、鶴見川流域の全体像を俯瞰し、今後の河川に対する見方の課題を知る。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(水)	川崎市生涯学習プラザ	鶴見川の地形と地質—多摩丘陵の川—	多摩川流域自然史研究会代表 増淵和夫
2	4/20(水)	現地	鶴見川の特長を示す地形・地質 上総層露頭など	
3	5/11(水)	川崎市生涯学習プラザ	鶴見川の洪水対策の具体	NPO 法人鶴見川流域ネットワーク代表理事、 慶應義塾大学名誉教授 岸 由二
4	5/18(水)	現地	流域思考(鶴見川の流域から考える)	
5	6/1(水)	川崎市生涯学習プラザ	鶴見川の近代史—利水と治水—	大正大学准教授 松本洋幸
6	6/8(水)	現地	鶴見川沿いの人々を訪ねて	
7	6/29(水)	川崎市生涯学習プラザ	川崎と鶴見川(まとめ)	日本地名研究所研究員 菊地恒雄

※4/13(水)講座開始前の10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施
受講登録者数 27名 出席者総数 166名

後期

WS 5	街角の文化遺産に学ぶ—稲毛三郎重成と稲毛荘		※座学と野外学習	
	【定員】30名		【受講料】2年・1年会員ともに10,010円、聴講生11,440円	
	【ワークショップ】まち歩き(川崎学)【時間】毎回講義は10時30分～12時00分、野外学習は10時00分～12時00分(計7回)			
概要	川崎市の中原区・高津区付近が稲毛荘と言われている。一方、稲毛三郎重成の本貫地は多摩区から稲城市付近と考えられている。稲毛を名乗る重成の行動を『吾妻鏡』などの資料から読み取り、また荘園制の変遷から鎌倉期の稲毛荘を考える。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(水)	川崎市生涯学習プラザ	稲毛三郎重成の人物像を考える	日本地名研究所研究員 菊地恒雄
2	10/5(水)	現地	出自は秩父一族の小山田氏	町田市生涯学習センター講師 石井清文
3	10/12(水)		小山田城跡と大泉寺(だいせんじ)見学	
4	10/26(水)	川崎市生涯学習プラザ	御家人 稲毛三郎重成	日本地名研究所研究員 菊地恒雄
5	11/9(水)	稲毛荘司地頭 稲毛三郎重成		
6	11/30(水)	現地	川崎の地に残る遺称地 小澤城と穴澤天神社	
7	12/7(水)	川崎市生涯学習プラザ	稲毛荘のその後	

※9/28(水)は10時00分より30分間オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。
受講登録者数 29名 出席者総数 160名

前期

講座 17	選挙と政治—選挙制度が変われば政治は変わるか?		オンライン併用	
	【会場定員】96名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員11,440円、1年会員12,870円、聴講生17,160円		政治・社会 【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)	
	概要	94年の「政治改革」(選挙制度改革)から28年が経過した。日本の政治は変化したのか? そもそも選挙制度を変えることで「政治」を変えることはできるのだろうか? 選挙制度とは、憲法との関係、ジェンダー、選挙運動・選挙資金、マスメディア、海外の事例などから多面的にアプローチして、その解答を探りたい。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(水)	川崎市生涯学習プラザ	イントロダクション 選挙制度を見る視点—制度への期待と現状—	広島修道大学名誉教授 高橋利安
2	4/20(水)		選挙制度を理解する—選挙区制 代表制 選挙運動	
3	4/27(水)		日本国憲法から選挙制度を考える	専修大学教授 内藤光博
4	5/11(水)		日本の「政治改革」とは何であったのか 二大政党間の定期的政権交代につながらなかった要因	法政大学教授 山口二郎
5	5/18(水)		ジェンダー平等と選挙 女性の政治的過少代表問題	中央大学名誉教授 植野妙実子
6	6/1(水)		日本の選挙運動・選挙資金をめぐる問題 **遠隔講義	神戸学院大学教授 上脇博之
7	6/8(水)		選挙とマスメディアの役割	元上智大学教授 田島泰彦
8	6/15(水)		選挙制度と政治改革—フランスの事例	東京大学教授 中山洋平
9	6/29(水)		選挙制度と政治改革—ドイツの事例	上智大学教授 河崎健
10	7/6(水)		「憲法工学」(制度改革)への幻想	東京大学教授 中山洋平
11	7/13(水)		選挙制度の政治改革—イタリアの事例	広島修道大学名誉教授 高橋利安
12	7/20(水)		まとめ 日本の選挙制度の総括	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 48名 出席者総数 690名

後期

講座 17	デモクラシーと宗教		オンライン併用	
	【会場定員】96名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員11,440円、1年会員12,870円、聴講生17,160円		政治・社会 【時間】毎回13時00分～14時30分(計12回)	
	概要	政治と宗教の関係がしばしば話題になります。政教分離の原則によれば、政治と宗教は明確に分離されるべきですが、実際にはさまざまな形で宗教は今日でもなお、政治に影響を与えています。さらにデモクラシーを維持・発展させていく上で、宗教がむしろ積極的な役割をはたすべきであるという考えもあります。西洋と日本の歴史と現在を踏まえ、デモクラシーと宗教の関係について考察していきます。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(水)	川崎市生涯学習プラザ	イントロダクション	東京大学教授 宇野重規
2	10/5(水)		トクヴィルにおけるデモクラシーと宗教	
3	10/12(水)		宗教と政治の現在	国際基督教大学名誉教授 千葉 眞
4	10/26(水)		宗教、平和、デモクラシー	
5	11/2(水)		日本思想史における宗教と政治(前近代)	東京大学教授 苅部 直
6	11/9(水)		日本思想史における宗教と政治(近現代)	
7	11/30(水)		カトリック教会と近代化 **遠隔講義	早稲田大学准教授 千野貴裕
8	12/7(水)		信仰、常識、デモクラシー **遠隔講義	
9	12/14(水)		宗教復興と民主主義 **遠隔講義	岡山大学准教授 高田宏史
10	1/11(水)		「公共宗教」の現在 **遠隔講義	
11	1/18(水)		宗教概念批判と政治	一橋大学科研費フェロー 坪光生雄
12	1/25(水)		ポスト世俗主義の可能性	

オンライン受講生を含めた講登録者数 63名 出席者総数 662名

前期

WS 6	リベラルと保守を問い直す			オンライン併用
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに14,300円、聴講生15,730円			
	【ワークショップ】政治・社会 【時間】毎回15時00分～17時00分(計10回)			
概要	現代において、しばしば「リベラルと保守」が語られる。しかしながら、戦後日本においては語られたのは、むしろ「革新と保守」であった。それではなぜ「リベラルと保守」が言われるようになったのか。「リベラル」と「保守」とは何を意味するのか。田中拓道『リベラルとは何か』と宇野重規『保守主義とは何か』(いずれも中公新書)をテキストに考えたい。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/13(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	イントロダクション	東京大学教授 宇野重規
2	4/20(水)		リベラルとは何か①近代の自由主義	一橋大学大学院教授 田中拓道
3	4/27(水)		リベラルとは何か②自由主義からリベラルへ	
4	5/11(水)		リベラルとは何か③リベラル・コンセンサスとその解体	東京大学教授 宇野重規
5	6/1(水)		リベラルとは何か④日本のリベラル	一橋大学大学院教授 田中拓道
6	6/8(水)		保守とは何か①フランス革命と闘う保守主義	東京大学教授 宇野重規
7	6/15(水)		保守とは何か②社会主義と闘う保守主義	
8	6/29(水)		保守とは何か③「大きな政府」と闘う保守主義	
9	7/6(水)		保守とは何か④日本の保守主義	
10	7/13(水)		リベラルと保守の未来	

*テキスト：田中拓道『リベラルとは何か』(中公新書、902円)と宇野重規『保守主義とは何か』(中公新書、880円)
オンライン受講生を含めた受講登録者数 22名 出席者総数 184名

後期

WS 6	明治憲法体制と自己実現—「煩悶青年」と「新しい女」			オンライン併用
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに14,300円、聴講生15,730円			
	【ワークショップ】政治・社会 【時間】毎回15時00分～17時00分(計10回)			
概要	日露戦争後の日本では国家体制の整備が進むとともに、大衆の政治的・社会的舞台への登場が見られた。様々な分野や立場において人間の個性が追求されたが、それらの試みは絶えず天皇制国家の壁に突き当たらざるを得なかった。私たちが置かれた現在の状況を知るために、1世紀前の思想的営みを振り返りたい。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/28(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	概略—国家目標の喪失と大衆の登場—	信州大学名誉教授 都築 勉
2	10/5(水)		啄木・鴎外・荷風の同時代認識	
3	10/12(水)		三木清「読書遍歴」(『読書と人生』)の回想	
4	10/26(水)		阿部次郎『三太郎の日記』とその周辺	
5	11/9(水)		平塚らいてうとヒューマニズム	
6	11/30(水)		山川菊栄とソーシャリズム	
7	12/7(水)		伊藤野枝とアナキズム	
8	12/14(水)		民本主義論争—吉野作造・山川均・上杉慎吉—	
9	1/18(水)		河上肇『貧乏物語』と経済学の誕生	
10	1/25(水)		夏目漱石『明暗』の夫婦像	

*第1回目にテキストとして関連資料を配付、別途資料代(1,000円程度)を集金。
オンライン受講生を含めた受講登録者数 14名 出席者総数 132名

前期

講座 18	川崎で「自然災害」を学ぶ—火山・地震・豪雨			
	【定員】60名 【受講料】2年会員5,720円、1年会員6,435円、聴講生8,580円			
	交流館協力(科学) 【時間】毎回14時00分～15時30分(計6回)			
概要	近年、地球温暖化の影響と思われる豪雨災害が多くなっています。地震活動や火山活動も活発です。そこで今回は「自然災害」をテーマに、川崎市で最も警戒すべき豪雨災害を中心に極端豪雨、洪水氾濫、地震、火山災害など、(それぞれの分野の著名な先生から)自然災害を総合的に学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/18(水)	東海道 かわさき宿 交流館	富士山大噴火	山梨県富士山科学研究所所長 藤井敏嗣
2	5/25(水)		首都直下地震と南海トラフ巨大地震への備え	東京大学名誉教授 平田 直
3	6/1(水)		極端豪雨はなぜ毎年のように発生するか	気象研究所主任研究官 川瀬宏明
4	6/8(水)		土砂災害の実態と対策—丘陵地を中心に—	東京大学名誉教授 太田猛彦
5	6/15(水)		流域治水構想について	東京工業大学名誉教授 石川忠晴
6	6/22(水)		近年の豪雨災害の特徴と教訓—激甚化する水害への備え	東京大学教授 池内幸司

参考図書『新しい科学の世界へ③ 自然災害 そのメカニズムに学ぶ』(学研プラス、2021年)

受講登録者数 39名 出席者総数 208名

後期

講座 18	川崎の祭りと芸能			
	【定員】60名 【受講料】2年会員5,720円、1年会員6,435円、聴講生8,580円			
	交流館協力(歴史) 【時間】毎回14時00分～15時30分(計6回)			
概要	季節の行事として、祭りは地域の生活に、そして人々の心に深く溶けこんでおり、日本文化の根幹にかかわるものです。本講座では祭りの本質を考えるとともに、川崎市域の神社の祭りと、祭りとは切り離せない特色ある芸能のいくつかを学びます。(映像資料を活用)			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/12(水)	東海道 かわさき宿 交流館	広い意味での神というもの、神をまつること、祭りのいろいろ	成城大学名誉教授 田中宣一
2	10/19(水)		稲毛神社(川崎区)の山王まつり、宮座式	シルク博物館副館長・学芸員 高橋典子
3	10/26(水)		川崎市の神社と近代の神社合祀	成城大学名誉教授 田中宣一
4	11/2(水)		いろいろな神楽と白幡八幡大神(宮前区)の禰宜舞	東京文化財研究所室長 久保田 裕道
5	11/9(水)		小向(幸区)・初山(宮前区)・菅(多摩区)の獅子舞	シルク博物館副館長・学芸員 高橋典子
6	11/30(水)		沖縄民俗芸能(川崎区)、囃子曲持(中原区)	東京文化財研究所室長 久保田 裕道 成城大学名誉教授 田中宣一

受講登録者数 15名 出席者総数 74名

前期

東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part31				
講座 19	【定員】150名 【受講料】2年会員 15,840円、1年会員 17,270円、聴講生 21,560円			
	音楽Ⅲ 【時間】14時20分～16時00分(計11回)			
概要	川崎市フランチャイズオーケストラの『東京交響楽団』による音楽講座です。楽団員や音楽家が自ら企画したプログラムをお話しを交えて演奏します。ソロまたはアンサンブルの編成で、ヴァイオリン・チェロ・オーボエ・トランペットなど様々な楽器の奥深さを知って頂けます。東京交響楽団の楽団員と共に、いろいろな音楽を学び、音を楽しみましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/6(水)	川崎市産業振興会館	オーケストラ楽器①ホルン	東京交響楽団ホルン奏者 加藤智浩/ピアノ奏者 大堀晴津子
2	4/13(水)		オーケストラ楽器②ヴァイオリン	東京交響楽団第1ヴァイオリン奏者 土屋杏子
3	4/27(水)		オーケストラの公開リハーサルに向けて	音楽ライター・編集者 榊原 律子
4	5/12(木)	ミュージアム川崎シンフォニーホール	オーケストラの公開リハーサル	指揮:ジョナサン・ノット/管弦楽:東京交響楽団
5	6/1(水)	川崎市産業振興会館	オーケストラの楽器⑤ヴァイオリン	東京交響楽団第1ヴァイオリン奏者 森岡ゆりあ /東京交響楽団第1ヴァイオリン奏者中村楓子/ピアノ奏者仁部優子
6	6/8(水)		オーケストラの楽器⑥トロンボーン&ピアノ	東京交響楽団首席トロンボーン奏者 大馬直人 /ピアノ奏者 大馬葉月
7	6/29(水)		オーケストラの楽器⑦クラリネット	東京交響楽団首席クラリネット奏者 エマニエル・ヌヴォー /クラリネット奏者 郡尚恵
8	7/6(水)		オーケストラの楽器⑧チェロ	東京交響楽団チェロ奏者 福岡茉莉子/ピアノ奏者 島千晶
9	7/27(水)		オーケストラの楽器⑨ピアノ	ピアノ奏者 大室 晃子
10	8/10(水)		オーケストラの楽器⑩ ヴァイオリン・ホルン・ピアノ	東京交響楽団コンサートマスター小林春成/ /東京交響楽団ホルン奏者加藤智浩/ピアノ奏者守重結加
11	8/31(水)		オーケストラの楽器⑪ファゴット	東京交響楽団首席ファゴット奏者・福士マリ子/ピアノ奏者 宇根美沙恵

受講登録者数 143名 出席者総数 1,336名

後期

東京交響楽団の案内による音楽の楽しみ Part32				
講座 19	【定員】150名 【受講料】2年会員 15,840円 1年会員 17,270円 聴講生 21,560円			
	音楽Ⅲ 【時間】14時20分～16時00分(計11回) *公開リハーサルの集合場所・時間は、講座内でご案内します。			
概要	川崎市フランチャイズオーケストラの『東京交響楽団』による音楽講座です。楽団員や音楽家が自ら企画したプログラムをお話しを交えて演奏します。ソロまたはアンサンブルの編成で、ヴァイオリン・チェロ・オーボエ・トランペットなど様々な楽器の奥深さを知って頂けます。東京交響楽団の楽団員と共に、いろいろな音楽を学び、音を楽しみましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/5(水)	川崎市産業振興会館	オーケストラの楽器① トランペット	東京交響楽団首席トランペット奏者 佐藤友紀 ピアノ奏者 大野真由子
2	10/26(水)		オーケストラの楽器② オーボエ	東京交響楽団首席オーボエ奏者 荒 絵理子 ピアノ奏者 沼沢 淑音
3	11/9(水)		オーケストラの楽器③ ピアノ「ドイツロマン派への憧れ」	ピアノ奏者 大室 晃子
4	12/14(水)	ミュージアム川崎市民交流室	オーケストラの楽器④ ヴァイオリン・チェロ・ピアノ	東京交響楽団コンサートマスター ヴァイオリン奏者 水谷 晃 ヴァイオリン&ヴィオラ/Tsukemen TAIRIK
5	1/18(水)	川崎市産業振興会館	オーケストラの楽器⑤ クラリネット・チェロ・ピアノ	東京交響楽団クラリネット奏者 近藤千花子 東京交響楽団 チェロ奏者 福岡茉莉子/ピアノ奏者 恩田佳奈
6	1/25(水)		公開リハーサルに向けて	音楽ライター・編集者 榊原律子
7	1/27(金)	ミュージアム川崎シンフォニーホール	オーケストラの公開リハーサル	指揮:大友直人 ピアノ:上原彩子 管弦楽:東京交響楽団
8	2/8(水)	ミュージアム川崎市民交流室	オーケストラの楽器⑧ ヴァイオリン・チェロ	東京交響楽団首席ヴァイオリン奏者 清水泰明 東京交響楽団 元・首席チェロ奏者 西谷牧人
9	2/15(水)	川崎市産業振興会館	オーケストラの楽器⑨ ハープ	東京交響楽団首席ハープ奏者 影山梨乃
10	3/1(水)		オーケストラの楽器⑩ ヴァイオリン・クラリネット・ピアノ	東京交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者 坂井みどり 東京交響楽団クラリネット首席奏者 吉野亜希菜 ピアノ奏者 安田結衣子
11	3/29(水)		オーケストラの楽器⑪ コントラバス	東京交響楽団コントラバス奏者 安田修平 ピアノ奏者 米山 多佳子

受講登録者数 150名 出席者総数 1418名

前期

水彩画を描く一技法を基本から学ぶ				
WS 7	【定員】25名 【受講料】2年・1年会員・聴講生ともに 28,310円 (静物画モチーフ、人物画モデル代として4,000円を含みます。)			
	【ワークショップ】芸術 【時間】毎回17時00分～19時30分(計10回)			
概要	水彩画は親しみやすい絵画の入口です。制作を通して水彩画の基本的な技法と造形的なものの見方を理解し、自らのみずみずしい感性の発見と創造の楽しさを知ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/20(水)	川崎市生涯学習プラザ	静物 A 講義および制作 (1)鉛筆による下素描。絵具によるキアロスクーロ。(単色の明暗対比表現)	NHK文化センター講師 佐藤 道子
2	4/27(水)			
3	5/11(水)		静物 B (1)鉛筆による下素描。絵具によるキアロスクーロ。(単色の明暗対比、空間の表現)	
4	5/18(水)			
5	6/1(水)		人物 A (1)鉛筆による下素描。人体の比例、動き、量感を捉える。 淡色彩色によるキアロスクーロ。(単色で大まかな明暗を施す)	
6	6/8(水)			
7	6/22(水)		人物 B 裸婦クローキー。水彩による速描。10枚程度の水彩紙を用意。	
8	6/29(水)		人物 C (1)鉛筆による下素描。人体の比例 動き 量感を捉える。 淡色彩色によるキアロスクーロ(単色で大まかな明暗を施す)	
9	7/6(水)			
10	7/13(水)		講評会 これまで描いた作品についての受講生のスピーチと、講師の講評	

受講登録者数 18名 出席者総数 156名

後期

油絵を描く一技法を基本から学ぶ					
WS 7	【定員】25名 【受講料】2年・1年会員・聴講生ともに 28,310円 (静物画モチーフ、人物画モデル代として4,000円を含みます。)				
	【ワークショップ】芸術 【時間】毎回17時00分～19時30分(計10回)				
概要	初心者から経験者も含めて絵の具や溶き油など絵画材料について理解しながら、1回ごとの描画プロセスを積み重ねて描き進めていきます。自らの感覚をとおして観察し描いていくことで、創造の楽しさを発見します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	9/28(水)	川崎市生涯学習プラザ	静物 1 絵画材料と用具について及び描画プロセスの説明 木炭での下素描。単色の土性絵具による明暗対比表現で描き始める。 (キアロスクーロ)	NHK文化センター講師 佐藤道子	
2	10/5(水)				2 固有色を観察し下地色を塗る。明部と暗部の大きな構成でとらえる。
3	10/12(水)				3 全体の調和を見ながら、積極的に絵具を重ね対象に迫る。
4	10/26(水)		人物・着衣 1 木炭での下素描。イエローオーカーなどの土性絵具による明暗対比表現。 (キアロスクーロ)		
5	11/2(水)				2 明部を白色系絵具で下塗りする。暗色の分布に注目して、立体感や空間感を表現する。
6	11/9(水)				3 感じた色彩を伸び伸びした筆致で塗る。最後まで大きな見方で描き進める。
7	11/16(水)		人物・裸婦 1 木炭での下素描。イエローオーカーなどの土性絵具による明暗対比表現。 (キアロスクーロ)		
8	11/30(水)				2 明部を白色系絵具で下塗りする。人体の動きや肌の質感を観察して絵具を塗り重ねる。
9	12/7(水)				3 観察した固有色を積極的にキャンバスにのせ、自分の受けた印象を表現してみる。
10	12/14(水)		講評会 これまで描いた作品についての受講生のスピーチと、講師の講評		

受講登録者数 17名 出席者総数 147名

前期

講座 20	SDGs時代の環境・みどり・防災		オンライン併用	
	【会場定員】48名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
環境とみどり		【時間】 毎回 10時15分～12時00分（計12回）		
概要	サステナビリティとレジリエンスを掲げたSDGsが行動基準となった時代に私たちはどのような知識を得て活動すればよいのか。この講座ではみどりの課題を中心に環境学や防災学の新しい知識をやさしく学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/14(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	講座の紹介	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	4/21(木)		アニマルウェルフェア	国立科学博物館顧問 林 良博
3	4/28(木)		低炭素社会の実現に向けた森林・林業分野の取り組み	東京大学准教授 広嶋卓也
4	5/12(木)		カラスと人間生活—ニュースなカラスの事件の真相—	東京大学名誉教授 樋口広芳
5	5/19(木)		森林のマネージメント—森林と人間のサステナブルな関係を考える	東京農業大学教授 佐藤孝吉
6	5/26(木)		バイオミメタリゼーションの科学～真珠の研究から環境科学への応用～	東京大学准教授 鈴木道生
7	6/2(木)	山梨県	【合同講座】富士川上流域（釜無川、笛吹川）の治水を学ぶ～万力林、信玄堤、他～	東京大学名誉教授 太田猛彦
8	6/9(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	巨大台風の制御に挑む	横浜国立大学教授 筆保弘徳
9	6/23(木)		ドイツ、オーストリア、スイスの森林・林業	東京大学教授 蔵治 光一郎
10	6/30(木)		スマート農業の活用状況と課題	JA全農耕種総合対策部部長 宗 和弘
11	7/7(木)		森林空間資源の新たな活用と産業化—森林セラピーから森林サービス産業へ	森林総合研究所 上席研究員 高山範理
12	7/14(木)		前期講座の取りまとめ	東京大学名誉教授 太田猛彦

※第7回（6/2）は講座とワークショップの合同講座。バスを利用し、費用を別途4,000円集金。バスの手配はオリエンタル観光。オンライン受講生を含めた受講登録者数 54名 出席者総数 566名

後期

講座 20	SDGsと環境・みどり・防災		オンライン併用	
	【会場定員】48名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
環境とみどり		【時間】 毎回 10時15分～12時00分（計12回）		
概要	温暖化による自然災害の頻発やパンデミックが発生する中、私たち人類は持続可能な社会を構築するためにさしあたりSDGsを掲げて進むことになりました。SDGsはもう一つの目標としてレジリエントな社会の構築も掲げています。こうした時代に私たちはどのような知識を得て、どのように行動したらよいのか。この講座ではみどりの課題を中心に環境学や防災学の新しい知識をやさしく学びます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	SDGsとは何か	東京大学教授 蔵治 光一郎
2	10/13(木)		森づくりの原理・原則	森林総合研究所 研究ディレクター 正木 隆
3	10/20(木)		気候変動適応策としての環礁国の海面上昇対策	(公財)日本グローバル・インフラストラクチャー 研究財団事務局長 坂本晶子
4	10/27(木)	群馬県	★【合同講座】浅間山火山活動とその災害跡	東京大学教授 蔵治 光一郎
5	11/10(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	温暖化で北上・分布拡大しているサンゴ礁生物	東京大学教授 安田仁奈
6	11/17(木)		森の変遷と日本人①里山の時代（古代～近世）	東京大学名誉教授 太田猛彦
7	11/24(木)		森の変遷と日本人②荒廃から『森林飽和』へ（近代～現代）	
8	12/1(木)		洪水・水害への対応策	東京大学教授 蔵治 光一郎
9	12/8(木)		災害に強い森づくりと木材生産	
10	12/15(木)		持続的な農の展開	政策研究大学院大学 シニア・フェロー 神井弘之
11	1/19(木)	水資源開発と環境問題	法政大学教授 伊藤達也	
12	1/26(木)	前期のとりまとめ	東京大学教授 蔵治 光一郎	

※第4回（10/27）は講座とワークショップの合同講座。バスを利用し、費用を別途10,000円集金。バスの手配はオリエンタル観光。オンライン受講生を含めた受講登録者数 47名 出席者総数 517名

前期

WS 8	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ		★は野外学習 ※グループ発表あり	
	【定員】40名 【受講料】2年・1年会員ともに11,540円、聴講生12,970円（野外学習安全費用100円を含みます。）			
【ワークショップ】環境とみどり		【時間】 毎回 13時15分～15時15分（計12回） ただし、野外学習及び第12回は16時頃終了。第7回の合同講座は午前中始まり。		
概要	私たちの身近な、川崎市やその周辺地域で、また日常生活の中から、様々なテーマで持続可能な社会と環境を学習していくワークショップです。今回は、林業や木材利用、自然とのかかわり、富士川の治水、自動車用エンジン、川崎市のSDGsの取組、世界でも希な川崎水族館、洋上風力発電と生態系など、多彩な内容を受講生が協力して準備しました。			
回	月/日(曜)	備考	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/14(木)	川崎市生涯学習プラザ	はじめのワークショップ	東京大学名誉教授 太田猛彦
2	4/21(木)		カナダ・ブリティッシュコロンビア州の森林・林業—海外の森林・林業・環境のはなし	東京農業大学教授 橋 隆一
3	4/28(木)	東生田緑地	★ 雑木林の植物観察～花に秘められた植物の知恵～	多摩丘陵舎 北川淑子
4	5/12(木)	川崎市生涯学習プラザ	自動車用エンジンの進化 ～これからの自動車はどうなるのか？～	元三菱ふそうトラック・バス株式会社 元明治大学兼任講師 滝澤秀行
5	5/19(木)	生田緑地	★ 生田緑地の植生管理	生田緑地の雑木林を育てる会代表 白澤光代
6	5/26(木)	川崎市生涯学習プラザ	川崎市のSDGsの取組	川崎市総務企画局企画調整課
7	6/2(木)	山梨県	★【合同講座】富士川上流域（釜無川、笛吹川）の治水を学ぶ～万力林、信玄堤、他～	東京大学名誉教授 太田猛彦
8	6/9(木)	木材会館 木材・合板博物館	★ 木材の可能性を追究したオフィス「木材会館」と世界でも珍しい木材や合板に関する「木材・合板博物館」のダブル見学	東京木材間屋協同組合スタッフ 木材・合板博物館スタッフ
9	6/23(木)	川崎市生涯 学習プラザ	水族館の環境保全 —持続可能な未来に向けて—	カワスイ川崎水族館 副館長 小川泰史
10	6/30(木)	川崎水族館	★ カワスイ（川崎水族館）で環境保全を学ぶ	
11	7/7(木)	川崎市生涯 学習プラザ	洋上風力発電と海洋生態系	早稲田大学准教授 風間 健太郎
12	7/14(木)		グループ活動の発表	東京大学名誉教授 太田猛彦

※★は野外学習の表示です。 ※第7回（6/2）は講座とワークショップの合同講座。バスを利用し、費用を別途4,000円集金。バスの手配はオリエンタル観光。受講登録者数 21名 出席者総数 227名

後期

WS 8	身近なことから持続可能な社会と環境を学ぶ		★は野外学習、※グループ自主活動・発表あり	
	【定員】40名 【受講料】2年・1年会員ともに11,540円、聴講生12,970円（野外学習安全費用100円を含みます。）			
【ワークショップ】環境とみどり		【時間】 毎回 13時15分～15時15分（計12回） 野外学習及び第12回は16時頃終了。 第4回の合同講座は午前中始まり。		
概要	私たちの身近な、川崎市やその周辺地域で、また日常生活の中から、様々なテーマで持続可能な社会と環境を学習していくワークショップです。今回は、ウッドショック、川崎市の生物多様性、食品表示法改正、川崎市の廃棄物発電有効利用計画などの講義に加え、野外観察や施設見学で様々な学びます。また、グループで関心あるテーマを選んで自主活動も行います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(木)	川崎市生涯学習プラザ	はじめのワークショップ	東京大学教授 蔵治 光一郎
2	10/13(木)	板橋区立熱帯環境植物館	★「生物多様性の宝庫」熱帯雨林を学ぶ	板橋区立熱帯環境植物館スタッフ
3	10/20(木)	川崎市生涯学習プラザ	知っておきたい食品の表示と表示法の改正内容について	消費者庁食品表示企画課 課長補佐 松尾敏行
4	10/27(木)	群馬県	★【合同講座】浅間山火山活動とその災害跡	東京大学教授 蔵治 光一郎
5	11/10(木)	川崎市生涯学習プラザ	生物多様性を知り、できることを考える	川崎市青少年科学館 学芸員 高中 健一郎
6	11/17(木)	入江崎水処理センター	★かわさき下水道広報施設「ワクワアクア」で下水道処理を学ぶ	入江崎水処理センター職員
7	11/24(木)	川崎市生涯学習プラザ	都市と自然が共生するまちをめざして～生物多様性がかわさき戦略（2022～2030年度）	川崎市環境局総務部企画課
8	12/1(木)	生田緑地	★ 生田緑地でシダを観察する	多摩丘陵舎 北川淑子
9	12/8(木)	川崎市生涯学習プラザ	第三次ウッドショック・脱炭素社会と東大演習林の木材生産	東京大学教授 蔵治 光一郎
10	12/15(木)	横浜市電保存館	★ 横浜の発展と交通 を学ぶ	横浜市電保存館スタッフ
11	1/19(木)	川崎市生涯学習プラザ	川崎市における廃棄物発電の有効活用に向けた取組み	川崎市環境局脱炭素戦略推進室
12	1/26(木)		グループ活動の発表	東京大学教授 蔵治 光一郎

※第4回（10/27）は講座とワークショップの合同講座。バスを利用し、費用を別途10,000円集金。バスの手配はオリエンタル観光。受講登録者数 19名 出席者総数 207名

前期

講座 21	人間学再論—生老病死の思想			オンライン併用
	【会場定員】96名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	人間学	【時間】	毎回 13時00分～14時30分 (計12回)	
概要	われわれは、なにを願ひ、なにを楽しみ、なにを悲しみ、それらをどのように求めたり、表現したりしているのだろうか。このような問いを、あらためて生老病死の思想という視点からそれぞれの分野の講師にじっくり語ってもらいます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/14(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	「老い」を哲学する	東京大学名誉教授 竹内整一
2	4/21(木)		魂の行方—なぜ、(死生観ではなく)生命観から問うのか	国際日本文化センター名誉教授 鈴木貞美
3	5/12(木)		思想の表現について①	哲学者 内山 節
4	5/19(木)		思想の表現について②	
5	5/26(木)		孤立の中の生死—良寛をめぐる	前神田外語大学副学長 窪田高明
6	6/2(木)		芸術としての日常生活—柳宗悦を中心に	版画家・多摩美術大学教授 西岡文彦
7	6/9(木)		中国における魂論	東京大学教授 中島隆博
8	6/16(木)		悟りと笑いの力学—「かたり」の日本思想	専修大学教授 出岡 宏
9	6/23(木)		人生にとって運とは何か	東京大学准教授 古田徹也
10	6/30(木)		向田邦子が描く「霊長類ヒト科動物」の性と生	日本女子大学准教授 伊藤 由希子
11	7/7(木)		日本人の心のかたち	作家 玄侑宗久
12	7/14(木)		「人生は夏休みよりはやく過ぎる」論	東京大学名誉教授 竹内整一

オンライン受講生を含めた受講登録者数 69名 出席者総数 696名

後期

講座 21	人間学再論—生老病死の思想			オンライン併用
	【会場定員】96名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
	人間学	【時間】	毎回 13時00分～14時30分 (計12回)	
概要	生・老・病・死は、生きものとして「おのずから」のことであるが、人間は他の生きものと違って、それを「みずから」受けとめ、対応することができる。その「おのずから」と「みずから」とのあいだに、多彩で豊かな人間模様がある。ここでは、そうしたことを新しい人間論として論じてもらいます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	「ありがとう」と「ごめんなさい」を哲学する	東京大学名誉教授 竹内整一
2	10/13(木)		生まれてこないほうが良かったとはどのようなことか?	早稲田大学教授 森岡正博
3	10/20(木)		文化としての死①	哲学者 内山 節
4	10/27(木)		文化としての死②	
5	11/10(木)		「老い」について考える	筑波大学名誉教授 伊藤 益
6	11/17(木)		変わるか?ロシア社会	元日テレ・モスクワ支局長 寺島祐二
7	11/24(木)		宮沢賢治は死をどう考えていたか—掌編「おきなぐさ」を読む	評論家 芹沢俊介
8	12/1(木)		没後50年川端康成の死生観	元武蔵野大学教授 原 善
9	12/8(木)		利己と利他	慶応義塾大学教授 柘植尚則
10	12/15(木)		生と死を日本語の観点から考える	評論家 井崎正敏
11	1/19(木)		「さと」と日本人—道元に即して	東京大学教授 頼住光子
12	1/26(木)		「いとおいさ」を哲学する	東京大学名誉教授 竹内整一

オンライン受講生を含めた受講登録者数 66名 出席者総数 676名

前期

WS 9	『閑吟集』を読む			オンライン併用
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに17,160円、聴講生18,590円			
	【ワークショップ】人間学	【時間】	毎回 15時00分～17時00分 (計12回)	
概要	『閑吟集』は、中世の小歌や謡曲の一節などを集めたもので、一度手にふれると手放せなくなる面白い歌謡集です。それぞれ独立した短い小歌の妙味と、念入りに工夫して並べられた配列の妙味が響き合う構成になっています。全311首、丁寧に読み味わいます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/14(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	「ただ人は情あれ 朝顔の花の上なる露の世に」等、他を読む	東京大学名誉教授 竹内 整一
2	4/21(木)		「何せうぞくすんで 一期は夢よ ただ狂へ」等	
3	5/12(木)		「人の心は知られずや 真実 心は知られずや」等	
4	5/19(木)		「老をな隔てそ垣穂の梅 さてこそ花のなさけ知れ」等	
5	5/26(木)		「しやつとしたこそ 人は好けれ」等	
6	6/2(木)		「梅花は雨に 柳絮は風に 世はただ嘘に揉まるる」等	
7	6/9(木)		「来ぬも可なり 夢の間の露の身の 逢ふとも宵の稲妻」等	
8	6/16(木)		「よし 名の立てば立て 身は限りあり いつまでぞ」等	
9	6/23(木)		「あまり言葉のかけたさに あれ見さいなう 空行く雲の早さよ」等	
10	6/30(木)		「思ひ出すとは忘るるか 思ひ出さずや忘れねば」等	
11	7/7(木)		「花籠に月を入れて 漏らさじ曇らさじと もつが大事な」等	
12	7/14(木)		「籠がな籠がな 浮名もらさぬ籠がなう」等	

*テキスト代、1,000円集金。

オンライン受講生を含めた受講登録者数 18名 出席者総数 194名

後期

WS 9	『般若心経』を読む・誦む			オンライン併用	
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに17,160円、聴講生18,590円				
	【ワークショップ】人間学	【時間】	毎回 15時00分～17時00分 (計12回)		
概要	わずか262字で簡潔に説かれた、仏教の教えのエッセンスともいえる『般若心経』は、日本にも千数百年前から伝わるもっとも馴染み深い経典です。ここでは、とりわけ日本の思想・文芸への展開を意識しながら丁寧に読み解きます。読むだけでなく、終了時には一人で誦むこともできるように、毎回、音源も使います。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/6(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	『般若心経』入門	東京大学名誉教授 竹内整一	
2	10/13(木)		観世音菩薩行深… —観音さまとは誰のことか?		
3	10/20(木)		度一切苦厄… —苦しみか苦しんでなくなる時		
4	10/27(木)		色即是空 空即是色… —花びらは散る 花は散らない		
5	11/10(木)		不生不滅不垢不浄… —人間はなぜ死を恐れるのか?		
6	11/17(木)		是故空中無色… —空に尽くす認識とは?		
7	11/24(木)		無老死亦無老死尽… —「すなおに老い、病み、死ぬ」生き方		
8	12/1(木)		遠離一切顛倒夢想… —いつかの転倒した妄想を離れる		
9	12/8(木)		三世諸仏依般若波羅蜜多… —般若とは仏の母		
10	12/15(木)		是大神呪是大明呪… —大いなる神秘のマントラ		
11	1/19(木)		『般若心経』と日本の思想①		東京大学教授 頼住光子
12	1/26(木)		『般若心経』と日本の思想②		日本女子大学名誉教授 田中久文

*テキストは、松原泰道『般若心経入門』(祥伝社新書)902円

オンライン受講生を含めた受講登録者数 56名 出席者総数 590名

前期

講座 22	ドイツ・ロマン派の音楽に親しむ			
	【定員】150名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
音楽Ⅰ		【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計12回)		
概要	19世紀ロマン主義の時代は、メルヘンや童話もてはやされただけでなく、新しい産業化社会が始まり、市民階級が台頭した時代でもありました。それがこの時代のピアノ音楽に大きな影響を与えました。ピアノの技術革新がショパンやリストの作品を、女性の進出はメンデルスゾーンの「無言歌」を生み出します。音楽は「何を表現するか」という哲学的なことも論じられました。この講座ではこのような視点からロマン派の音楽を取り上げます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/7(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	森のロマン主義 ウェーバーの「魔弾の射手」	桐朋学園大学名誉教授 西原 稔
2	4/14(木)		「小川」と「ます」 シューベルトのリート	
3	5/12(木)		孤独とさすらい シューベルトの「冬の旅」	
4	5/19(木)		メンデルスゾーンの「真夏の夜の夢」と「妖精の歌」	
5	5/26(木)		ピアノと女性 メンデルスゾーンの「無言歌」	
6	6/9(木)		スターとなった音楽家 — リスト	
7	6/16(木)		19世紀は練習曲の時代 — その背景を探る	
8	6/23(木)		夜への愛好 ショパンのノクターン	
9	7/7(木)		ショパンのマズルカとポロネーズ	
10	7/14(木)		シューマンの愛した幻想の世界	
11	7/21(木)		シューマンの愛した文学作品と音楽	
12	7/28(木)		夢のロマン派のたそがれ	

受講登録者数 103名 出席者総数 1077名

後期

講座 22	歌曲の楽しみ			
	【定員】150名 【受講料】2年会員 13,440円、1年会員 14,870円、聴講生 19,160円			
音楽Ⅰ		【時間】毎回 10時30分～12時00分 (計12回)		
概要	詩をテキストに音楽を付ける歌曲は、音楽を味わう楽しみ、詩を解釈する醍醐味、それらを総合する面白さ、の三つのステージが絡み合います。他国の歌曲を取り上げる場合は（例えば日本人にとつてのドイツ歌曲）、さらに比較文化、そして哲学へ至るまでの、人間の基本的な考え方に踏み込む道が開けます。本講座ではドイツ歌曲を中心に、主な回にはコンクール等で活躍する学生のゲスト演奏を聞きながら、豊かな世界へ入って行きます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/29(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	誰もが知る歌曲《魔王》の魔王とは誰か？ 演奏＝千葉水晶 (ヴァイオリン)	桐朋学園大学特任教授 早稲田大学招聘研究員 梅津 時比古
2	10/6(木)		泉のほとりに菩提樹はあるだろうか？ 演奏＝中本棕子 (ソプラノ)、荒井薫子 (ピアノ)	
3	10/27(木)		歌曲の象徴1 風見鶏はなぜ回る？ 演奏＝中本棕子 竹田俊亮 (ピアノ)	
4	11/17(木)		歌曲の象徴2 水車はなぜ回る？と《水車屋の美しい娘》の誤解1「差別」 演奏＝中本棕子 竹田俊亮 (ピアノ)	
5	11/24(木)		《水車屋の美しい娘》の誤解2「エロティシズム」 演奏＝中本棕子 西原瑠一 (ピアノ)	
6	12/1(木)		《水車屋の美しい娘》の誤解3「救済」	
7	12/8(木)		謎に満ちた《冬の旅》の世界1「疎外」 演奏＝中本棕子 西原瑠一 (ピアノ)	
8	12/15(木)		謎に満ちた《冬の旅》の世界2「影法師」 演奏＝中本棕子 西原瑠一 (ピアノ)	
9	12/22(木)		歌曲、オペラ、独奏、すべてを貫く「読み直し」の概念	
10	1/12(木)		謎に満ちた《冬の旅》の世界3「読み直し」 演奏＝中本棕子 西原瑠一 (ピアノ)	
11	1/19(木)		ドイツ歌曲の流れ シューベルトからシューマンほかへ	
12	1/26(木)		歌曲から室内楽へ コンクール入賞者などによる公開演奏会 演奏＝小川恭子 (ヴァイオリン)、中本棕子 (ソプラノ)、稲積陽菜 (ピアノ)	

第12回は公開演奏会：参加費 1,500円

受講登録者数 74名 出席者総数 776名

前期

講座 23	シューベルトの魅力、再発見！			
	【定員】150名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
音楽Ⅱ		【時間】毎回 13時30分～15時00分 (計12回)		
概要	ベートーヴェンと全く同じ時代をウィーンで過ごしたシューベルトはドイツ・ロマン主義音楽の歴史において重要な貢献を、歌曲だけではなく器楽曲分野でも果たしている。リートの世界、ピアノ音楽の世界、そして室内楽や交響曲、歌劇、宗教曲の世界で本当のシューベルトを探したい。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/7(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	シューベルト歌曲の聴きどころ「糸を紡ぐグレートヒエン」「魔王」他	元慶應義塾大学教授 平野 昭
2	4/14(木)		連作歌曲集「美しい水車小屋の娘」	
3	5/12(木)		連作歌曲集「冬の旅」	
4	5/19(木)		自作歌曲主題転用による室内楽その1：「しほめる花」と「ます」	
5	5/26(木)		自作歌曲主題転用による室内楽その2：「死と乙女」他	
6	6/9(木)		「アルペジョーネ・ソナタ」とヴァイオリン・ソナタ	
7	6/16(木)		二組のピアノのための「4つの即興曲」Op.90、Op.142	
8	6/23(木)		2台ピアノ作品：「幻想曲・ヘ短調」Op.103 他	
9	7/7(木)		ベートーヴェン・ピアノとしての3つのピアノ・ソナタD.958, 959, 960	
10	7/14(木)		交響曲作曲家シューベルト：「短調交響曲」と「グレート」	
11	7/21(木)		6つの「ミサ曲」と宗教音楽作品	
12	7/28(木)		オペラ作曲家シューベルト：なぜ上演機会に恵まれないか	

受講登録者数 65名 出席者総数 669名

後期

講座 23	ヨーロッパ 人々の生活と音楽と			
	【定員】150名 【受講料】2年会員 12,440円、1年会員 13,870円、聴講生 18,160円			
音楽Ⅱ		【時間】毎回 14時00分～15時30分 (計12回)		
概要	ヨーロッパ各地の人々の生活の一部として機能してきた音楽・芸能。本講座ではこの地域で音楽・芸能が人々の暮らしに寄り添い、あるいは新たな可能性を見出してきた様子を、「①音楽はいかに広められたか」「②音楽とアイデンティティ」「③音楽の大衆化」「④現代生活と伝統音楽」という4つの切り口から具体的な事例を通して見ていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名
1	9/29(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	クラシックの作曲家たちと世界音楽との遭遇 異国の音楽と出会ったモーツァルト、ベートーヴェン(①)	国立音楽大学教授 横井雅子
2	10/6(木)		録音登場以前、音楽はどう広まったのか オペラの組曲編曲版、自動演奏楽器などの創意に見る(①)	
3	10/27(木)		万国博覧会と音楽・芸能 新たな音楽の出会いと商機を提供した万国博覧会：パリ、ウィーン(①)	
4	11/10(木)		地域を超える楽器の広まり(1) ヨーロッパを席捲し、ヨーロッパ外にも広まったバグパイプ(①)	
5	11/17(木)		地域を超える楽器の広まり(2) 軍楽隊が庶民の音楽手段となるまで(①)	
6	11/24(木)		国や地域を表象する音楽の誕生 フラメンコ、バラライカが地域を代表するようになるまで(②)	
7	12/1(木)		民族の拠り所としての東方正教会と音楽 今だから知りたい「かの地」の宗教音楽(②)	
8	12/8(木)		大衆音楽の場：都市住民のための娯楽 シャンソン、キャバレー、ファドなどを例に(③)	
9	12/15(木)		音楽・芸能をステージにのせる ブルガリアの女声合唱、アイリッシュ・ダンスの流行に見る(③)	
10	1/12(木)		観光と音楽・芸能 観光地で流れる「あの音楽」は伝統音楽？(④)	
11	1/19(木)		北欧の伝統音楽を聴く：北欧器楽バンド、ドレクスキップのメンバーを迎えて **公開演奏会	
12	1/26(木)		コンクールとフェス：音楽の規範と大衆化 伝統音楽が「標準化」され、大衆化されるプロセスを探る(④)	

「**公開演奏会」：参加費 1,500円。

受講登録者数 65名 出席者総数 688名

前期

WS 10	歌舞伎—『義経記』の世界			
	【定員】42名 【受講料】2年・1年会員ともに17,160円、聴講生18,590円			
	【ワークショップ】音楽・芸能 【時間】毎回13時30分～15時30分（計12回）			
概要	「判官昇眞」。悲劇の英雄、源義経に由来する言葉です。赫々たる武勲を挙げたにも関わらず、都落ちのすえ奥州の地で果てた悲劇の英雄に、後世の人々は深く同情を寄せました。彼を主人公とする文学作品『義経記』は、能をはじめ歌舞伎・人形浄瑠璃に題材を提供しています。今回は『義経記』を「世界」とする作品を取り上げ、鑑賞します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/7(木)	大山街道 ふるさと館 イベントホール	『義経記』—伝説を耕す—	日本大学教授 関 幸彦
2	4/14(木)		『義経記』の舞踊(1)『船弁慶』	武蔵野音楽大学講師 阿部さとみ
3	4/21(木)		『鬼一法眼三略巻』—一条大蔵卿—韜晦の人生	白百合女子大学講師 安富 順
4	5/12(木)		『義経記』の舞踊(2)『鞍馬獅子』	武蔵野音楽大学講師 阿部さとみ
5	5/19(木)		『鬼一法眼三略巻』菊畑—心底と恋	白百合女子大学講師 安富 順
6	6/2(木)		『義経千本桜』渡海屋—本説への回帰	歌舞伎研究家 大倉直人
7	6/9(木)		義経の実像—虚実の皮膜を楽しむ	日本大学教授 関 幸彦
8	6/23(木)		『義経千本桜』鮎屋—政治的意思と個人	歌舞伎研究家 大倉直人
9	7/7(木)		『義経千本桜』道行・狐忠信—哀哀父母	
10	7/21(木)		能『安宅』—中世的発想を見る	白百合女子大学講師 安富 順
11	7/28(木)		文楽への誘い	早稲田大学演劇博物館助教 原田真澄
12	8/4(木)		『勸進帳』—親玉の戦略	白百合女子大学講師 安富 順

受講登録者数 31名 出席者総数 324名

後期

WS 10	昭和の思い出の名優(4) 6代目中村歌右衛門			
	【定員】42名 【受講料】2年・1年会員ともに17,160円、聴講生18,590円			
	【ワークショップ】音楽・芸能 【時間】毎回13時30分～15時30分（計12回）			
概要	「昭和の思い出の名優(4)」。今回は、6代目中村歌右衛門(1917年～2001年)年を取り上げます。多くの観客より「大成駒」「岡本町」と絶賛されたその存在は、若女形芸一筋を極める、戦後歌舞伎史に燦然と輝く巨星です。桜花浪漫たる華やかな舞台。その一方で緊張感溢れる息の詰んだ芸。それは余人の到底及ぶべきものではありません。今回は6代目中村歌右衛門の芸と人となりから、古典演劇歌舞伎の精髓に触れたいと考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/29(木)	大山街道 ふるさと館 イベント ホール	6世中村歌右衛門の至芸1～芝居を見る	明星大学教授 村上 湛
2	10/6(木)		歌右衛門の舞踊—『隅田川』を中心に—	武蔵野音楽大学講師 阿部 さとみ
3	10/20(木)		わたしの「うたえもん」	花組芝居座長—俳優・演出家・脚本家 加納幸和
4	10/27(木)		中村歌右衛門の代々(1)～初代・3代目中村歌右衛門	白百合女子大学講師 安富 順
5	11/10(木)		成駒屋の国立劇場	国立劇場元理事 織田紘二
6	11/17(木)		岡本町の四季	
7	12/1(木)		歌右衛門の当たり役さまざま(1)	歌舞伎研究家 大倉直人
8	12/8(木)		歌右衛門の当たり役さまざま(2)	
9	12/15(木)		中村歌右衛門の代々(2)～5代目中村歌右衛門	白百合女子大学講師 安富 順
10	1/19(木)		歌右衛門の新作歌舞伎	
11	1/26(木)		歌右衛門の当たり役さまざま(3)	歌舞伎研究家 大倉直人
12	2/2(木)		6世中村歌右衛門の至芸2～舞踊を見る	明星大学教授 村上 湛

受講登録者数 29名 出席者総数 308名

前期

講座 24	アンデスの国ぐにの歴史—インカ文明からポスト新自由主義国家まで			
	【会場定員】96名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員11,440円、1年会員12,870円、聴講生17,160円			
	世界史 【時間】毎回10時30分～12時00分（計12回）			
概要	インカ帝国などの古代文明が繁栄したアンデス世界では、スペイン人に征服・植民地化された後、19世紀の独立を経て固有の国々が形成されました。それ以来、自然環境・民族・文化の多様性を育みつつ、政治経済・国際関係の目まぐるしい変遷を経験して現在に至ります。本講座では、赤道以南の国々、とくにペルーとチリに焦点を当てつつ、この広大な世界の歴史の歩みと魅力を紹介します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(金)	川崎市 生涯学習 プラザ	アンデス史への招待	神奈川大学教授 新木秀和
2	4/15(金)		古代文明の興亡	東海大学教授 大平秀一
3	4/22(金)		二つの帝国の交錯：インカとスペイン	慶應義塾大学専任講師 佐藤正樹
4	5/13(金)		植民地社会の成熟	
5	5/20(金)		アンデス諸国の独立と国際関係	神奈川大学教授 新木秀和
6	5/27(金)		ナショナリズムと輸出経済の展開	
7	6/3(金)		国民形成と社会変容	慶應義塾大学名誉教授 柳田利夫
8	6/10(金)		ポピュリズムから軍政の時代へ	東京大学教授 大串和雄
9	6/17(金)		民主化と新自由主義の明暗	
10	6/24(金)		ペルー政治社会の変容	筑波大学名誉教授 遅野井 茂雄
11	7/8(金)		チリの政治経済発展	慶應義塾大学准教授 安井 伸
12	7/15(金)		多民族国家の挑戦：ポリビアとエクアドル	筑波大学名誉教授 遅野井 茂雄

オンライン受講生を含めた受講登録者数 58名 出席者総数 614名

後期

講座 24	ハプスブルク(帝国)の歴史—ヨーロッパの深奥を探る			
	【会場定員】96名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員11,440円、1年会員12,870円、聴講生17,160円			
	世界史 【時間】毎回10時30分～12時00分（計12回）			
概要	ヨーロッパにおいて、現在のオランダからウクライナ西部、ポーランドのガリツィア地方からイタリアのアルプス、アドリア海のクロアチアまで、広大な地域がハプスブルク君主国の一部としての歴史を持っています。本講座では、中世におけるこの「国家」の始まりから説き起こし、近代的な民主主義や国民観に揺り動かされる20世紀初頭まで、歴史の魅力とアイロニーにあふれたハプスブルクの姿を紹介します。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/7(金)	川崎市 生涯学習 プラザ	ハプスブルク史への招待、そしてハプスブルク家の歴史の始まり	明治大学教授 薩摩秀登
2	10/14(金)		オーストリア統治と神聖ローマ帝国—中世のハプスブルク家	
3	10/21(金)		宗教改革の衝撃—動乱の帝国・多難な舵取り	明治学院大学教授 戸谷 浩
4	10/28(金)		ハプスブルクとオスマン—「軍政国境地帯」は何を隔ててきたのか？	
5	11/4(金)		マリア=テレジアの功績とボヘミア・ハンガリー	獨協大学准教授 上村敏郎
6	11/11(金)		近世から近代へ—ヨーゼフ改革と啓蒙期ハプスブルク君主国の変容	
7	11/25(金)		ライン川とハプスブルク—都市共和主義と啓蒙改革	東洋学園大学講師 阿南 大
8	12/2(金)		会議は踊る—フランス革命とメッテルニヒ外交 **遠隔講義	福岡女子大学教授 馬場 優
9	12/9(金)		二重君主国の時代—ウィーンとブダペシュトの三つの政府、二つの議会	東北大学教授 平田 武
10	12/16(金)		サラエヴォへの道—帝国はなぜ第一次大戦に進み滅亡したのか	福岡女子大学教授 馬場 優
11	1/20(金)		帝国は「民族の牢獄」だったのか—ネーション再考	東京外国語大学特任助教 古川高子
12	1/27(金)		ハプスブルクの長い影—中欧へのノスタルジーとヨーロッパ統合	明治学院大学教授 中田瑞穂

オンライン受講生を含めた受講登録者数 118名 出席者総数 1264名

前期

講座	みどり学Ⅱ - 木や草が生活とつながる面白さを極める		オンライン併用		
25	【定員】70名(うち会場定員48名)【受講料】2年会員12,090円、1年会員13,520円、聴講生17,810円(野外学習安全費用650円を含みます。)				
みどり学Ⅱ【時間】講義:10時30分~12時00分、野外:10時30分~14時30分、4/8,4/15は8時00分~18時00分予定(計12回)					
概要	みどり学は自然環境を幅広く学ぶ講座です。身近な自然との触れ合いの中から学んだ知恵を、周囲の市民やさまざまな活動に生かすことを目指します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1,2	4/8(金)	山梨県北杜市	日本最古の桜株と根古屋の田木・畑木を訪ねる(バス利用)	A班実施・B班休み	樹木医 石井誠治
	4/15(金)			B班実施・A班休み	
3	4/22(金)	川崎市生涯学習プラザ	樹木図鑑づくりの現場から見た森の生態系 **遠隔講義	A・B班実施	図鑑作家 林 将之 樹木医 石井誠治
4,5	5/13(金)	相模原公園	アイラトビカズラ・クレマチス咲く麻溝公園と相模原公園散策	B班実施・A班休み	樹木医 石井誠治
	5/20(金)			A班実施・B班休み	
6	5/27(金)	川崎市生涯学習プラザ	明治神宮100年の森の物語 ~私が出会った造営にゆかりの人々	A・B班実施	明治神宮国際神道文化研究所主任研究員 今泉宜子
7,8	6/3(金)	浜離宮	海のそばだから選ばれた(?)庭園樹の散策	B班実施・A班休み	森林インストラクター 武部 令
	6/10(金)			A班実施・B班休み	
9	6/17(金)	川崎市生涯学習プラザ	北極の氷河を解かす小さな植物:雪氷藻類	A・B班実施	千葉大学教授 竹内 望
10	6/24(金)		植物と昆虫~その密接な関係を探る	A・B班実施	千葉大学教授 野村昌史
11	7/8(金)		山梨県乙女高原の群落管理とその基礎調査	A・B班実施	元麻布大学教授 高槻成紀
12	7/15(金)		ツツジ・シャクナゲから見る日本の生物多様性	A・B班実施	千葉大学園芸学研究院特任助教 渡辺洋一

※本講座は、みどり学の受講経験の長い方が比較的多く受講しています。※4/1(金)10時30分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。
 ※第1,2回4/8(金)、4/15(金)はバス借上げ費用等で別途、8,000円集金。バスの手配は、富士急トラベル。
 オンライン受講生を含めた受講登録者数 53名 出席者総数 533名

後期

講座	みどり学Ⅱ - 木や草が生活とつながる面白さを極める		オンライン併用		
25	【定員】70名(うち会場定員48名)【受講料】2年会員12,090円、1年会員13,520円、聴講生17,810円(野外学習安全費用650円を含みます。)				
みどり学Ⅱ【時間】講義:10時30分~12時00分、野外:10時30分~14時30分、11/18,12/2は8時00分~18時00分予定(計12回)					
概要	みどり学は自然環境を幅広く学ぶ講座です。身近な自然との触れ合いの中から学んだ知恵を、周囲の市民やさまざまな活動に生かすことを目指します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	班	講師名(敬称略)
1,2	10/7(金)	日比谷公園	秋を探しに、丸ビルから丸の内仲通り、日比谷公園	B班実施・A班休み	樹木医 石井誠治
	10/14(金)			A班実施・B班休み	
3	10/21(金)	川崎市生涯学習プラザ	植物はいつ陸上に上がり、どのような進化をとげたか。	A・B班実施	(公社)日本植物友の会副会長 山田隆彦
4,5	10/28(金)	座間谷戸山公園	里山で見られる種と実の工夫 ~種子散布と生き物の関わり	B班実施・A班休み	森林インストラクター 武部 令
	11/4(金)			A班実施・B班休み	
6	11/11(金)	川崎市生涯学習プラザ	酸性雨で森林が溶ける、その報道のその後?	A・B班実施	宇都宮大学名誉教授 谷本丈夫
7,8	11/18(金)	小野のシダレグリ自生地(長野県)	二重の変異を持つアバレシダレグリ天然記念物自生地を訪ねる(バス利用)	B班実施・A班休み	樹木医 石井誠治
	12/2(金)			A班実施・B班休み	
9	12/9(金)	川崎市生涯学習プラザ	身近な植物・竹の不思議な生活史	A・B班実施	東京大学大学院農学生命科学研究科 千葉演習林助教 久本洋子
10	12/16(金)		日本の生物学を支えた蚕糸学	A・B班実施	東京農工大学准教授 横山 岳
11	1/20(金)		特殊な環境に生きる石灰岩植物	A・B班実施	森林インストラクター・グリーンセイバー 中西 由美子
12	1/27(金)		年輪が語る、樹木の成長過程に起こった出来事	A・B班実施	樹木医 石井誠治

※本講座は、みどり学の受講経験の長い方が比較的多く受講しています。※9/30(金)10時30分よりオリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。
 ※第7,8回11/18(金)、12/2(金)はバス借上げ費用等で別途、12,500円集金。バスの手配は、富士急トラベル。
 オンライン受講生を含めた受講登録者数 54名 出席者総数 567名

前期

講座	山の自然学				
26	【定員】30名【受講料】2年会員12,440円、1年会員13,870円、聴講生18,160円(野外学習安全費用1,000円を含みます。)				
山の自然学【時間】講義:13時00分~14時30分、野外:10時30分~14時30分予定 ただし4/15(金)は8時00分~18時00分予定、7/15(金)は14時00分~15時30分予定(計12回)					
概要	地形・地質をベースに、植生等の自然をまとめて把握する山の自然学(地生態学)の調査事例を、中部地方の山々に求め、詳しく紹介する。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1,2	4/15(金)	千葉県銚子市	銚子ジオパーク(バス利用)	東京学芸大学名誉教授 小泉 武栄 帝京科学大学教授 植木 岳雪	
3	4/22(金)	川崎市生涯学習プラザ	中部地方の地生態学 苗場山麓ジオパーク 立山	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄	
4,5	5/13(金)	埼玉県寄居町	埼玉県寄居町 鉢形城		
6	5/27(金)	川崎市生涯学習プラザ	中部地方の地生態学 薬師岳 鋸岳 蓮華岳 蝶ヶ岳		
7,8	6/3(金)	東京都杉並区	西荻窪		
9	6/17(金)	川崎市生涯学習プラザ	中部地方の地生態学 赤石岳 七面山 有東木		
10	6/24(金)		中部地方の地生態学 伊豆半島		
11	7/8(金)		中部地方の地生態学 渥美半島		
12	7/29(金)	川崎市多摩区	生田緑地		

※本講座は、長くみどり学を学んだ受講者向けの内容。 ※野外学習は、歩行距離やアップダウンがある行程。 ※4/1(金)の11時30分より一時間程度オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施。 ※第1,2回4/15(金)はバス借上げ費用等で別途、8,500円集金。バスの手配は、富士急トラベル。
 受講登録者数 30名 出席者総数 276名

後期

講座	山の自然学				
26	【定員】30名【受講料】2年会員12,440円、1年会員13,870円、聴講生18,160円(野外学習安全費用1,000円を含みます。)				
山の自然学【時間】講義:13時00分~14時30分、野外:10時30分~14時30分予定 ただし10/7(金)は8時00分~18時00分予定、12/9(金)は14時00分~15時30分予定(計12回)					
概要	地生態学的な自然の見方に基づいて、主に中部地方の自然を紹介する。また富士山五合目などで自然観察を行い、自然の見方を体得する。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1,2	10/7(金)	山梨県(富士山)	富士スバルライン終点から御庭までの自然観察(バス利用)	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄	
3	10/21(金)	川崎市生涯学習プラザ	中部地方の地生態学 薬師岳 爺ヶ岳 蝶ヶ岳		
4,5	10/28(金)	埼玉県比企郡嵐山町	武蔵嵐山とその周辺 (嵐山重忠館跡・嵐山溪谷など)		
6	11/11(金)	川崎市生涯学習プラザ	中部地方の地生態学 中央アルプス		
7,8	11/25(金)	神奈川県藤沢市	湘南・藤沢巡検	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄 元湘南高校教諭 高嶋紀子、美ノ谷 憲久	
9	12/9(金)	神奈川県横浜市	小机城址(野外 横浜線小机駅から徒歩)	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄	
10	12/16(金)	川崎市生涯学習プラザ	地生態学に関する最近の話題	(株)地域環境計画 増澤 直	
11	1/20(金)		中部地方の地生態学 飛騨川・設楽地方	東京学芸大学名誉教授 小泉武栄	
12	1/27(金)		地生態学に関する最近の話題		

※本講座は、長くみどり学を学んだ受講者向けの内容。 ※野外学習は、歩行距離やアップダウンがある行程。 ※9/30(金)11時30分より一時間程度オリエンテーション(野外学習についての連絡等)を実施します。 ※第1,2回10/7(金)はバス借上げ費用等で別途、6,500円集金。バスの手配は、富士急トラベル。
 受講登録者数 32名 出席者総数 315名

前期

講座 27	名画の見方—鑑賞と理解				オンライン併用
	【会場定員】200名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円				
	美術Ⅱ 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)				
概要	美術史を代表する名画の見方と読み方の鑑賞ポイントをわかりやすく解説しながら、各作品の美術史における位置づけや、各画家を生んだ社会背景を、海外の最新の研究成果等も紹介しながら解説する美術教養講座です。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/8(金)	新百合 21ビル 地下2階 多目的ホール	名画の歴史	多摩美術大学教授 西岡文彦	
2	4/15(金)		ダ・ヴィンチ『モナ・リザ』『最後の晩餐』		
3	5/13(金)		ボッティチェリ『春』『ヴィーナスの誕生』		
4	5/20(金)		ミケランジェロ『天地創造』『最後の審判』		
5	5/27(金)		レンブラント『夜警』『自画像』		
6	6/10(金)		フェルメール『牛乳を注ぐ女』『真珠の耳飾りの少女』		
7	6/17(金)		ドラクロワ『民衆を導く自由の女神』		
8	6/24(金)		マネ『草上の昼食』『オランピア』		
9	7/8(金)		モネ『印象 日の出』『睡蓮』 **遠隔講義		
10	7/15(金)		ルノワール『ぶらんこ』『浴女たち』 **遠隔講義		
11	7/22(金)		ゴッホ『ひまわり』『鳥のいる麦畑』 **遠隔講義		
12	7/29(金)		ピカソ『アヴィニヨンの娘達』『ゲルニカ』 **遠隔講義		

オンライン受講生を含めた受講登録者数 179名 出席者総数 1905名

後期

講座 27	麗しの中世ゴシック絵画				オンライン併用
	【会場定員】200名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円				
	美術Ⅱ 【時間】 毎回 10時30分～12時00分 (計12回)				
概要	後期は「芸術の秋」。そこからホイジンガの名著『中世の秋』が連想されれば、いきおい興味はその時代の美術に向けられます。今回はアルプスを越えた地域、すなわちネーデルラント、ドイツ、フランスで栄えた北方美術を、絵画を中心に楽しく見ていきましょう。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	9/30(金)	新百合 21 ビル B2 多目的ホール	ゴシック絵画の魅力1：後期ゴシック美術とは	多摩美術大学教授 諸川春樹	
2	10/7(金)		ゴシック絵画の魅力2：美しき写本の世界		
3	10/21(金)		ファン・エイクの超絶技巧		
4	10/28(金)		情感の画家ロヒール・ファン・デル・ウェイデン		
5	11/11(金)		ロヒール・ファン・デル・ウェイデンの「祭壇画」研究		
6	11/18(金)		偉大なる後継者たち1：クリストゥスとパウツ		
7	11/25(金)		偉大なる後継者たち2：ファン・デル・フォースとメモリンク		
8	12/2(金)		フランスにおける伝統と革新：カールトンとフーケ		
9	12/9(金)		15世紀ドイツの善き画家たち：ロホナーとバツィヤー		
10	1/13(金)		「世紀末」の画家たち：ダーフィットとマッセイス		
11	1/20(金)		怪物の画家？ボッス		
12	1/27(金)		西洋中世末期の芸術：講義のまとめ		

オンライン受講生を含めた受講登録者数 132名 出席者総数 1403名

前期

WS 11	西洋絵画を読み解く			
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに 17,160円、聴講生 18,590円			
	【ワークショップ】美術Ⅰ・Ⅱ 【時間】 毎回 13時30分～15時30分 (計12回)			
概要	一般的には「絵画は見て楽しむもの」ですが、その一方で「絵画に込められたメッセージ探しを楽しむ」という考えもあります。それがイコノロジー（図像解釈学）という美術史の一分野です。今回は具体的な作品を中心に、皆さんと活発な議論を楽しみたいと思います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(金)	新百合 21 ビル B2 会議室	フラ・アンジェリコ「受胎告知」(宗教画を読み解く)	多摩美術大学教授 諸川春樹
2	4/15(金)		ボッティチェリ「春」(神話画を読み解く)	
3	5/13(金)		レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」(肖像画を読み解く)	
4	5/20(金)		ジョルジョネ「嵐」(風景画を読み解く)	
5	5/27(金)		デューラー「メランコリー」(寓意画を読み解く)	
6	6/10(金)		ティツィアーノ「聖愛と俗愛」(肖像画を読み解く)	
7	6/17(金)		ブロンズイーノ「愛の寓意」(寓意画を読み解く)	
8	6/24(金)		バルドゥング「女性の三世代」(寓意画を読み解く)	
9	7/8(金)		プルーゲル「バベルの塔」(宗教画を読み解く)	
10	7/15(金)		カラヴァッジョ「果物籠」(静物画を読み解く)	
11	7/22(金)		レンブラント「ペテロの否認」(宗教画を読み解く)	
12	7/29(金)		ブッサン「我アルカディアにもあり」(寓意画を読み解く)	

受講登録者数 30名 出席者総数 330名

後期

WS 11	イタリア初期ルネサンス美術への旅			
	【定員】30名 【受講料】2年・1年会員ともに 17,160円、聴講生 18,590円			
	【ワークショップ】美術Ⅰ・Ⅱ 【時間】 毎回 13時30分～15時30分 (計12回)			
概要	コロナ禍で海外旅行もままならない状況が続いています。そこで今回は皆さんとスライドで旅行気分を味わいながら14世紀から15世紀にかけてのイタリア絵画を鑑賞します。選りすぐりの11人の画家たちの名作を前に皆さんと意見交換ができれば幸いです。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(金)	新百合 21 ビル B2 第2会議室	14-15世紀イタリア美術史1 (1300-1450年頃まで)	多摩美術大学教授 諸川春樹
2	10/7(金)		14-15世紀イタリア美術史2 (1450-1500年頃まで)	
3	10/21(金)		絵画の革新者ジョット	
4	10/28(金)		華麗なる14世紀シエナ派：シモーネ・マルティーニとアンブロージョ・ロレンツエッティ	
5	11/11(金)		15世紀の前衛画家マザッチョ	
6	11/18(金)		天使僧フラ・アンジェリコの聖なる世界	
7	11/25(金)		遠近法の幻想画家ウッチェロ	
8	12/2(金)		聖俗の狭間に揺れた天才画家ボッティチェリ	
9	12/9(金)		ピエロ・デッラ・フランチェスカの理知的世界	
10	1/13(金)		北イタリアルネサンス美術の巨匠マンテーニャ	
11	1/20(金)		ヴェネツィア派の祖ジョヴァンニ・ベッリーニ	
12	1/27(金)		偉大なるストーリーテラー：カルパッチョ	

受講登録者数 30名 出席者総数 333名

前期

講座 28	人口から読む徳川文明－歴史人口学の視座			オンライン併用
	【会場定員】200名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
エクセレントII 【時間】 毎回 13時30分～15時00分 (計12回)				
概要	人口は単に人間の頭数を示すものではない。その背後には、それぞれの時代を生きた人々の出生から死に至るまでの生きざまが凝縮されている。人口を軸として、江戸時代という一つの文明システムが生成、発展。成熟し、やがて崩壊していった一連の変遷を捉えてみることは、21世紀の世界を読み解く鍵にもなるだろう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	方法論としての歴史人口学 (historical demography) : 人口波動からみる近世とは?	上智大学名誉教授 前静岡県立大学学長 鬼頭 宏
2	4/15(金)		17世紀: 江戸時代前期の人口増加－婚姻革命はあったのか?	
3	5/13(金)		長い18世紀: 米將軍の苦悩と数量への関心－なぜ米価は上がらないのか?	
4	5/20(金)		小氷期: 地球寒冷化による飢饉が人口を減少させたのか?	
5	5/27(金)		疫病: 感染症との闘い。	
6	6/10(金)		都市＝墓場説: 都市は人を食いこぼす蟻地獄だった?	
7	6/17(金)		出生抑制: 墮胎・間引は本当にあったのか?	
8	6/24(金)		江戸時代のSDGs: 鎖国下の循環型社会。	
9	7/8(金)		寿命: 子ども・女性・老人の江戸時代。	
10	7/15(金)		地域と階級: 多様な人口学的特徴。	
11	7/22(金)		19世紀: 近代への助走。「プロト工業化」と人口成長。	
12	7/29(金)		近代人口循環の終焉: 江戸時代の経験から何を学ぶか?	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 71名 出席者総数 740名

後期

講座 28	江戸時代の海運（海路）と陸運（街道）			オンライン併用
	【会場定員】200名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
エクセレントII 【時間】 毎 13時30分 ～ 15時00分 (計12回)				
概要	江戸時代は、各地で生産された産物がはじめて全国規模で流通し、豊かな和風文化が開花した時代である。それを支えたのが全国に展開した海運・川運・陸運の流通ネットワークである。その全体像および様々な具体的な側面を最新の研究成果から明らかにする。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/30(金)	新百合21ビルB2多目的ホール	幕藩体制と全国市場 流通機構の変容 **遠隔講義	東北学院大学教授 齋藤善之
2	10/7(金)		近世の新興海運勢力 (尾州廻船・北前船・奥筋廻船) **遠隔講義	
3	10/21(金)		全国流通の発達と江戸文化の成熟	尾道市立大学准教授 森本幾子
4	10/28(金)		瀬戸内から全国へ 塩や藍が運ばれた海の道 **遠隔講義	
5	11/11(金)		船単筭からみた江戸時代の海運	生活史研究所代表 小泉和子
6	11/18(金)		海難・漂流からみた江戸時代の海運	海事史研究家 春名 徹
7	11/25(金)		江戸時代の和船 (千石船) の歴史	東京大学名誉教授 安達裕之
8	12/2(金)		神奈川湊から横浜港へ 近世近代移行期の都市と物流	東京大学特任助教 中尾俊介
9	12/9(金)		江戸幕府の陸上交通政策	前早稲田大学講師 泉 正人
10	1/13(金)		江戸時代の街道と名所をめぐる旅 **遠隔講義	滋賀大学教授 青柳周一
11	1/20(金)		街道を歩き交う人々 (東海道と脇往還)	平塚市博物館学芸員 早田旅人
12	1/27(金)		描かれた街道世界 交通と流通と生活と	前早稲田大学講師 泉 正人

オンライン受講生を含めた受講登録者数 78名 出席者総数 806名

前期

講座 29	高校の教科書で学ぶ経済学のイロハ			オンライン併用
	【会場定員】96名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
経済 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)				
概要	新聞の経済記事を読みたいが、基礎知識がないのでどうも、という人は多いでしょう。本講義はこのような人のために、高校の教科書 (東京書籍版「公共」) を使って、経済や経済学の基礎を勉強します。高校程度? アホらしい!と思わないでください。得るものは多いと思います。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(金)	川崎市生涯学習プラザ	私たちと経済	東京大学名誉教授 神野直彦
2	4/22(金)		市場経済の仕組み	
3	5/13(金)		国民所得と経済成長	
4	5/20(金)		戦後日本経済の動き	
5	5/27(金)		金融のしくみと働き	
6	6/3(金)		中央銀行の役割と金融環境の変化	
7	6/10(金)		財政の働き	
8	6/17(金)		財政の課題	
9	6/24(金)		現代の雇用・労働問題	
10	7/8(金)		貿易のしくみ	
11	7/15(金)		国際金融のしくみと動向	
12	7/22(金)		国際経済の諸課題	

*テキスト: 東京書籍版「公共」

オンライン受講生を含めた受講登録者数 67名 出席者総数 715名

後期

講座 29	マルクスから読む現代の資本主義社会			オンライン併用
	【定員】96名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
経済 【時間】 毎回 13時00分～14時30分 (計12回)				
概要	世界はこれまでにない経済危機に遭遇しています。迫り来るインフレーション、第三次世界大戦の危機、食糧や燃料不足、これまでになかった問題が山積しています。これは資本主義の本質に関わる問題です。資本主義の本質を知るために、本講座はマルクスの『資本論』から現代資本主義を読み解くことにします。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/14(金)	川崎市生涯学習プラザ	現代資本主義の直面する課題－資本主義の基本構造	神奈川大学教授 的場昭弘
2	10/21(金)		商品と包摂: マルクスにおける「包摂」の概念	京都精華大学講師 白井 聡
3	10/28(金)		リーマンショックと資本主義	神奈川大学教授 的場昭弘
4	11/4(金)		包摂の歴史的展開: フォーディズムの発展	京都精華大学講師 白井 聡
5	11/18(金)		包摂の現在: 新自由主義時代の包摂	
6	11/25(金)		南北問題と植民地支配	神奈川大学教授 的場昭弘
7	12/2(金)		長期停滞と資本主義の構造転換	立教大学准教授 佐々木 隆治
8	12/9(金)		ソ連・東欧の共産主義崩壊の原因とその結果	神奈川大学教授 的場昭弘
9	12/16(金)		オートメーションと資本主義	立教大学准教授 佐々木 隆治
10	1/20(金)		IMF体制と新たな挑戦者－デジタル通貨	神奈川大学教授 的場昭弘
11	1/27(金)		レント資本主義	立教大学准教授 佐々木 隆治
12	2/3(金)		収益の低下と市場の閉塞/資本主義の矛盾と未来	神奈川大学教授 的場昭弘

*テキストは、的場 昭弘『資本主義全史』(SB新書) 1,045円

オンライン受講生を含めた受講登録者数 90名 出席者総数 957名

前期

WS 12	「ドーナツ経済学」-「成長」から「繁栄」の経済へ			
	【定員】35名 【受講料】2年・1年会員ともに 17,160円、聴講生 18,590円			
【ワークショップ】 経済		【時間】 毎回 15時00分～17時00分 (計12回)		
概要	人類社会は経済成長を通じて豊かさを求める一方、地球環境の持続可能性という問題に直面しています。手段である「成長」に依存せず、目指すべき「繁栄」に至る道はあるのでしょうか。このWSでは「環境の上限(外縁)」と「社会的な土台(内縁)」からなる「ドーナツ経済」という新しい枠組みを使って考えを深めていきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(金)	川崎市生涯学習プラザ	学習のガイダンス(含:ビデオ視聴)	横浜市立大学名誉教授 金子文夫
2	4/15(金)		序章:経済学者になりたいのは誰か	
3	4/22(金)		第1章:目標を変える-GDPからドーナツへ	
4	5/13(金)		第2章:全体を見る-自己完結した市場から組み込み型経済へ	
5	5/20(金)		第3章:人間性を育む-合理的経済人から社会的適応人へ	
6	5/27(金)		第4章:システムに精通する-機械的均衡からダイナミックな複雑性へ	
7	6/3(金)		<経済トピックス研究>	
8	6/10(金)		第5章:分配を設計する-「また成長率は上向く」から設計による分配へ	
9	6/17(金)		第6章:環境再生を創造する-「成長でまたきれいになる」から設計による環境再生へ	
10	6/24(金)		第7章:成長にこだわらない-成長依存から成長にこだわらない社会へ	
11	7/8(金)		ドーナツ経済実践事例:アムステルダム市他	
12	7/15(金)		最終討議:成長からの脱却、繁栄への転換は本当に可能なのか	

*テキスト:「ドーナツ経済」(K・ラウス著、河出書房新社、定価1,397円)を使用。*学習の仕方は担当チームがテキスト担当部分の要旨と調べた内容の説明を行い、全員で疑問点についての質疑応答と論点の討議。
受講登録者数 21名 出席者総数 240名

後期

WS 12	人口減少社会のデザイン-2050年、日本は持続可能か?			
	【定員】35名 【受講料】2年・1年会員ともに 17,160円、聴講生 18,590円			
【ワークショップ】 経済		【時間】 毎回 15時00分～17時00分 (計12回)		
概要	2008年をピークに人口減少に転じた日本社会の将来について、コミュニティ、情報化、社会保障、医療、さらには人類史、死生観などの様々な視点から、「持続可能な福祉社会」モデルを探っていきます。むずかしい経済理論でなく、日常の肌感覚や今までの経験をもとに、どのように人口減少社会の持続可能性を担保していけばよいのか、議論していきましょう。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/7(金)	川崎市生涯学習プラザ	学習ガイダンス等	横浜市立大学名誉教授 金子文夫
2	10/14(金)		AIが示す日本社会の未来-都市集中型か地方分散型か	
3	10/21(金)		人口減少社会の意味-「集団で一本の道を登る時代」からの変容	
4	10/28(金)		高齢化・人口減少社会におけるコミュニティと都市	
5	11/11(金)		ローカライゼーションと情報化/ポスト情報化	
6	11/25(金)		人類史の中の人口減少・ポスト成長社会	
7	12/2(金)		社会保障と資本主義の進化	
8	12/9(金)		これからの社会保障	
9	12/16(金)		医療への新たな視点	
10	1/13(金)		死生観の再構築	
11	1/20(金)		持続可能な福祉社会-地球倫理の可能性	
12	1/27(金)		最終討論-2050年、日本の持続可能性	

*テキスト:「人口減少社会のデザイン」(広井良典著、東洋経済新報社、1,980円)*学習の仕方は担当チームがテキスト担当部分の要旨と調べた内容の説明を行い、全員で疑問点についての質疑応答と論点の討議。
受講登録者数 27名 出席者総数 298名

前期

講座 30	懐かしの名作・受賞作品を語る、この人に会いたい、日本の未来を語る			
	【定員】96名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
映像・メディア		【時間】 毎回 15時00分～16時30分 (計12回)		
概要	現在進行中のものから、歴史的な名作まで「映像とメディア」に関わるプロデューサー、ジャーナリスト、評論家が次々に登壇し、語ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(金)	川崎市生涯学習プラザ	「新型コロナウイルス」全ての疑問に答えます。「オミクロン変異株」の行方と未来	昭和大学客員教授 二木芳人
2	4/15(金)		未踏の世界に魅せられて:ある脳深部手術法開発者の生き方	世界脳神経外科連盟名誉会長、慶大名誉教授 河瀬 斌
3	4/22(金)		現在まで、19年間続く『ラジオ深夜便』アンカーという仕事を語る	フリーアナウンサー、東京農大客員教授 須磨 佳津江
4	5/13(金)		倫理学・日本思想史の大家が、自著『魂と無常』を語る	東京大学名誉教授 竹内整一
5	5/20(金)		モノに名前をつけるということ、小著『名づけの民俗学』を中心に	成城大学名誉教授 田中宣一
6	5/27(金)		100分 de 名著 渋沢栄一『論語と算盤』を語る	評論家 守屋 淳
7	6/3(金)		私が関わったメディアと樹木たちとの赤い糸。『天声人語と桜』	樹木医 石井誠治
8	6/10(金)		Video『東電刑事裁判 不当判決』を見て語る	東電原発訴訟団長、元里山喫茶『燦』店主 武藤類子
9	6/17(金)		自著『がん治療の現在 光免疫療法の衝撃』を語る	毎日新聞医療プレミア編集長 永山悦子
10	6/24(金)		2021年度文化庁長官表彰・絵手紙の第一人者が『絵手紙のすすめ』を語る	絵手紙創始者、上武大学客員教授 小池邦夫
11	7/15(金)		森田芳光監督の『それから』について語る	東京大学名誉教授 小森陽一
12	7/22(金)		「今村昌平監督作品」を語る	映画評論家、元NHKBS映画支配人 渡辺俊雄

受講登録者数 53名 出席者総数 509名

後期

講座 30	自作・名作を語る-「映像とメディア」の現場から			
	【定員】96名 【受講料】2年会員 11,440円、1年会員 12,870円、聴講生 17,160円			
映像・メディア		【時間】 毎回 15時00分～16時30分 (計12回)		
概要	現在進行中のものから、歴史的な名作まで、「映像とメディア」に関わってきたプロデューサー・ディレクター・監督・評論家が登壇し、自作・名作、また、報道の現場について語ります。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/7(金)	川崎市生涯学習プラザ	「脳と心の神秘的な世界」(「脳と心」等)を語る	元NHK解説委員 日本科学技術ジャーナリスト会議会長 室山哲也
2	10/14(金)		「ロボットと人間の不思議な関係」(ロボコン等)を語る	映画監督 滝田 洋二郎
3	10/21(金)		自作「おくりびと」等を語る (聞き手 伊藤俊也監督)	映画監督 伊勢真一
4	10/28(金)		自作「奈緒ちゃん」等を語る (聞き手 伊藤俊也監督)	映画監督 梶間俊一
5	11/4(金)		自作「ちようちゃん」、「おかしな刑事」シリーズ(テレビ)等を語る	早稲田大学教授 坂井滋和
6	11/11(金)		デジタル技術と映像表現	映画評論家・元NHKBS映画支配人 渡辺俊雄
7	11/25(金)		「ショーン・コネリー」等を語る	元福島中央テレビ副社長 寺島祐二
8	12/2(金)		福島原発災害と報道	早稲田大学教授 坂井滋和
9	12/9(金)		インターネットと映像メディア	映画監督 伊藤俊也
10	12/16(金)		自作「日本独立」等を語る	ジャーナリスト 元NHKディレクター 軍司達男
11	1/20(金)		「メディアの風」17年①～時代に向き合う私の方法～	
12	1/27(金)		「メディアの風」17年②～避けて通れないテーマの各論～	

受講登録者数 49名 出席者総数 492名

前期

講座 31	今考える地球の未来—環境・資源・防災—			オンライン併用
	【会場定員】48名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員11,440円、1年会員12,870円、聴講生17,160円			
	新しい科学の世界Ⅱ 【時間】毎回15時00分～16時30分(計12回)			
概要	21世紀も四半世紀が目前にきて、人類社会に環境劣化、資源枯渇、大規模災害のリスクが増大しているとの認識が広がっている。そのことに関してグローバル空間スケールと世紀を越える時間スケールで過去を振り返り未来を見据える。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/8(金)	川崎市生涯学習プラザ	環境資源防災のグローバルリンク	東京大学名誉教授 木村 学
2	4/15(金)		地球地殻変動と環境の5千万年 アジアモンスーンの世界	
3	4/22(金)		カーボンニュートラル 2050 で変化が必要とされる資源	東京大学名誉教授 川幡穂高
4	5/13(金)		地球温暖化と異常気象・自然災害	東京大学教授 中村 尚
5	5/20(金)		生態系を用いた防災・減災	東京大学名誉教授 太田猛彦
6	5/27(金)		太平洋のレアアース泥が日本を救う	東京大学教授 加藤泰浩
7	6/3(金)		地球を利用した CO2 削減技術	九州大学教授 辻 健
8	6/10(金)		地震災害の予測と備え	東京大学地震研究所教授 古村孝志
9	6/17(金)		宇宙からの地球観測	東京大学名誉教授 中島映至
10	6/24(金)		水の恵みと禍い	東京大学教授 沖 大幹
11	7/8(金)		海洋底観測と地震津波予測	海洋研究開発機構 地震発生帯研究センターグループリーダー 藤江 剛
12	7/15(金)		地理空間情報と防災	東京大学教授 小口 高

オンライン受講生を含めた受講登録者数 38名 出席者総数 391名

後期

講座 31	めまぐるしく進む科学と観測技術			オンライン併用
	【会場定員】48名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員11,440円、1年会員12,870円、聴講生17,160円			
	新しい科学の世界Ⅱ 【時間】毎回15時00分～16時30分(計12回)			
概要	21世紀も四半世紀が目前にきて、人類社会の未来に暗雲が広がっている。それを突破していく鍵の柱の一つに科学と技術の開かれた発展がある。地球を観測する技術と科学の発展の最先端を垣間見る。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/7(金)	川崎市生涯学習プラザ	情報科学・技術がもたらす科学と社会の今と未来(1)	情報通信研究機構 NICT ナレッジハブ研究統括・ナレッジハブ長(兼) 村山泰啓
2	10/14(金)		情報科学・技術がもたらす科学と社会の今と未来(2) **遠隔講義	
3	10/21(金)		衛星地球観測の今、そしてこれから	東京大学名誉教授 中島映至
4	10/28(金)		気候変動問題と地球観測の接点	
5	11/4(金)		海洋研究調査の今、そしてこれから(1)	海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用開発部門 運用部 部長 江口暢久
6	11/11(金)		海洋研究調査の今、そしてこれから(2)	
7	11/25(金)		巨大地震の発生過程に迫る広域地殻変動観測	海洋研究開発機構海地域震火山部門 主任研究員 飯沼卓史
8	12/2(金)		地震・地殻変動観測の今、そしてこれから	海洋研究開発機構海地域震火山部門 主任研究員 荒木 英一郎
9	12/9(金)		深海・海底に広がる生命圏の探究：今、そしてこれから	海洋研究開発機構 マントル掘削プロモーション室 室長 東北大学教授 稲垣史生
10	12/16(金)		地球システムと人間活動との関わり：今、そしてこれから	
11	1/20(金)		丸ごと地球の理解のために(1)	東京大学名誉教授 木村 学
12	1/27(金)		丸ごと地球の理解のために(2)	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 38名 出席者総数 403名

前期

講座 32	モノの生産から見る川崎の歴史(その2)			
	【定員】72名【受講料】2年会員11,490円、1年会員12,920円、聴講生17,210円(野外学習安全費用50円を含みます。)			
	歴史(川崎学) 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)			
概要	京浜工業地帯の中心として、現代のモノづくりの先端を進むのが川崎です。この川崎のモノづくり、決して一朝一夕に成立したものではありません。原始から現代に至る人びとの「モノづくり」によって成されてきたのです。モノの生産から川崎の歴史を眺め、各時代どのようにしてモノが運ばれたのかを考えます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/9(土)	川崎市生涯学習プラザ	川崎の縄文土器	国立歴史民俗博物館准教授 中村 耕作
2	4/16(土)		瓦から見た影向寺の姿	國學院大學栃木短期大学准教授 中 大輔
3	4/23(土)		稲毛荘の農業と諸産業	國學院大學栃木短期大学教授 菱沼一憲
4	5/14(土)		戦国時代の竹と縄	都筑・橋樹研究会会員 小股 昭
5	5/21(土)		川崎の道と信仰	成城大学名誉教授 田中宣一
6	5/28(土)		多摩川の水運	埼玉県立文書館・八潮市立資料館嘱託 清水正彦
7	6/4(土)		多摩川の筏流しと登戸の筏会所	國學院大學栃木短期大学教授 坂本達彦
8	6/11(土)		川崎の味噌・醤油造り	法政大学第二中・高等学校教育友会教育研究所 所長 大庭乾一
9	6/18(土)		塩づくりから産業の米(鉄鋼)作りへ	京浜歴史科学研究会会員 大湖賢一
10	6/25(土)		花作りの現場を歩く(江戸の園芸文化を支えた川崎の花作りの現場を歩く)	川崎地域史研究会会員 川崎晶子
11	7/9(土)	野外学習	近代川崎の物作りの跡を歩く(コロンビアレコード、味の素、富士紡工場跡を歩き、川崎の近代工業成立の様子を知る)	東部62部隊を語り継ぐ会代表 大泉雄彦
12	7/16(土)	川崎市生涯学習プラザ	川崎の農機具づくり	明治大学講師 渡辺賢二

受講登録者数 51名 出席者総数 530名

後期

講座 32	川崎市の地域的展開(南部：川崎区と幸区)				
	【定員】72名【受講料】2年会員11,490円、1年会員12,920円、聴講生17,210円(野外学習安全費用50円を含みます。)				
	歴史(川崎学) 【時間】毎回10時30分～12時00分(計12回)				
概要	川崎市は、多摩川とそれに平行する多摩丘陵を脊梁とし、そこに南北に広がる沓瀬平野を挟むようにして市域が形成されている。この南北のつながりが、市域の成り立ちに大きく関わっている。しかし、現在はこのような結びつきより東西、東京と横浜につながる回廊として分断されているのが現状である。このような状況の中で再度川崎としてのまとまりを考えていくために、テーマを川崎市の地域的展開として市域を南部・中部・北部に分けて進めていきたい。2022年後期は最初で、南部：川崎区・幸区からはじめる。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	10/1(土)	川崎市生涯学習プラザ	縄文海進	元横浜市埋蔵文化財センター調査研究員 坂本 彰	
2	10/8(土)		川崎下流域の古墳群	都筑・橋樹研究会会員 小股 昭	
3	10/15(土)		寺尾絵図から見る中世川崎	國學院大學栃木短期大学教授 菱沼一憲	
4	10/22(土)	野外学習	平間寺とその界隈を歩く	アミガサ事件100年の会書記 関崎益男	
5	10/29(土)	川崎市生涯学習プラザ	東海道と川崎宿	法政大学第二中・高等学校教育友会教育研究所 所長 大庭乾一	
6	11/12(土)		平間寺—川崎大師の信仰、漂着神伝承	成城大学名誉教授 田中宣一	
7	11/26(土)		大師河原から生まれた酒文化	國學院大學栃木短期大学准教授 伊藤慎吾	
8	12/3(土)		日本最初の鉄道と川崎駅	京浜歴史科学研究会会員 大湖賢一	
9	12/10(土)		川崎空襲	東部62部隊を語り継ぐ会代表 大泉雄彦	
10	12/17(土)		富士瓦紡と川崎	川崎地域史研究会会員 川崎晶子	
11	1/21(土)		工都川崎の光と影	明治大学講師 渡辺賢二	
12	1/28(土)		野外学習	川崎市幸区の古墳と中世遺跡～夢見ヶ崎を中心に	國學院大學大学院特別研究生 新保 稔

受講登録者数 59名 出席者総数 603名

前期

101	日本経済の現状と脱出のシナリオ			オンライン併用
	【会場定員】200名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員2,860円、1年会員3,218円、聴講生4,290円			
概要		米中貿易戦争に加え、中国の不動産バブルの崩壊、アメリカのバブルも危ない。コロナ禍で日本も財政赤字や日銀の金融緩和が異常に膨らみ、バブル崩壊があれば耐えきれない。産業衰退は深刻で、賃金は継続的に下落している。現実を直視し、出口を探さねばならない。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	7/14(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	バブル循環で見る世界経済	慶應義塾大学名誉教授 金子 勝
2	7/21(木)		限界が来る異常な日銀金融緩和	
3	7/28(木)		米中貿易戦争と日本の産業衰退	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 110名 出席者総数 297名

102	源氏物語の女君たち			オンライン併用
	【会場定員】200名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員2,860円、1年会員3,218円、聴講生4,290円			
概要		光源氏の多彩な女性関係を厭わしく思う人もいますが、彼はふれ合う女性たちの様々な人生と愛のかなしみを照らし出す光源のような存在だと考えたいのではないのでしょうか。今回は、『源氏物語』第二帖～第四帖のいわゆる「帯木三帖」を読みます。この三帖には、空蝉、夕顔、六条御息所という三人の女君が登場します。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	8/2(火)	新百合21ビルB2多目的ホール	帯木(ははきぎ)巻鑑賞	東京大学名誉教授 藤原 克己
2	9/6(火)		帯木・空蝉巻鑑賞	
3	9/13(火)		夕顔巻鑑賞	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 85名 出席者総数 229名

後期

101	昔話の扉をひらく			オンライン併用
	【会場定員】200名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員2,860円、1年会員3,218円 聴講生4,290円			
概要		昔話は口伝えされてきたおとぎ話ですが、そこにはきちんとした語りの文法があります。その文法を実例を聴いてもらいながら解説します。そして昔話は、役立たずと思われていた子どもや若者が、いつのまにか力を発揮して自分の道を進んでいく成長の物語です。そういう昔話の世界の扉をひらいていきます。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	9/29(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	『昔話とは何か』昔話には語りの法則があるので、それを実例で解説する。	小澤昔ばなし研究所 所長 小澤俊夫
2	10/6(木)		『昔話は何を語っているか』昔話にはいろいろな主人公が登場するが、特に若者の場合について、読み解いてみる。	
3	10/27(木)		『グリム童話について』グリム童話は、昔話をグリム兄弟が読み物として形を整えたものである。彼らの生涯をたどりながら、童話集について概説する。	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 57名 出席者総数 147名

102	美術から読み解く『嵯峨野明月記』の世界－本阿弥光悦・依屋宗達・角倉素庵とその時代			オンライン併用
	【会場定員】200名【オンライン定員】100名【受講料】2年会員2,860円、1年会員3,218円、聴講生4,290円			
概要		『嵯峨野明月記』(辻邦生の小説)には、桃山時代から江戸時代初期の京都で生じたさまざまな出来事が、書家で陶芸家の本阿弥光悦、絵師の依屋宗達、書家で出版も手がけた角倉素庵の目を通して語られています。講座では、同時代の絵画や工芸作品を手がかりに、当時の京都の様子を再現するとともに、三人の生涯と代表的な作品を紹介します。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容	学習内容
1	11/17(木)	新百合21ビルB2多目的ホール	戦乱から復興する京都と光悦・宗達・素庵 《洛中洛外図屏風》から16～17世紀の京都の変貌を読み解く	実践女子大学名誉教授 秋田県立近代美術館特任館長 仲町 啓子
2	12/1(木)		慶長年間の光悦・宗達・素庵 美しい料紙装飾の復興と和風の書における革新、そして嵯峨本	
3	1/12(木)		寛永年間の光悦・宗達・素庵 それぞれ独自の道を歩み出した三人の活躍を追う	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 74名 出席者総数 179名

前期

301	ヴェリズモ・オペラの楽しみ方			
	【定員】150名【受講料】2年会員6,870円、1年会員7,585円、聴講生9,730円			
概要		19世紀末から20世紀初頭にかけてイタリアのオペラ界に「ヴェリズモ」(真実主義)が流行します。メロディや声の美しさを聞かせるよりも、題材をスリルやサスペンスに満ちた大衆演劇からとり、リアルな感情を強調することで聴衆を興奮させ、楽しませる作品群が生まれました。今回はイタリアにおいて特徴的なヴェリズモ・オペラからいくつかの名作をとりあげ、その特色や楽しみ方を紹介します。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/10(火)	昭和音楽大学南校舎5階	レオンカヴァッロ《道化師》	昭和音楽大学准教授(イタリア語、演劇史) 森田 学
2	5/24(火)		プッチーニ《トスカ》	昭和音楽大学客員教授(オペラ史) 小畑 恒夫
3	6/14(火)		プッチーニ《外套》	昭和音楽大学講師(演出) 岩田 達宗
4	6/21(火)		チレーア《アドリアーナ・ルクヴール》	昭和音楽大学客員教授(オペラ史) 小畑 恒夫
5	7/5(火)	ユリホール	ジオルダーノ《アンドレア・シェニエ》	昭和音楽大学准教授(イタリア語、演劇史) 森田 学
6	7/12(火)		ヴェリズモ・オペラの歌唱 佐田山千恵(ソプラノ)、林 直樹(ピアノ伴奏)	昭和音楽大学客員教授(声楽) 折江 忠道

受講登録者数 76名 出席者総数 431名

後期

301	フランス・オペラへの誘い			
	【定員】150名【受講料】2年会員6,870円、1年会員7,585円、聴講生9,730円			
概要		今回はフランス・オペラをとりあげます。バロック時代の宮廷オペラに端を発し、ナポリ派の様式から独自性を保ちつつ発展してきたフランス・オペラの変遷を概観し、フランス的なものの特徴を探ります。次いでフランス・ロマン主義オペラから3つの名作を紹介します。		
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/18(火)	昭和音楽大学南校舎5階 ユリホール	フランス・オペラの系譜(バロックから近代まで)	昭和音楽大学客員教授(オペラ史) 小畑恒夫
2	10/25(火)		グランド・オペラの時代	
3	11/1(火)		グノー《ファウスト》(1859)	昭和音楽大学准教授(イタリア語、演劇史) 森田 学
4	11/8(火)		ビゼー《カルメン》(1875)	昭和音楽大学講師(演出) 栗国 淳
5	11/29(火)		オッフェンバック《ホフマン物語》(1880)	昭和音楽大学准教授(イタリア語、演劇史) 森田 学
6	1/17(火)		フランス・オペラの歌唱(演奏付き) 歌唱・高橋大(研究員)／北園彩佳(研究員) 伴奏・星和代(講師)	昭和音楽大学講師(声楽) 大森智子

受講登録者数 79名 出席者総数 434名

前期

302	脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて			
	【定員】100名 【受講料】2年会員 5,720円、1年会員 6,435円、聴講生 8,580円			
連携(アジア航測) 【時間】毎回16時00分~17時30分(計6回)				
概要	近年、気候変動による豪雨や熱波、大規模な水害や山火事などが各地で発生しています。世界各国では、温室効果ガスの影響で海水温が上昇していると考えられており、温室効果ガスの排出をゼロにするカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、様々な取り組みがなされています。本講座では、どのような取り組みがあり実施されているのかを学んでいきます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/12(木)	21ビル地下2階多目的ホール	川崎市における脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて	川崎市 環境局脱炭素戦略推進室 課長補佐 戸井田 親紀
2	5/19(木)		脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーによる取り組み	アジア航測株式会社 社会インフラマネジメント事業部 事業推進室 室長 馬場宇久 環境・エネルギー技術部 部長 橋貴博
3	5/26(木)		CO2吸収源としての森林分野における取り組みについて	アジア航測株式会社 国土保全コンサルタント事業部 総括技師長 矢部 三雄
4	6/9(木)		カーボンニュートラルに向けた大林組の水素事業への取り組み	株式会社大林組 グリーンエネルギー本部 プロジェクト推進第三部 部長 梶木 盛也
5	6/16(木)		藻場の役割と海洋プラスチックゴミ問題について	アジア航測株式会社 経営本部経営企画部 部長 小笠原 勇 国土保全コンサルタント事業部環境部 副部長 市橋 理
6	6/23(木)		地域と共生する再生可能エネルギーの導入について— 合意形成のためのルール作りと地域での便益 — **遠隔講義	名古屋大学 大学院環境学専攻 社会環境学専攻 環境政策論 教授 丸山 康司

受講登録者数 14名 出席者総数 70名

後期

302	地図の今昔 ~測定の歴史、伊能図から3Dマップまで、地図づくりの技術を通して人間の営みを知る~			
	【定員】30名 【受講料】2年会員 5,720円、1年会員 6,435円、聴講生 8,580円			
連携(アジア航測) 【時間】毎回15時00分~16時30分				
概要	専門家、発明者、パイロット、研究者たちによる地図利用の変遷の講義。これまで知っているようで知らなかった、地図にまつわる深い知識が得られる、楽しい学びのコースです。特に、歴史番組でも新たな発見をもたらす「赤色立体地図」は当社が開発したもので発明者自らがその魅力を語ります。著名な方々のゲスト講演も充実しています。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/19(水)	新百合21ビル地下2階第1会議室	伊能忠敬と「伊能図」に親しむ / 伊能忠敬と伊能図のあらし / 伊能図研究のターニングポイント / 測量コースとかわさき / 作成時の日記と古地図からひもとく	元国立国会図書館特別資料課長 日本地図学会名誉会員など 鈴木純子
2	10/26(水)		近代測量の歩み—黎明期から戦後まで— / 近世伊能図から明治近代測量へ / 測量基線のはじまり / 航空測量の誕生秘話	国土交通省 国土地理院 参事官 大木章一
3	11/2(水)		最も身近な地図「時刻表地図」と「時刻表」の変遷—鉄道発展過程を示すものとして—	東海旅客鉄道(株) 顧問 須田 寛
4	11/9(水)		テレビでよく見る赤い地図! 発明者が語る赤色立体地図のひみつ / 赤色立体地図の原理 / 赤色立体地図で見る(かわさき・山城・古墳・マヤ・カンボジア・月・火星)	アジア航測(株) 先端技術研究所 千葉研究室 室長 千葉達朗
5	11/16(水)		パイロットが語る航空測量のすべて / 当社が誇る航空機たち(国内唯一「あおたか」など) / 安全管理も私たちの手で / 業界初バイオ燃料で飛んだ!	アジア航測(株) 空間情報技術センター 航空部 部長 金子史之
6	11/30(水)		宇宙から作る地図 / 衛星データの取得と利用 / 宇宙から見た事件事故(モーリシャス油流出・パナマ運河コンテナ船座礁・福徳岡ノ場軽石漂流・トンガ噴火)	アジア航測(株) 先端技術研究所 センシング研究室 室長 金田真一
			3Dデータの作り方と楽しみ方 / 3Dデータって何? どうやって作るの? / ここまで来た3D地図 / 国家プロジェクトで進む3D都市 / 身近なものはかってみよう! 3D計測体験	アジア航測(株) 先端技術研究所 所長 新名恭仁、技師 若泉拓磨

受講登録者数 30名 出席者総数 163名

前期一覧

No.	コース名	講座・ワークショップ名	講師名(敬称略)
★A	地域協働講座	教育 「0歳~2歳の子育て」応援講座	NPO法人孫育て・ニッポン理事長 ぼうだ あきこ ほか
※B		健康 「認知症」を最新医学から学ぶ	聖マリアンナ医科大学病院教授 笠貴 浩史ほか
C		福祉 傾聴ボランティア養成講座	NPO法人日本傾聴ボランティア協会事務局長 山田豊吉
D		企業連携 地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その23	市内企業の代表と研究者ほか
★E		生活 シニア世代が安心して楽しく過ごすためのマネー術	日本ファイナンシャルプランナーズ協会 CFP® 三島木 英雄

★:オンライン併用講座、※:オンラインのみの講座

A	「0歳~2歳の子育て」応援講座				オンライン併用
	【定員】30組(親子で参加可) 【受講料】3,700円(資料代等実費徴収) *保育ボランティア付きを希望の場合(1歳児~2歳児 6名まで、受講申し込みの際に申込必要)は別途保育料金1,400円(保育料:1回につき200円×3回=600円、保険料:800円)徴収				
教育		【時間】毎回10時00分~12時00分(計3回)			
概要	コロナ禍のために閉じられた空間で過ごすしかない若い子育て世代は孤立し、不安を抱えながらSNSなど溢れる情報世界の中に身を置いています。そこで、この講座ではそのような子育て世代に向けて長年にわたって子育て・孫育てに取り組んでいる専門家、そして、小児科専門医からの温かく、力強いメッセージをお送りします。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	5/16(月)	川崎市生涯学習プラザ	引き算の子育て—子どもに大切な7つの力	NPO法人孫育て・ニッポン理事長 ぼうだ あきこ	
2	5/23(月)		小児科医が教える「小児科クリニックと上手につき合う方法」	みくりキッズクリニック院長 本田 真美	
3	5/30(月)		子育てと「防災」	NPO法人孫育て・ニッポン理事長 ぼうだ あきこ	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 10名 出席者総数 25名

B	「認知症」を最新医学から学ぶ				
	【定員】100名 【受講料】4,480円				
健康		【時間】毎回14時00分~15時30分(計5回)			
概要	高齢化の進展とともに、認知症患者数も増加し、2020年の65歳以上の高齢者の認知症有病率は16.7%、6人に1人程度が認知症有病者と言われています。本講座では、聖マリアンナ医科大学病院に所属する多職種講師らが、認知症の検査・診断、初期治療、そして支援について様々なアプローチから詳細に解説します。 ※聖マリアンナ医科大学等からの中継となります。受講生の方もそれぞれ自宅等で受講いただけます。				
回	月/日(曜)	講義形式	学習内容	講師名(敬称略)	
1	5/10(火)	zoomによるオンライン講義 (講師・受講生共に任意の場所より参加)	「認知症」の基礎知識と予防について	聖マリアンナ医科大学 神経精神科学 病院教授/ 認知症(老年精神疾患)治療研究センター長 笠貴浩史	
2	5/17(火)		「認知症」の介護とケアについて	聖マリアンナ医科大学病院 看護部 認知症看護認定看護師 小橋章人	
3	5/31(火)		「認知症」の介護保険サービスを中心に	聖マリアンナ医科大学病院 神経精神科 精神保健福祉士 久米 歩	
4	6/7(火)		「認知症」のココロ模様と家族の心理	聖マリアンナ医科大学病院 神経精神科 臨床心理士 田所正典	
5	6/14(火)		「認知症」と運転免許	聖マリアンナ医科大学 神経精神科学 講師/ 認知症(老年精神疾患)治療研究センター副センター長 袖長 光知穂	

受講登録者数 32名 出席者総数 146名

C	傾聴ボランティア講座				
	【定員】42名 【受講料】10,600円(資料代等実費徴収)				
福祉		【時間】毎回13時00分~17時00分(計10回)			
概要	傾聴とは、相手の話に耳を傾け、一生懸命、あるいは熱心に聴くことです。また、相手の話を一生懸命、あるいは熱心に聴くためには、相手の存在を認めるといった基本的な人への向かい合い方(態度)も必要になってきます。相手の話を否定しないで、どんなふうにも聴けるか、練習をします。「高齢者に対する傾聴ボランティア」養成講座です。				
回	月/日(曜)	時間	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/11(水)	13:00~15:00	川崎市生涯学習プラザ	(講義)よい聴き手になるために~傾聴の意味と意義~	NPO法人 日本傾聴ボランティア協会 事務局 山田豊吉
2	5/18(水)	15:00~17:00		(演習)初めての出会い、「傾聴モードで聴く」...話す喜び、聴く喜び	
3	5/18(水)	13:00~15:00		(RP)傾聴のスキル「繰り返し」、「質問」、「共感的な励まし」「支持」	
4	5/18(水)	15:00~17:00		(RP)傾聴のスキルを使って、総合練習① ロールプレイ実習	
5	6/1(水)	13:00~15:00		(RP)傾聴のスキルを使って、総合練習② ロールプレイ実習	
6	6/1(水)	15:00~17:00		(RP)実践に向けて総合練習 ①「よくある事例」を使って、ロールプレイ実習	
7	6/8(水)	13:00~15:00		(RP)実践に向けて総合練習 ②「よくある事例」を使って、ロールプレイ実習	
8	6/8(水)	15:00~17:00		(講義&RP)認知症高齢者への関わり方及びロールプレイ実習	
9	6/15(水)	13:00~15:00		(講義)傾聴ボランティア活動の仕方(個人宅&各種の高齢者施設等)	
10	6/15(水)	15:00~17:00		先輩の傾聴ボランティアの方のお話	

受講登録者数 29名 出席者総数 264名

地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その 23				
D				
【定員】70名 【受講料】8,980円 (資料代等を実費徴収)				
企業連携 【時間】座学 13時30分～15時00分 現地見学は開始/終了時間が変わります。(計10回)				
概要				
ものづくり企業や先端技術の開発・研究機関を多く抱える川崎には、世界に誇る技術やアイデアをもつ企業・研究者がたくさんいます。川崎を中心とした企業・団体・個人の方々と、最先端の技術、ものづくり、環境、教育、まちづくり等を学びます。初めての方も気軽に参加できる講座です。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/14(木)	川崎市生涯学習プラザ	長寿命化が求められるインフラ業界でのDX化技術～ロボット×AI技術	株式会社イクス代表取締役 山崎 文敬
2	4/21(木)		「はやぶさ2」が教えてくれたもの	元 NEC 航空宇宙システム チーム「はやぶさ」メンバー 小笠原 雅弘
3	4/28(木)	見学	第1部 講演：競輪とは？ その仕組みと地域貢献 第2部 見学：川崎競輪場	川崎市経済労働局公営事業部総務課 課長 倉 雅彦
4	5/12(木)	川崎市生涯学習プラザ	地域に根差した循環型社会の構築を目指して	株式会社ちとせ研究所シニアマネジャー 北村 玲雄奈
5	5/19(木)		完全脱炭素化への道～町工場の挑戦	日崎工業株式会社代表取締役 三瓶 修
6	5/26(木)		「学び直そう！成年後見制度」～どのようなときに役に立つのか？ キーワードは「代理権」と「任意後見」	成年後見サポート W.Co あうん事務局長 佐々木 肇
7	6/9(木)		私の街から戦争がみえた～登録研究所を調べて35年の軌跡～	明治大学講師 渡辺賢二
8	6/16(木)		クラブ創設26周年～球団を市民と共に一歩ずつ作り上げる	川崎フロンターレタウンコミュニケーション部 部長 天野春果
9	6/30(木)		地域資源を活かした川崎区のまちづくり～区制50周年迎えた川崎区の取組み	川崎区役所川崎区長 増田宏之
10	7/7(木)		人生100年時代、福祉イノベーションの価値共創から実装へ	東京工業大学教授 西田佳史

受講登録者数 44名 出席者総数 390名

シニア世代が安心して楽しく過ごすマネー術				
E				
【定員】70名 【受講料】2,880円 (資料代を実費徴収)				
生活 【時間】毎回10時30分～12時00分 (計3回)				
概要				
人生100年時代、現役リタイア後お金の心配をなくして楽しく生活するために知っておきたいマネー知識を学びます。資産運用・年金・税金など、知っているとは知らないでは大きな差が出るお金の事や、様々な分野に拡大が見込まれるデジタル化に対応できる知識を事例に沿って学んでいきます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	5/13(金)	川崎市生涯学習プラザ	銀行が勧める投資商品は買ってはいけない	株式会社FPリサーチパートナーズ 代表取締役 日本FP(ファイナンシャルプランナー)協会認定 CFP®(上級資格)認定者 1級DCプランナー (企業年金総合プランナー) 三島木 英雄
2	5/27(金)		実は簡単税金計算	
3	6/10(金)		デジタル化に対応して老後生活を楽しむ	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 69名 出席者総数 180人

後期一覧

No.	コース名	講座・ワークショップ名	講師名(敬称略)
★A	地域協働講座	教育	発達障がいを理解し、支援する～幼児期から学齢期までの子どもへの理解と支援～
★B		健康	「新型コロナウイルス感染症」を最新医学から学ぶ
★C		生活	脱炭素型ライフスタイルへの転換を始めよう
D		企業連携	地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その24
★E		まちづくり	ロマンスカーミュージアムを軸とした小田急電鉄のまちづくり

★印はオンライン併用講座

発達障がいを理解し、支援する～幼児期から学齢期までの子どもへの理解と支援～ オンライン併用				
A				
【定員】70名 【受講料】5,300円 (資料代等を実費徴収いたします。)				
教育 【時間】毎回10時00分～12時00分 (計5回)				
概要				
発達障がいの傾向がある子どもとその親は、新型コロナウイルス禍のためにさらに困難な状況に置かれていると思われます。小さい頃の発達障がいにはどのような特徴があるのか、発達障がい臨床の第一人者からのお話、子どもと親の関わりや、地域・学校・関係機関からはどのような支援を受けられるのかなど、子どもにとって一番のサポートになるための大切な基礎情報を学べる講座です。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/17(月)	川崎市生涯学習プラザ	発達障がいの子どもと歩む～子どものための環境づくり～	橋口亜希子個人事務所 発達障害を手がかりとしたUDコンサルタント 橋口 亜希子
2	10/24(月)		児童精神科医として、子どものつまずき、親の苦悩に思いを馳せ、ともに考え続ける	医療法人社団 こころそだちのクリニック むすびめ院長 北海道大学名誉教授 田中康雄
3	11/14(月)		子どもの気持ち・行動を理解する	早稲田大学大学院教育学研究科 教授 高橋 あつ子
4	11/21(月)		川崎市の教育施策と支援の状況	川崎市教育委員会学校教育支援教育課 担当課長 近藤春樹
5	11/28(月)		発達障がい 今だからわかる…本当に必要な支援とは～保護者として～	橋口亜希子個人事務所 発達障害を手がかりとしたUDコンサルタント 橋口 亜希子

オンライン受講生を含めた受講登録者数 33名 出席者総数 143名

「新型コロナウイルス感染症」を最新医学から学ぶ				
B				
【定員】100名 【受講料】4,480円 (資料代等を実費徴収)				
健康 【時間】毎回14時00分～15時30分(計5回)				
概要				
新型コロナウイルス感染症が、2019年末に中国で初めて感染者が報告されてから世界的なパンデミックとなり、2022年となっても終息には至っていません。聖マリアンナ医科大学病院での多くの臨床実績や最新の科学的知見を基に、検査部門の中核となる感染制御部、後遺症を診療する総合診療内科、ワクチンや小児感染症を取り扱う小児科、重症感染者へ高度先進治療を行う救命救急センター、感染症学を専門とする医師らが、様々なアプローチから詳細に解説します。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/25(火)	川崎市生涯学習プラザ	世界と日本における流行の変遷～新型コロナウイルスの変異と変異株の特徴～	聖マリアンナ医科大学 微生物学 主任教授 竹村 弘
2	11/1(火)		新型コロナウイルスワクチン～新規導入ワクチンの見直し～	聖マリアンナ医科大学 小児科学 准教授 勝田友博
3	11/8(火)		新型コロナウイルス(COVID-19)に対する治療の変遷 **遠隔講義	聖マリアンナ医科大学 救急医学/救命救急センター 准教授/副センター長 森澤 健一郎
4	11/22(火)		新型コロナウイルス感染症の後遺症について	聖マリアンナ医科大学 内科学(総合診療内科) 助教 土田知也
5	12/13(火)		新型コロナウイルス感染症の最近の話題	聖マリアンナ医科大学 感染症学 主任教授 國島広之

オンライン受講生を含めた受講登録者数 23名 出席者総数 105名

脱炭素型ライフスタイルへの転換を始めよう				
C				
【定員】70名 【受講料】4,480円 (資料代等を実費徴収いたします。)				
生活 【時間】毎回13時30分～15時00分 (計5回)				
概要				
豪雨や山火事の頻発といった地球温暖化による影響が人間社会を脅かし始め、世界中が脱炭素社会(温室効果ガスの排出が±0の社会)に向けた変化を加速させようとしています。本講座では、脱炭素社会に向けて私たちの暮らしはどのような変化を求められているのか、ゼロカーボンを目指す川崎市ではどのような施策が動いているのかなどを学び、脱炭素型ライフスタイルへの転換をどのように進めていくか(市民ができること、企業や行政に提案すること)を考えます。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/26(水)	川崎市生涯学習プラザ	気候変動問題と脱炭素社会/1.5℃ライフスタイルとは(概説と川崎市の地球温暖化対策推進基本計画など)	環境政策対話研究所理事 村上千里 川崎市環境局脱炭素戦略推進室課長補佐 鈴木利康
2	11/2(水)		脱炭素型ライフスタイル①「住まい」はどう変わるのか？(省エネ・創エネ・断熱などの方向性と川崎市の施策)	環境政策対話研究所理事 村上千里 川崎市まちづくり局住宅整備推進担当課長 小島隆司
3	11/9(水)		脱炭素型ライフスタイル②「移動」はどう変わるのか？(EV・公共交通・まちづくりなどの方向性と川崎市の施策)	環境政策対話研究所理事 村上千里 川崎市まちづくり局交通政策室担当課長 伊藤洋平
4	11/16(水)		脱炭素型ライフスタイル③「消費生活」はどう変わるのか？(食べものや衣類、日用品などの選択の視点と社会の取り組み事例)	環境政策対話研究所理事 村上千里
5	11/30(水)		脱炭素型ライフスタイルに向けてできること、必要なことを考えよう(4回で学んだこと、考えたことをもとにグループで話し合います)	

オンライン受講生を含めた受講登録者数 17名 出席者総数 73名

△▼△ 2022 年度後期 地域協働講座 D、E 講座日程表 △▼△

地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その 24				
D	【定員】 70 名 【受講料】 8,980 円 (資料代等を実費徴収いたします。)			
	企業連携 【時間】 座学 毎回 13 時 30 分～ 15 時 00 分 現地見学は開始/終了時間が変わります。(計 10 回)			
概要	ものづくり企業や先端技術の開発・研究機関を多く抱える川崎には、世界に誇る技術やアイデアを持つ企業・研究者がたくさんいます。川崎を中心とした企業・団体・個人の方々から、最先端の技術、ものづくり、環境、教育、まちづくり等を学びます。初めての方も気軽に参加できる講座です。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/6(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	人生 100 年！頑張れ還暦アントレプレナー(起業家)	株式会社ケイエスピー 代表取締役社長 窪田規一
2	10/13(木)		<はかる> 楽しさ奥の深さ～ものづくりを支えて 60 年	株式会社メジャーテックツルミ 会長 横須賀 健治
3	10/20(木)		ヤマネの仕事～地元建設業として営む 120 年	株式会社山根工務店 代表取締役 山根 崇
4	10/27(木)	羽田	第 1 部 講演：国際的な HUB 空港である羽田に新たなプラットフォーム誕生 第 2 部 見学：HANEDA×PIO	公益財団法人大田区産業振興協会 HANEDA×PIO (ハネダ×ピオ) 羽田拠点室リーダー 堀田祐一
5	11/10(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	「戦争遺構保存と<防空壕さくらげ>で地域発信」 ～防空壕でのキクラゲ栽培に取り組み、地域特産として次世代に繋げる	株式会社熱源 総務 小山仁美
6	11/17(木)		リアルハプティクスが創造する豊かな未来 ～手のひらの感触をリモートで伝える	慶應義塾大学 名誉教授 ハプティクス研究センター特任教授 大西公平
7	12/1(木)		私の好きな「音楽の街かわさき」であるために ～ひたすら、ストリートミュージシャンの応援を通じて	川崎砂子会協同組合 (いさご通り商店街) 理事長 武藤聡宏
8	12/8(木)		落語で語る地域コミュニティ	川崎産業親善大使 落語家 桂 米多朗
9	1/12(木)	生田緑地	「生田緑地一体型パークマネジメント運営」 ～七転八起による成功事例を各々が語る (生田緑地・岡本太郎美術館・日本民家園・宙と緑の科学館)	生田緑地共同事業体 統括責任者 株式会社日比谷花壇 鈴木和久
10	1/19(木)	川崎市 生涯学習 プラザ	ニューノーマルにおける働き方「Work Life Shift」	富士通株式会社 総務本部 ワークスタイル戦略室長 赤松光哉

受講登録者数 45 名 出席者総数 411 名

ロマンスカーミュージアムを軸とした小田急電鉄のまちづくり				
E	【定員】 70 名 【受講料】 3,680 円 (受講料 2,880 円 + 入場料 800 円) (資料代を実費徴収いたします。)			
	まちづくり 【時間】 毎回 10 時 30 分～12 時 00 分 (計 3 回)			
概要	川崎市と小田急電鉄株式会社(以下、小田急電鉄)は、「小田急沿線まちづくり」に関する包括連携協定を締結しています。これまでに、黒川駅周辺のまちづくりなど、様々な取組を連携し実施してきました。今後は、横浜市高速鉄道 3 号線の延伸(予定)、また、向ヶ丘遊園の跡地利用計画など、同沿線が有するポテンシャルを活かしたまちづくりが期待されています。また、ロマンスカーミュージアムは 2021 年 4 月に小田急線の海老名駅にオープンし、ロマンスカーを通じて小田急沿線の魅力を発信しています。本講座では小田急電鉄のまちづくりについて、ロマンスカーミュージアムを軸にした沿線の魅力向上、川崎エリアの沿線開発事業をご紹介します。全 3 回の講座で最終回では実際にミュージアムを見学いただけます。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	2/3(金)	川崎市 生涯学習 プラザ	ロマンスカーミュージアムと小田急線沿線のつながり ～ミュージアムを核としたまちづくり～	ロマンスカーミュージアム 支配人 真山健児
2	2/10(金)		小田急電鉄の沿線開発 ～川崎・海老名エリアの街づくり～	小田急電鉄株式会社 エリア事業創造部 (恩田 彩 二ノ宮 俊介) 川崎市まちづくり局企画課 職員
3	2/17(金)	ロマンスカー ミュージアム 【見学会】	「感動」「笑顔」「未来」をつくるロマンスカーミュージアム ～ロマンスカーミュージアム見学会～	ロマンスカーミュージアム 館長 高橋孝夫

オンライン受講生を含めた受講登録者数 23 名 出席者総数 59 名